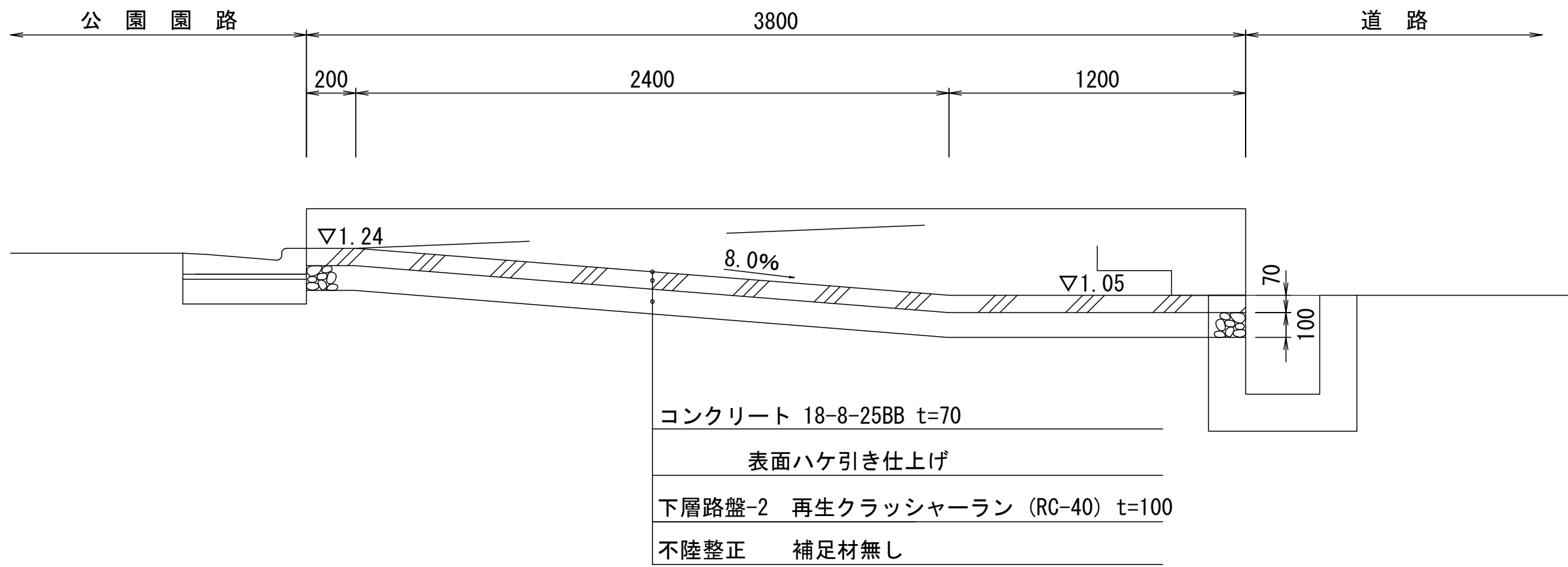


園路広場整備工構造図（4）

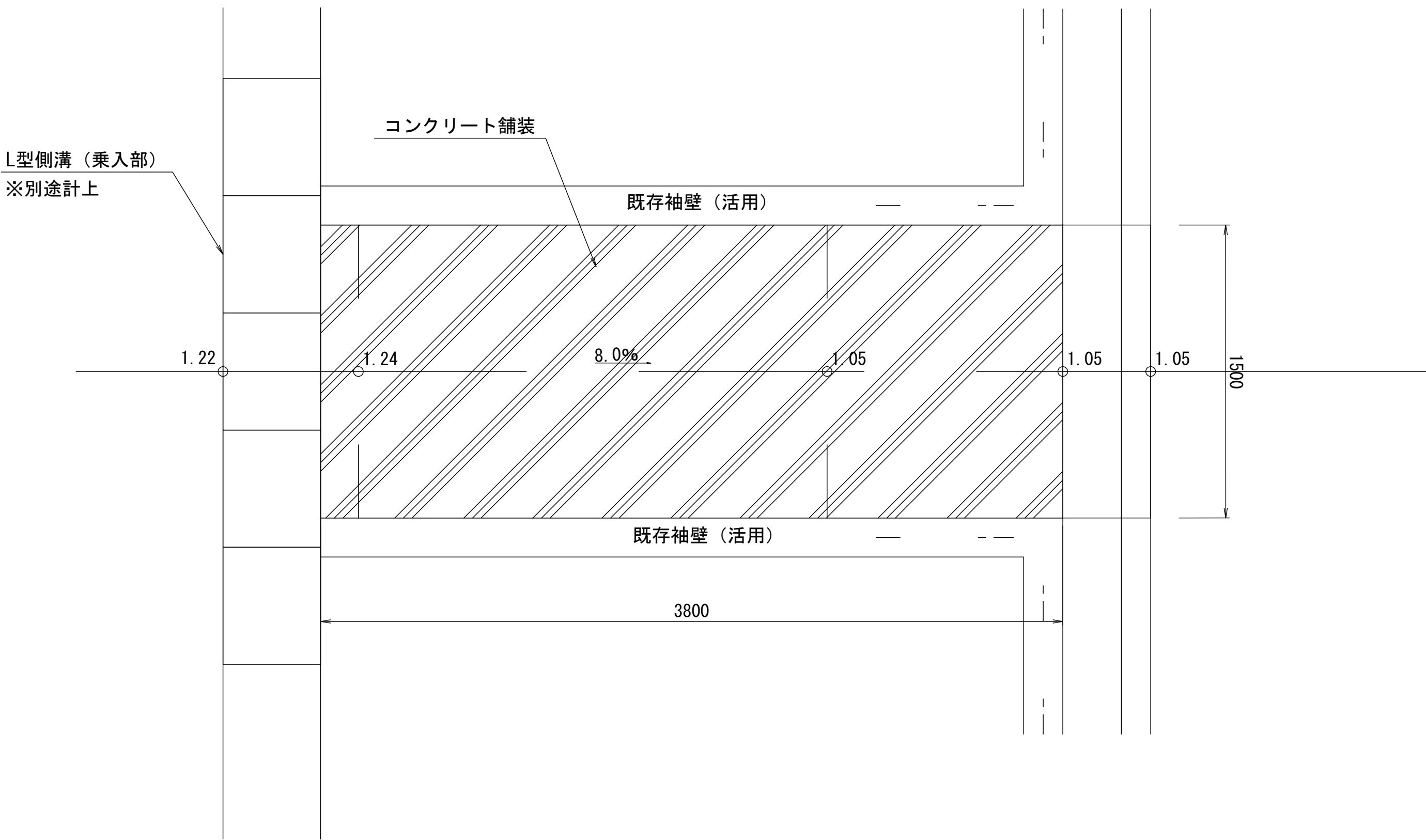
スロープ改修

S=1:20

断面図



平面図



※施工の際は、現況を確認し調整すること。

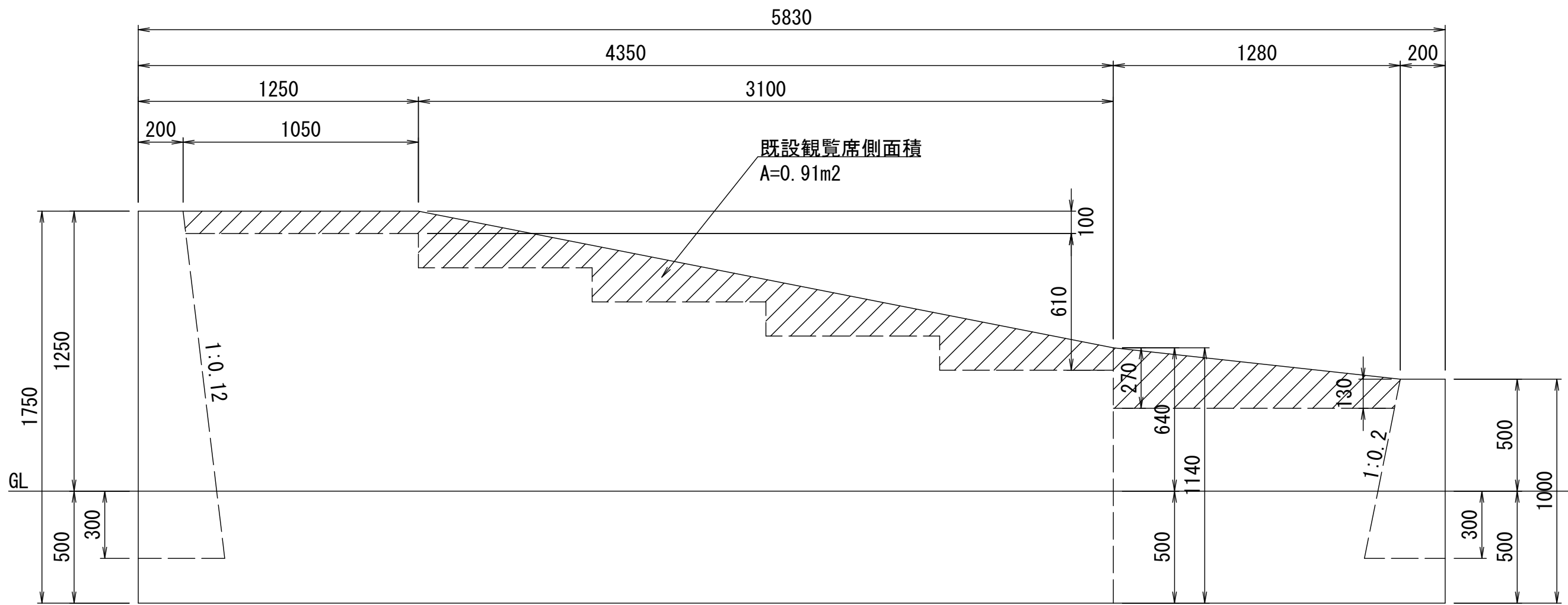
スロープ改修 材料表

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
下層路盤-2	再生クラッシャーラン (RC-40) t=100	m2	5.70	
コンクリート	18-8-25BB t=70 表面ハケ引き仕上げ	m3	0.40	
不陸整正	補足材無し	m2	5.70	

小口止め-1

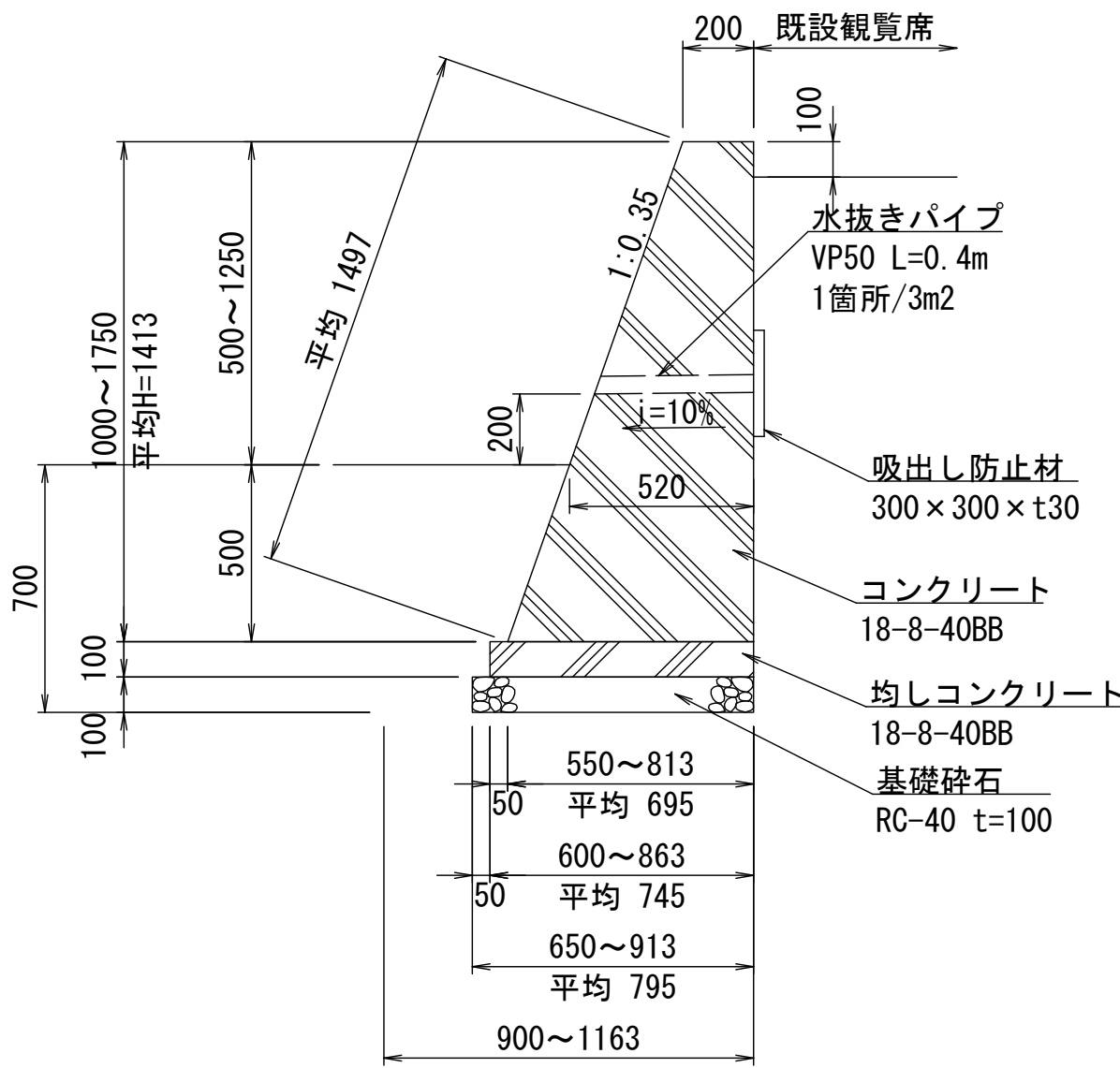
S=1:20

正面図



標準断面図

S=1:20



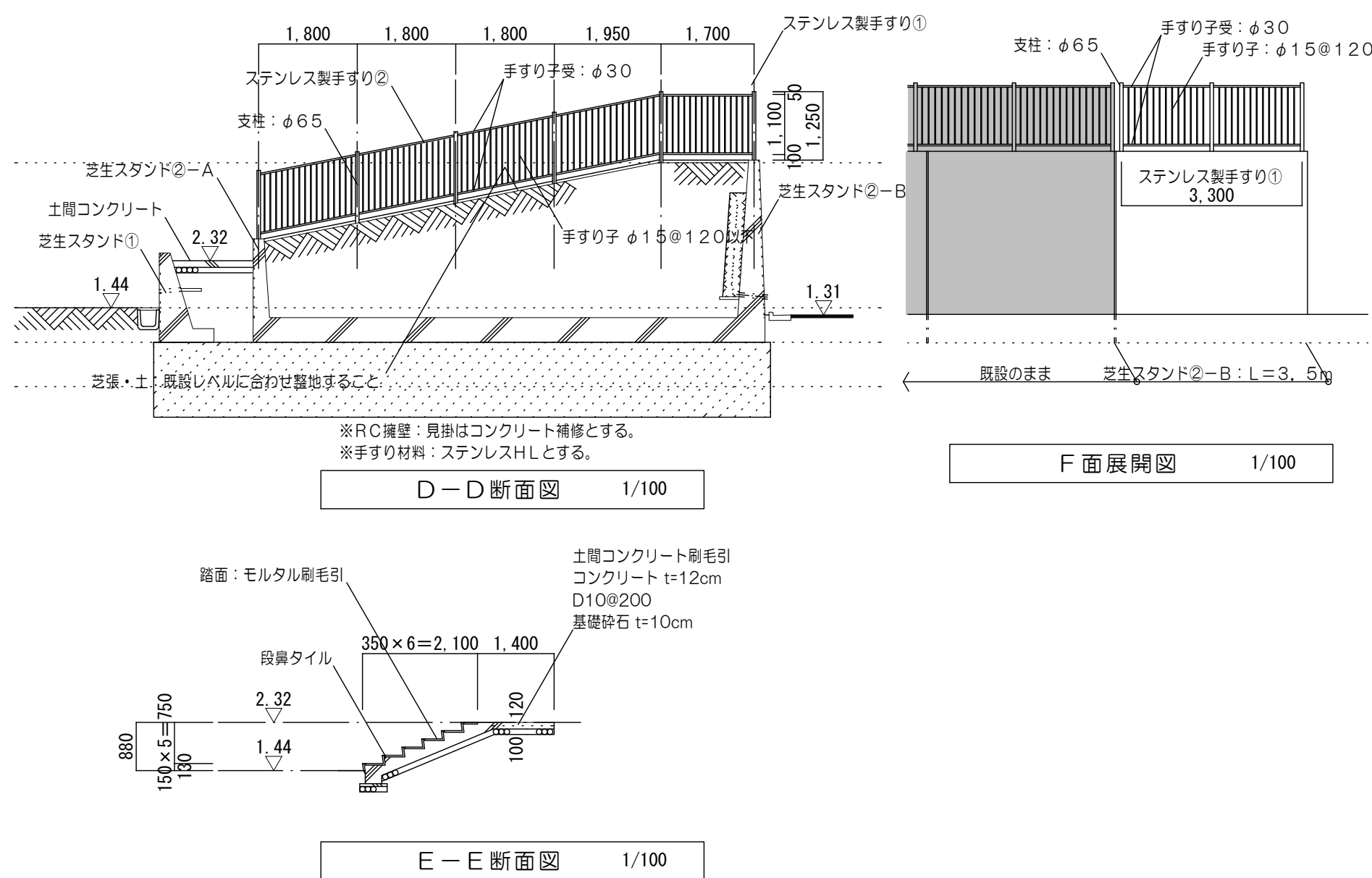
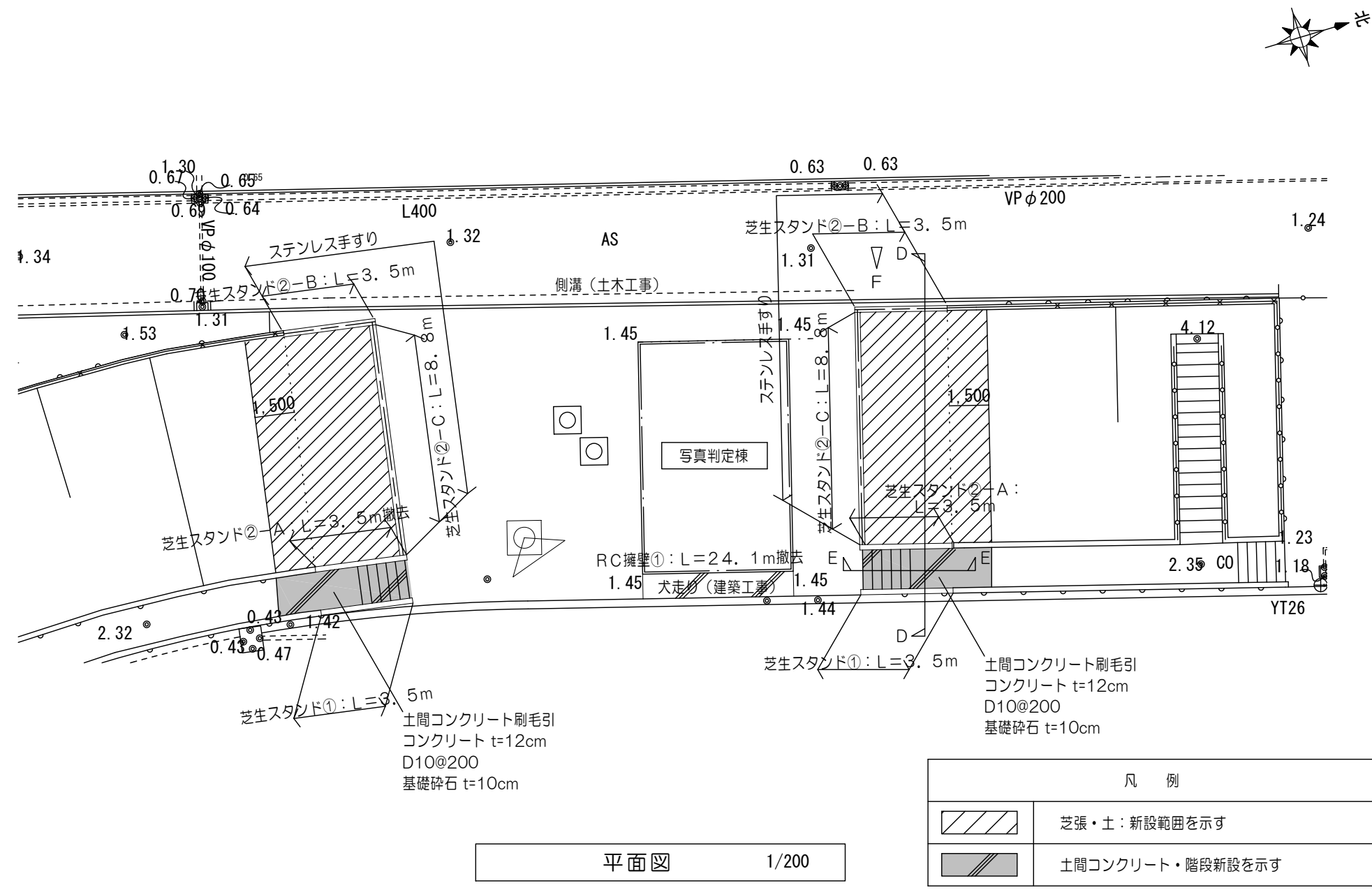
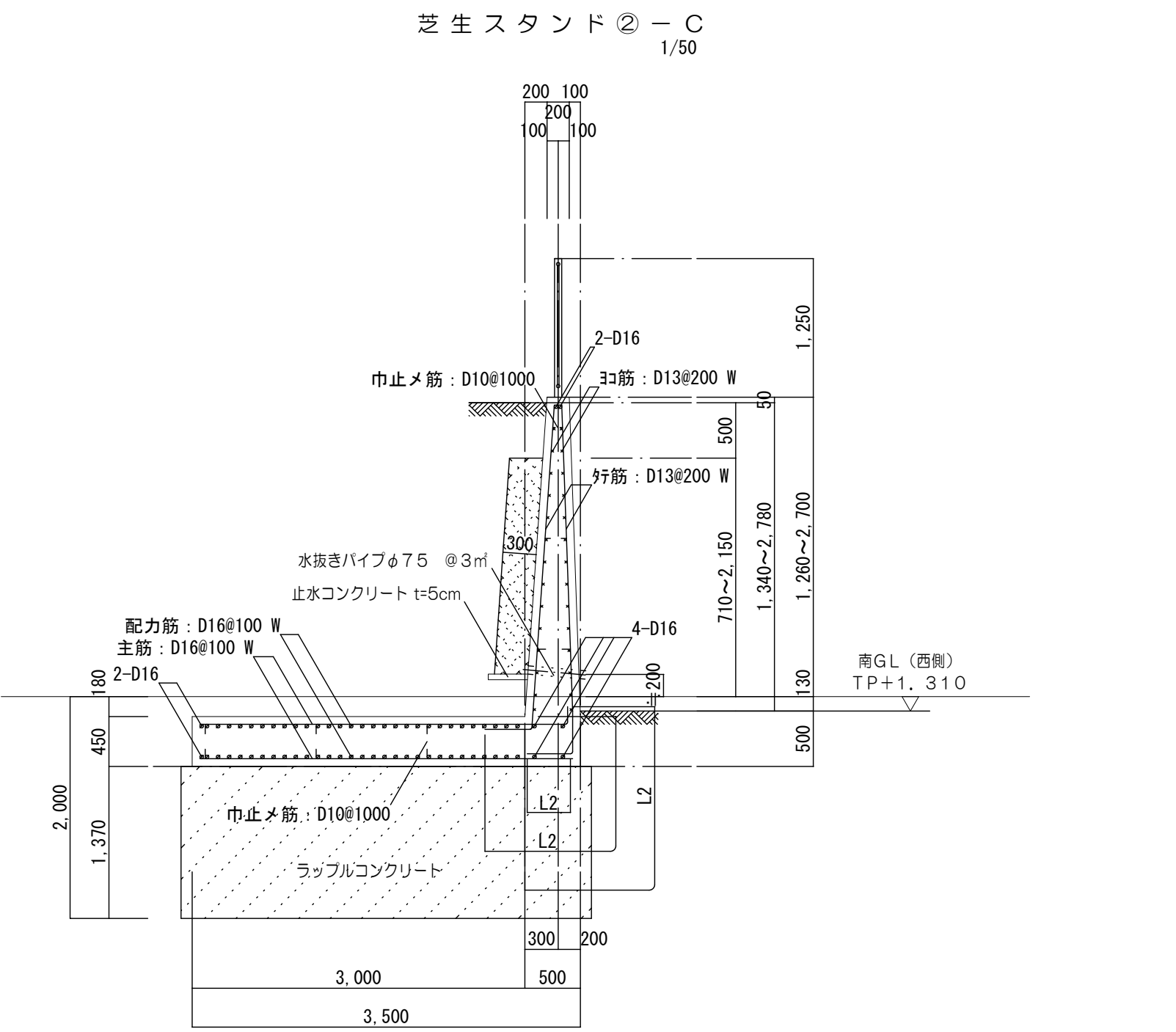
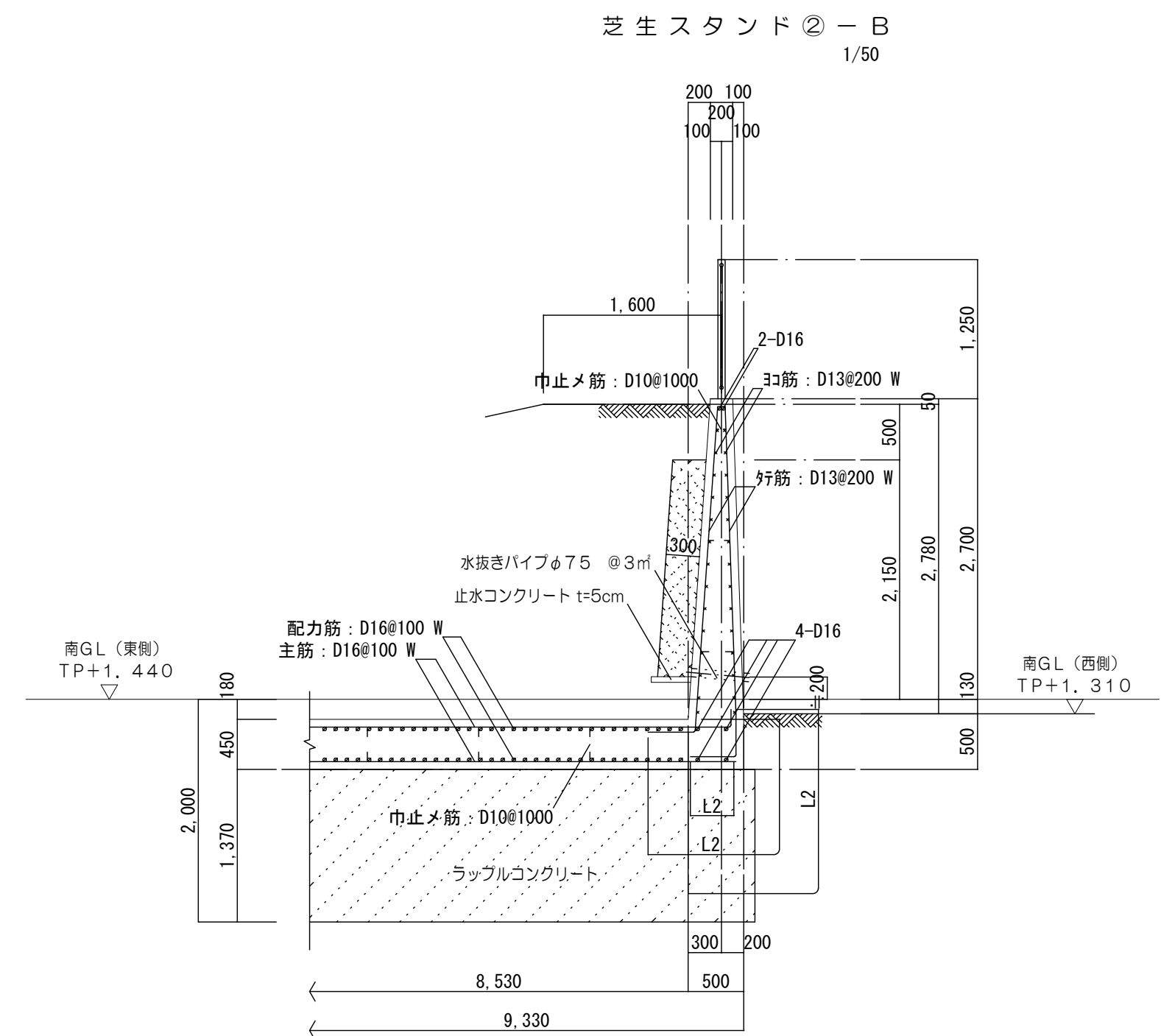
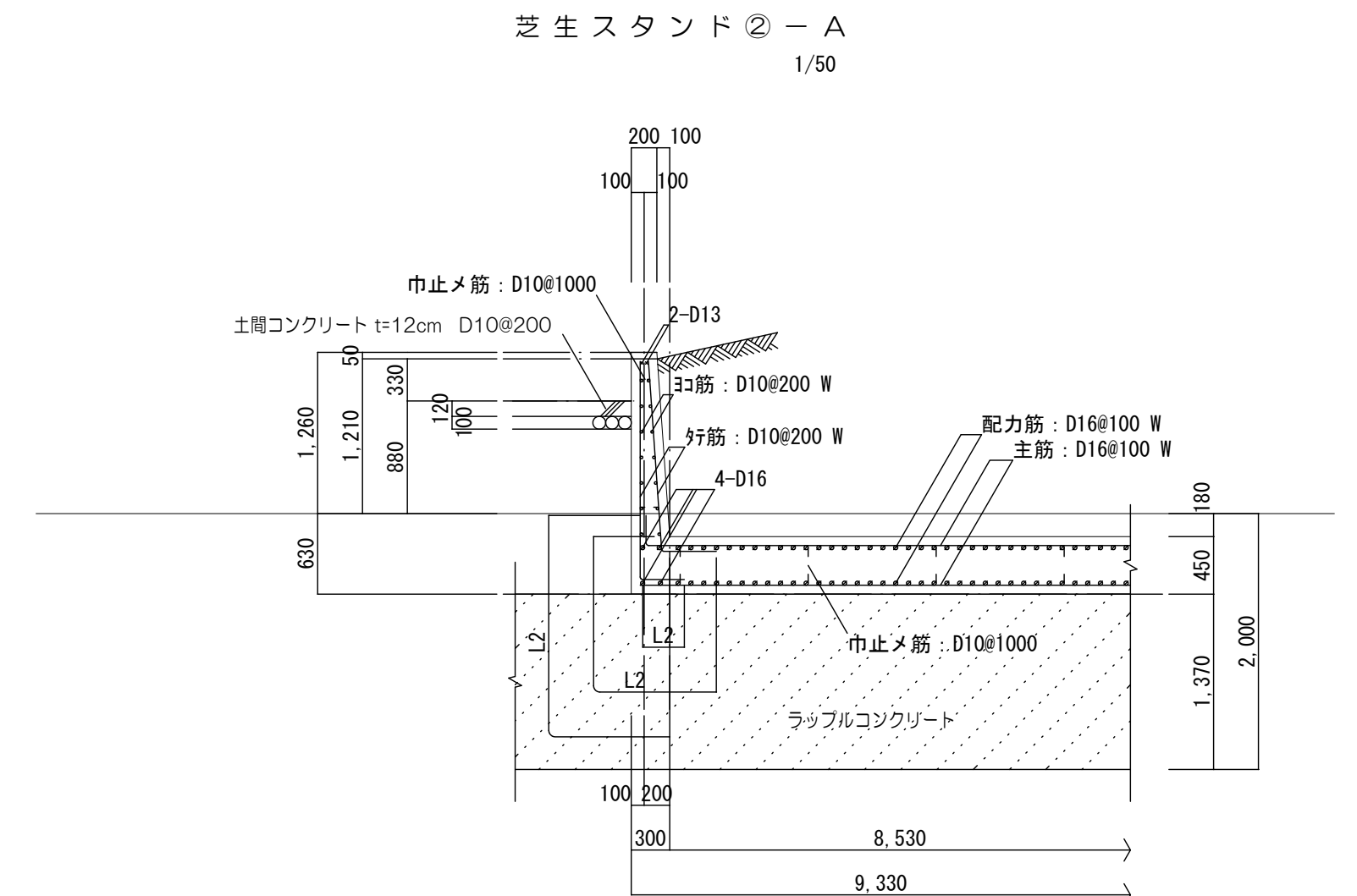
平均H=(1.75*1.25+(1.75+1.14)/2*3.10+(1.14+1.00)/2*1.28+1.00*0.20)/5.83≒1.413

小口止め-1 材料表

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
基礎碎石	RC-40 t=100	m2	4.64	
均しコンクリート	18-8-40BB	m3	0.43	
同上型枠		m2	1.31	
コンクリート	18-8-40BB	m3	3.69	
同上型枠		m2	10.90	
吸出し防止材	300×300×t30	枚	2.00	
水抜きパイプ	VP50 L=0.4m	m	0.80	
床掘		m3	4.27	
埋戻	流用土	m3	1.60	
基面整正		m2	4.64	

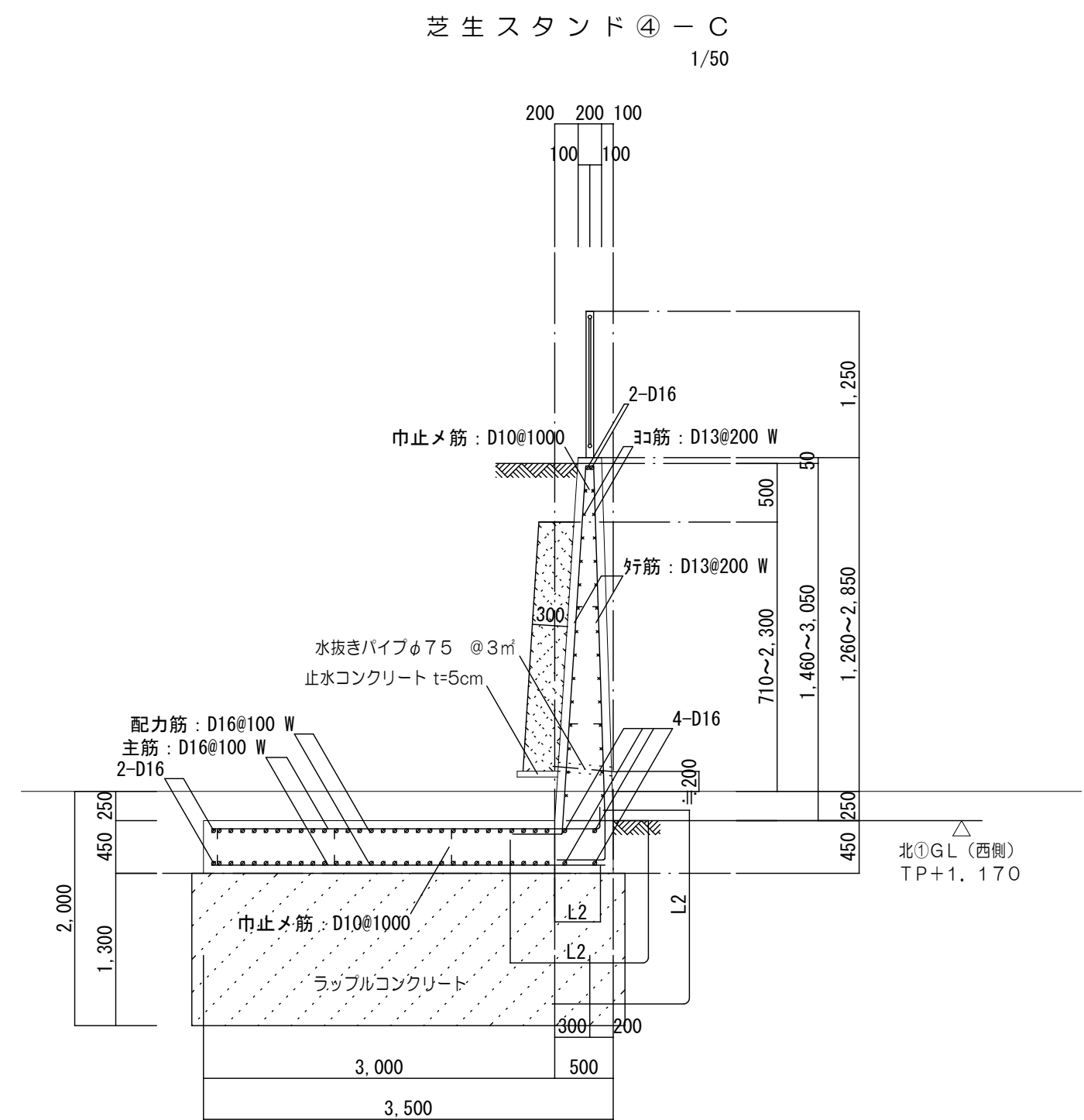
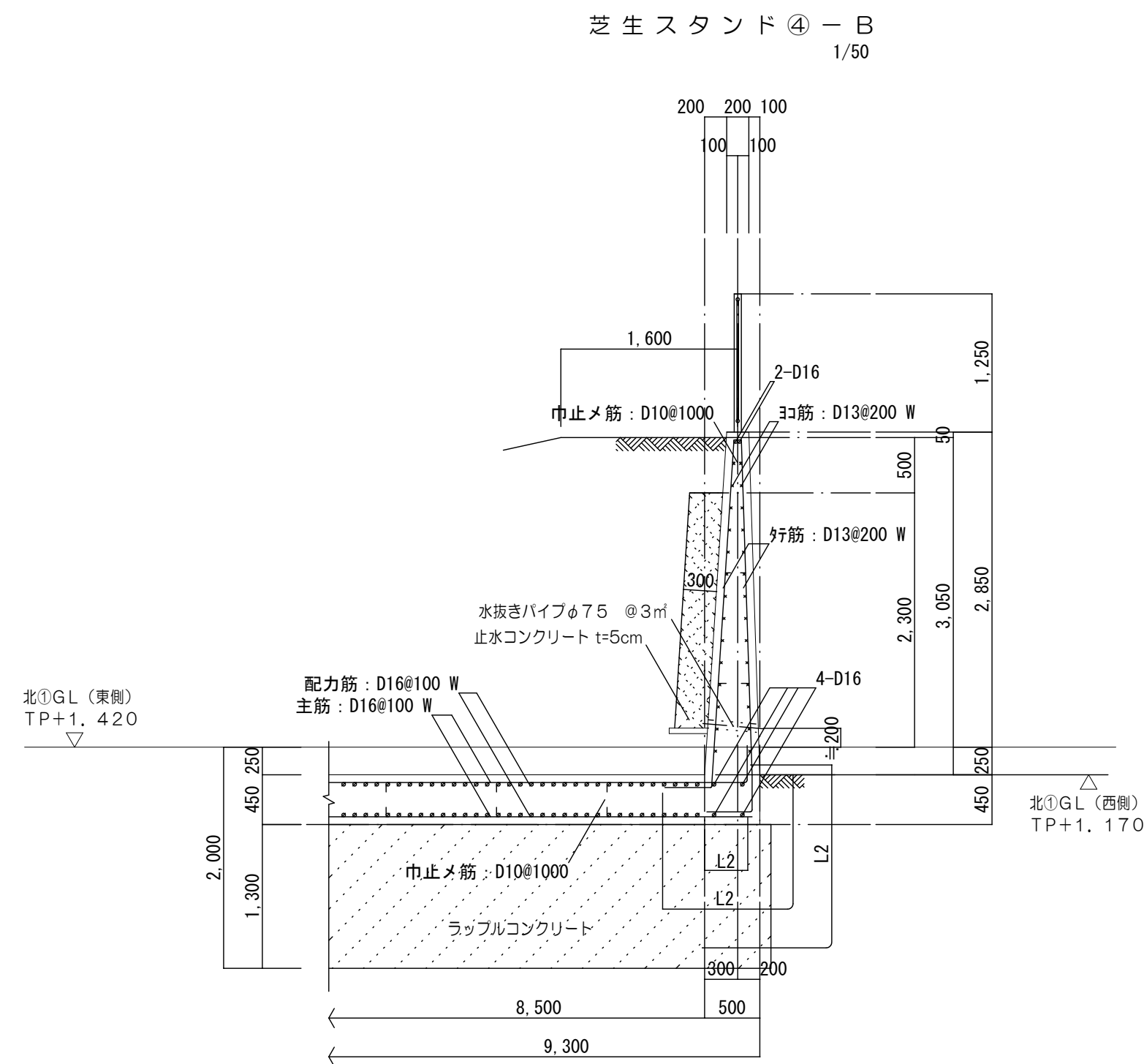
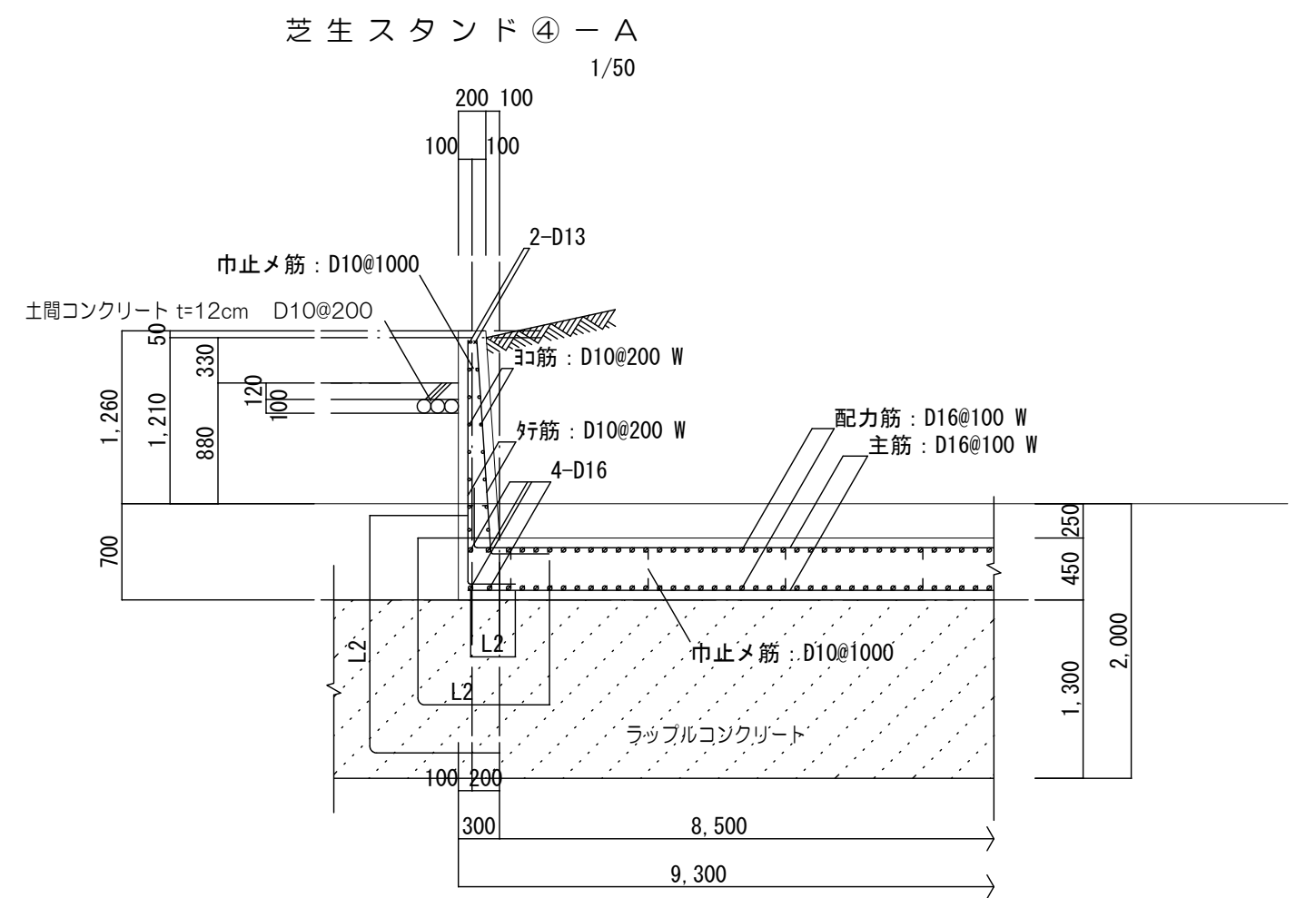
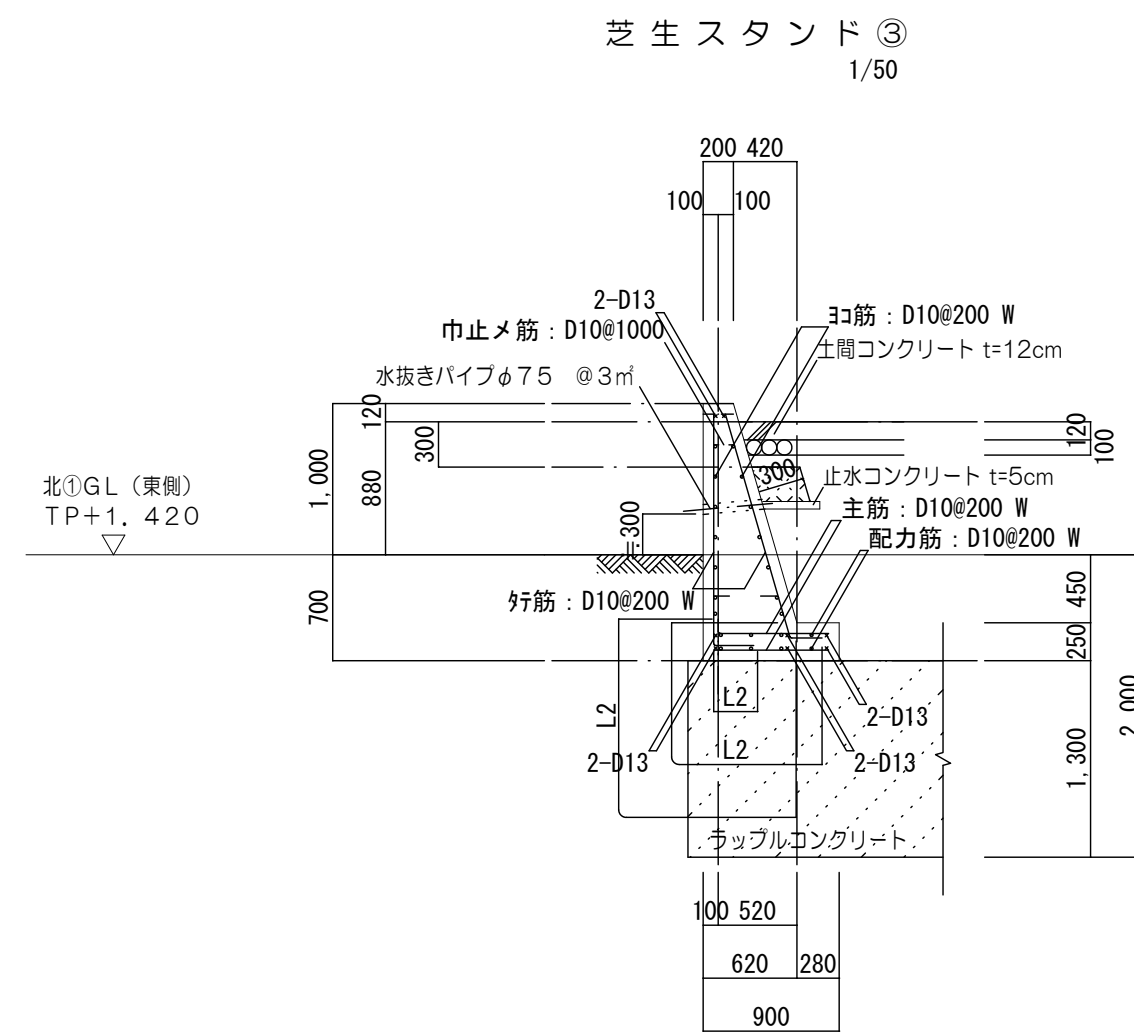
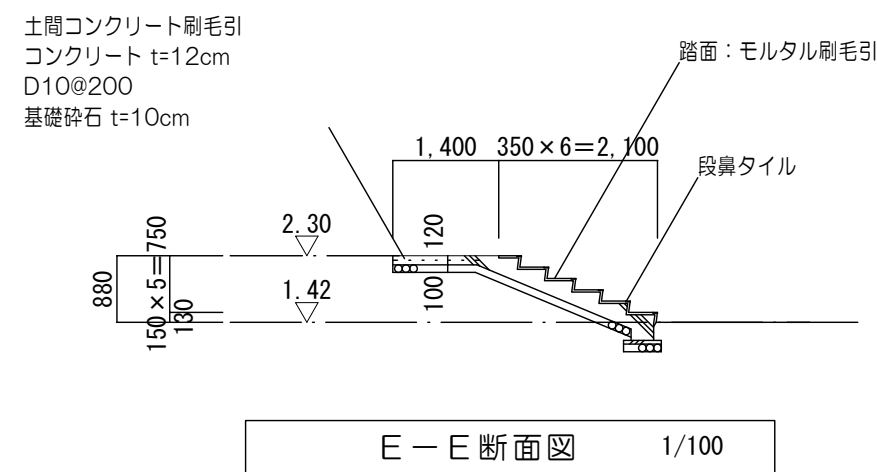
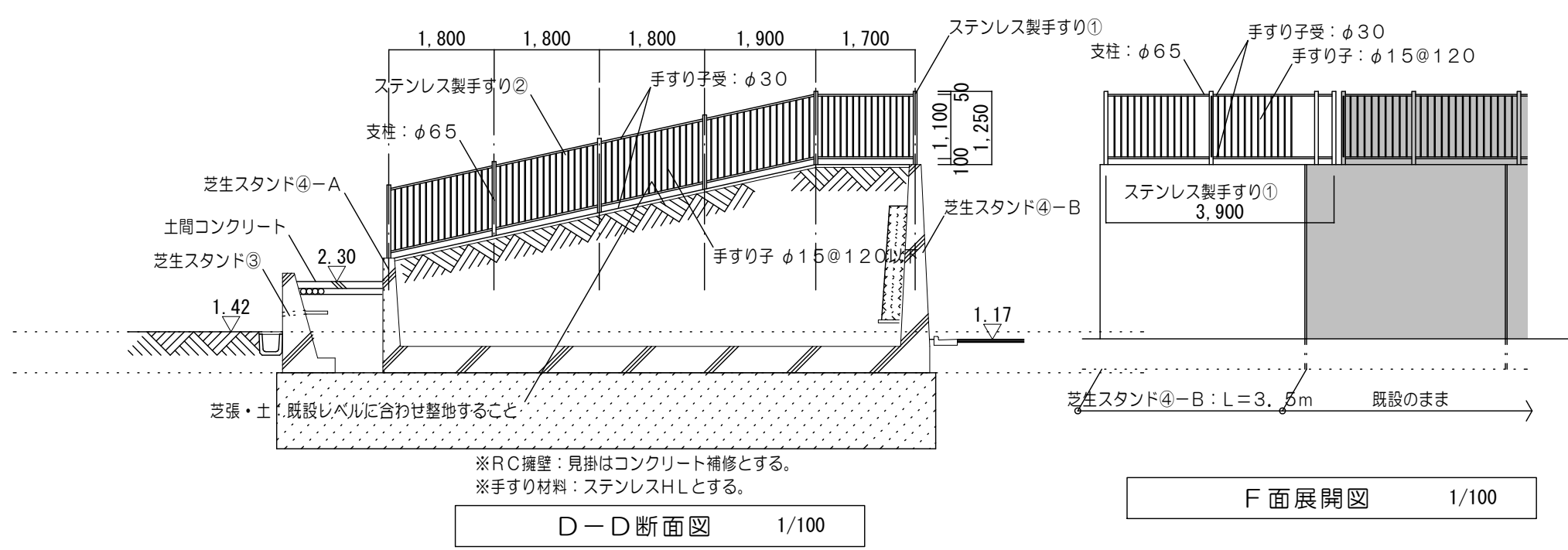
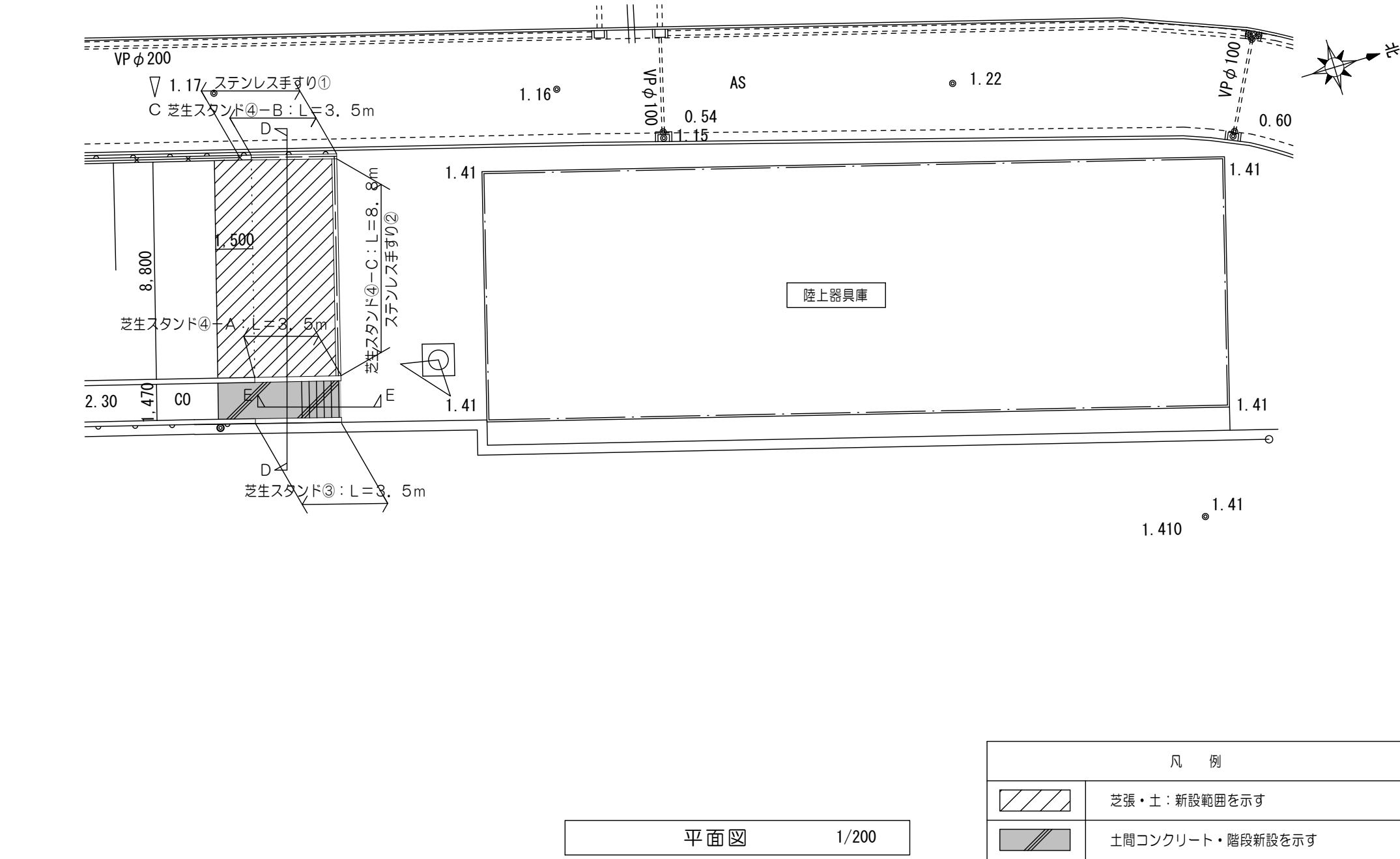
※この図面はA 1サイズを原寸とする。

工 事 名	令和7年度建整ス振補継第1号 海浜公園内陸上競技場改修工事		
施工箇所名	津市末広町 地内		
図面の種類	園路広場整備工構造図(4)		
縮 尺	S=1:20	図面番号	81 / 133
事業所名	津市 建設部 建設整備課		

[illegible]

工 事 名	令和7年度建整入振補継続第1号 海浜公園内陸上競技場改修工事		
施工箇所名	津市末広町 地内		
図面の種類	園路広場整備工事構造図(5)		
縮 尺	S=1:20	図面番号	82 133
事業所名	津市 建設部 建設整備課		

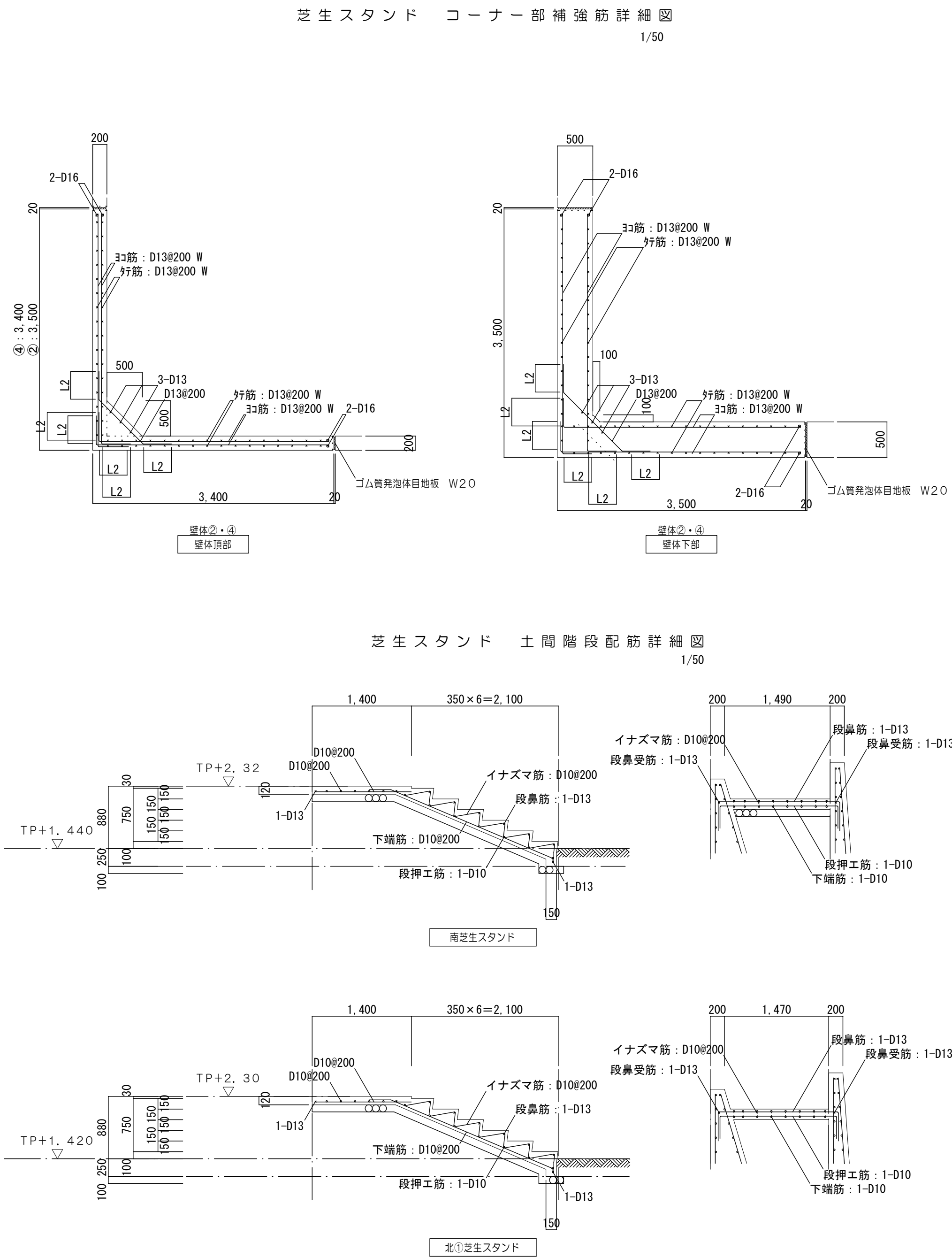
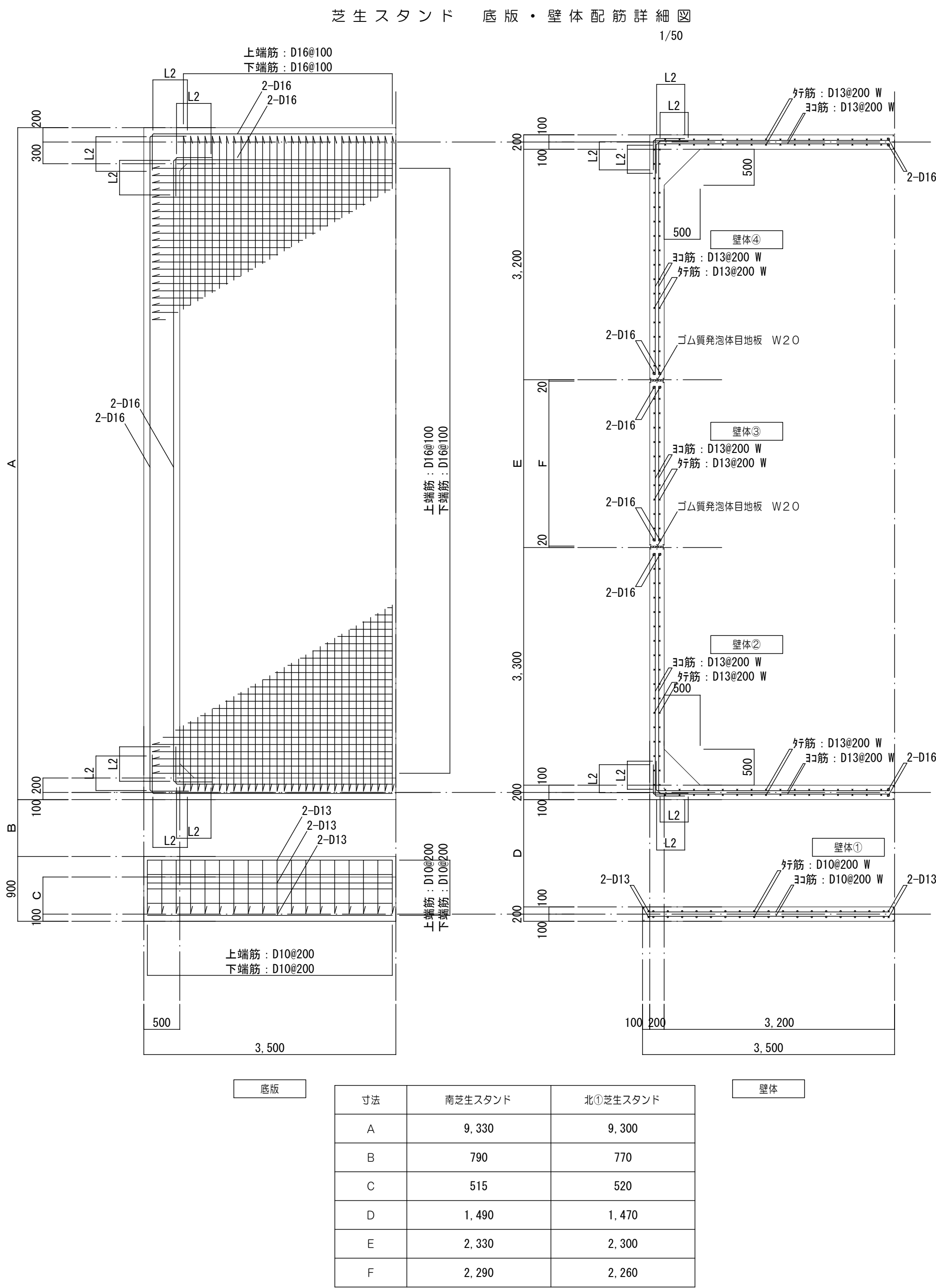
園路広場整備工構造図（6）



※この図面はA1サイズを原寸とする。

工 事 名	令和7年度建整ス振補継第1号 海浜公園内陸上競技場改修工事
施工箇所名	津市末広町 地内
図面の種類	園路広場整備工構造図(6)
縮 尺	S=1:20 図面番号 83 133
事業所名	津市 建設部 建設整備課

園路広場整備工構造図（7）



小口止め-2,-3 材料表

名 称	規 格	単位	数 量		摘 要
			-2	-3	
ラップルコンクリート	24-15-25	m3	126.82	59.90	
同上型枠		m2	83.41	39.44	
基礎碎石	RC-40 t=10cm	m2	1.54	0.76	
裏込め碎石	RC-40	m3	10.68	5.66	
異形鉄筋	D10 SD295	t	0.70	0.35	
異形鉄筋	D13 SD295	t	1.94	0.97	
異形鉄筋	D16 SD295	t	5.77	2.88	
水抜きパイプ	VP75 L=0.3m	m	18.00	4.50	
止水コンクリート	18-15-25	m3	0.59	0.30	
躯体コンクリート	30-18-25	m3	60.13	30.06	
土間コンクリート	18-15-25	m3	2.33	1.16	
型枠		m2	193.46	96.73	
吸出し防止材	300×300×t30	枚 (m2)	30.00 (2.70)	15.00 (1.35)	
目地板		m2	17.95	9.23	
段鼻タイル		m	17.88	8.82	
手すり	H1250	m	24.70	12.90	
コンクリート剛毛引き		m2	13.11	6.47	土間コンクリート
張芝	野芝	m2	74.31	37.05	
足場		m2	84.87	40.59	
床掘		m3	751.21	963.78	
埋戻	流用土	m3	263.50	184.55	
基面整正		m2	92.57	46.07	

注：必要地盤反力Q=100kN/m²以上（標準設計数値）

※この図面はA 1サイズを原寸とする。

工 事 名	令和7年度建整ス振補継第1号 海浜公園内陸上競技場改修工事		
施工箇所名	津市末広町 地内		
図面の種類	園路広場整備工構造図(7)		
縮 尺	S=1:20	図面番号	84 133
事業所名	津市 建設部 建設整備課		

サービス施設整備工構造図（1）

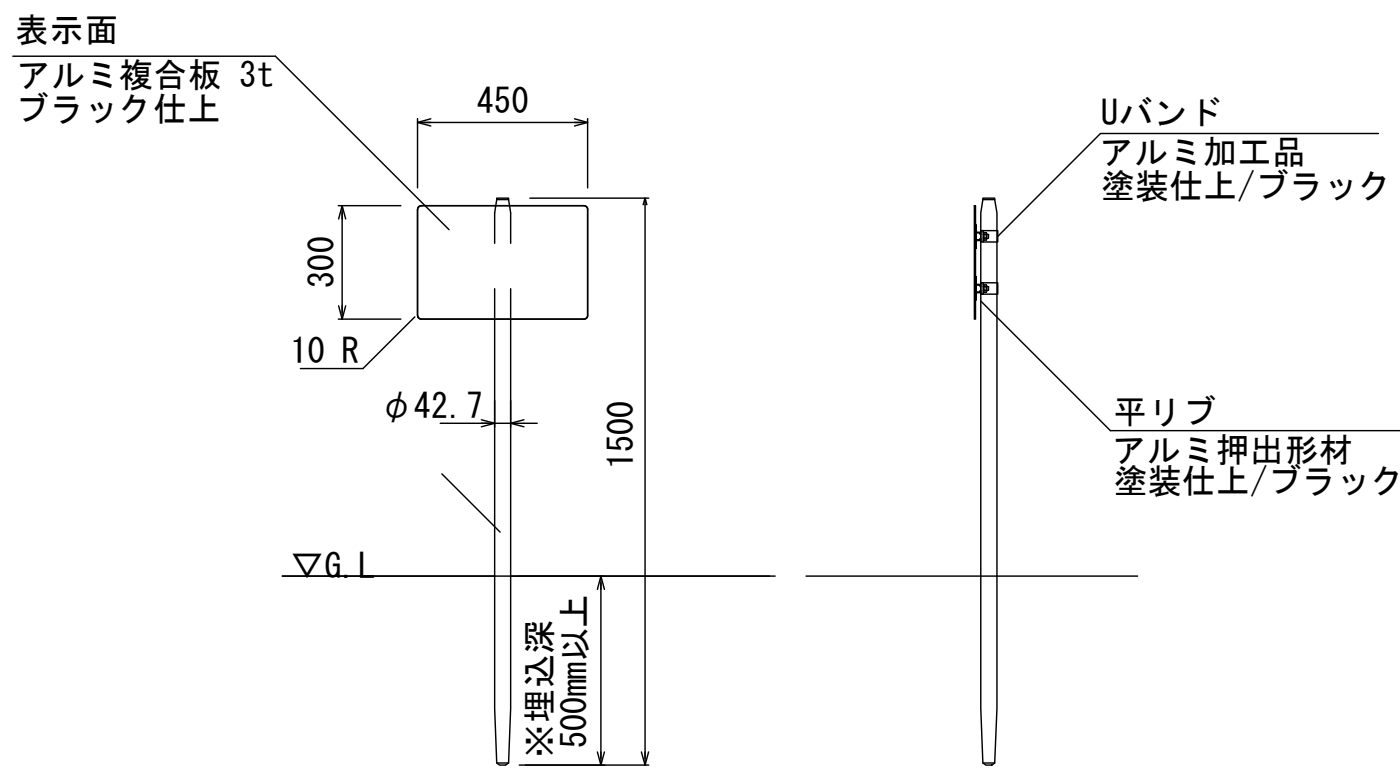
距離表示サイン-1、-2
S=1:20

平面図



正面図

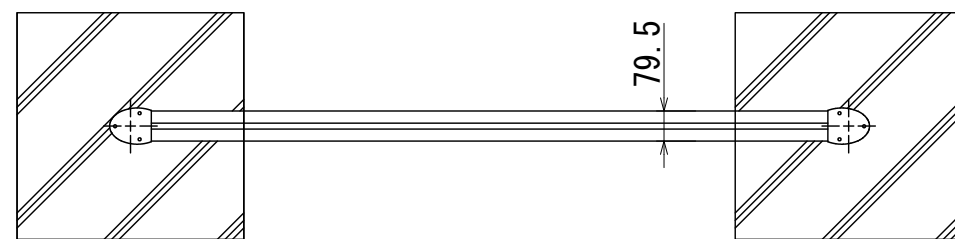
側面図



距離表示サイン-1、-2 材料表		10基当り			
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要	
案内板	W450?D300 H1000 打込式	基	10.00		

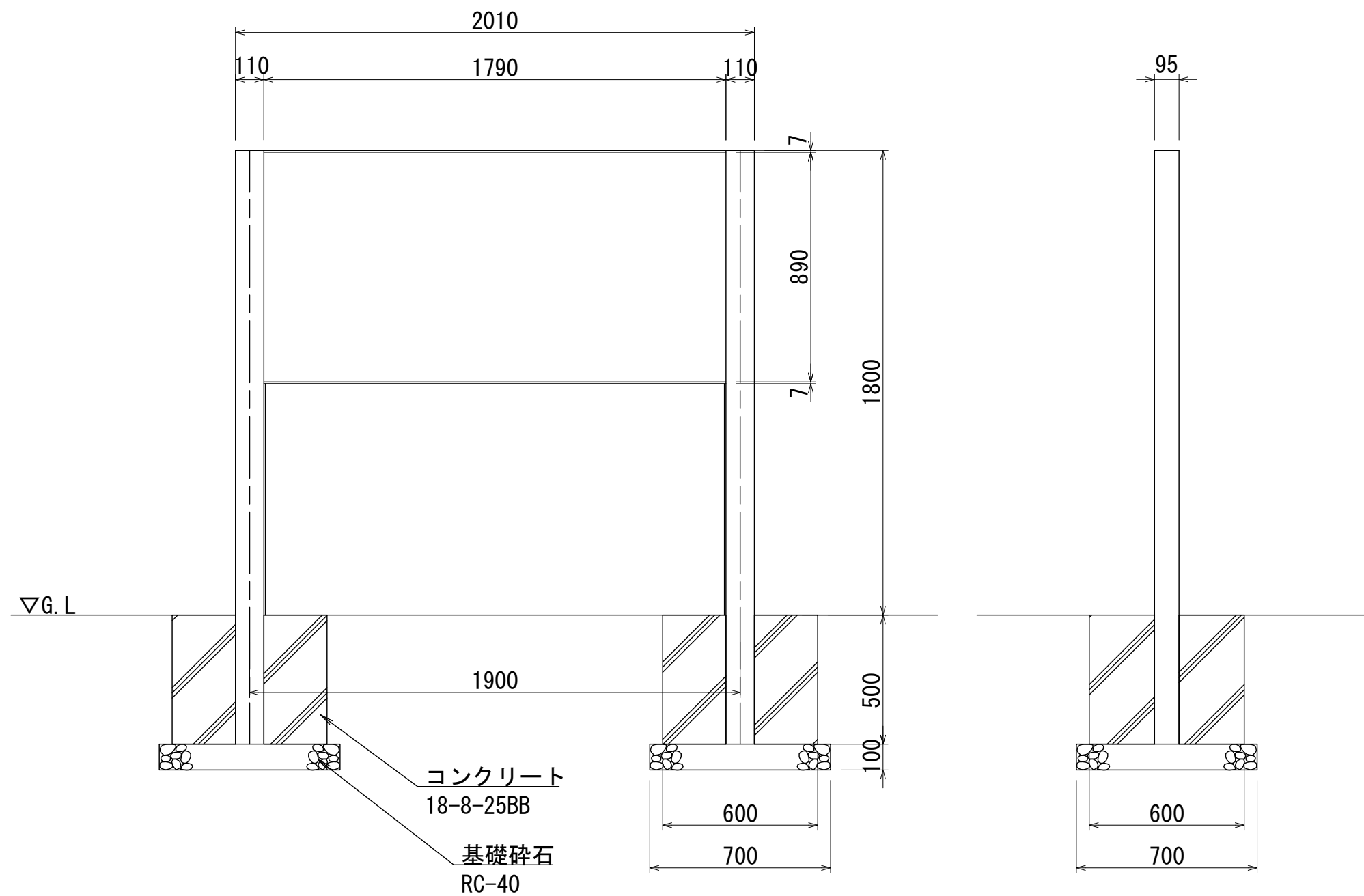
総合案内サイン
S=1:20

平面図



正面図

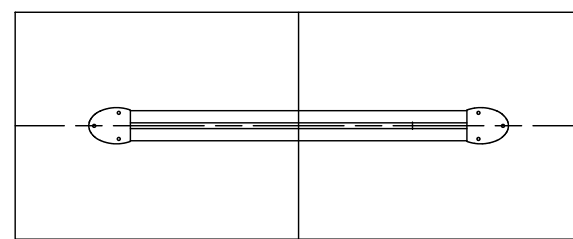
側面図



総合案内サイン 材料表		10基当り			
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要	
基礎碎石	RC-40 t=100	m2	9.80		
コンクリート	18-8-25BB	m3	3.50		
同上型枠		m2	24.00		
総合案内サイン	W2010×D95×H1800	基	10.00		
床掘		m3	17.28		
埋戻	流用土	m3	12.70		
基面整正		m2	9.80		

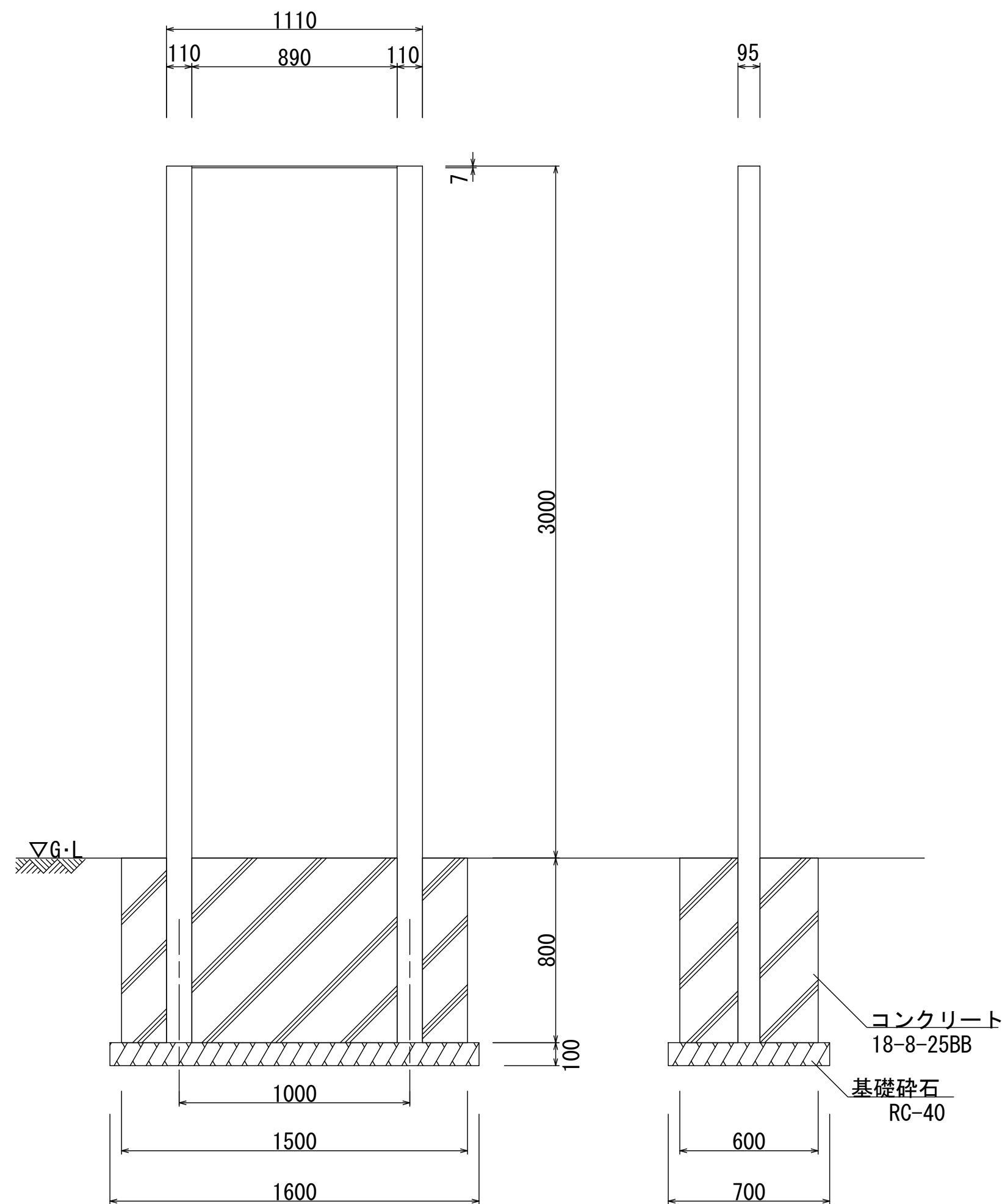
園名サイン
S=1:20

平面図



正面図

側面図



園名サイン 材料表		10基当り			
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要	
基礎碎石	RC-40 t=100	m2	11.20		
コンクリート	18-8-25BB	m3	7.12		
同上型枠		m2	33.60		
園内サイン	W1110×D95×H3000	基	10.00		
床掘		m3	25.74		
埋戻	流用土	m3	17.42		
基面整正		m2	11.20		

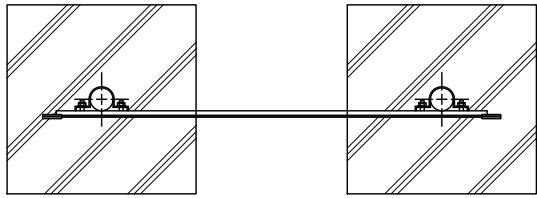
※この図面はA 1サイズを原寸とする。				
工 事 名	令和7年度建整ス振補継第1号 海浜公園内陸上競技場改修工事			
施工箇所名	津市末広町 地内			
図面の種類	サービス施設整備工構造図(1)			
縮 尺	S=1:20	図面番号	85	133
事業所名	津市 建設部 建設整備課			

サービス施設整備工構造図（2）

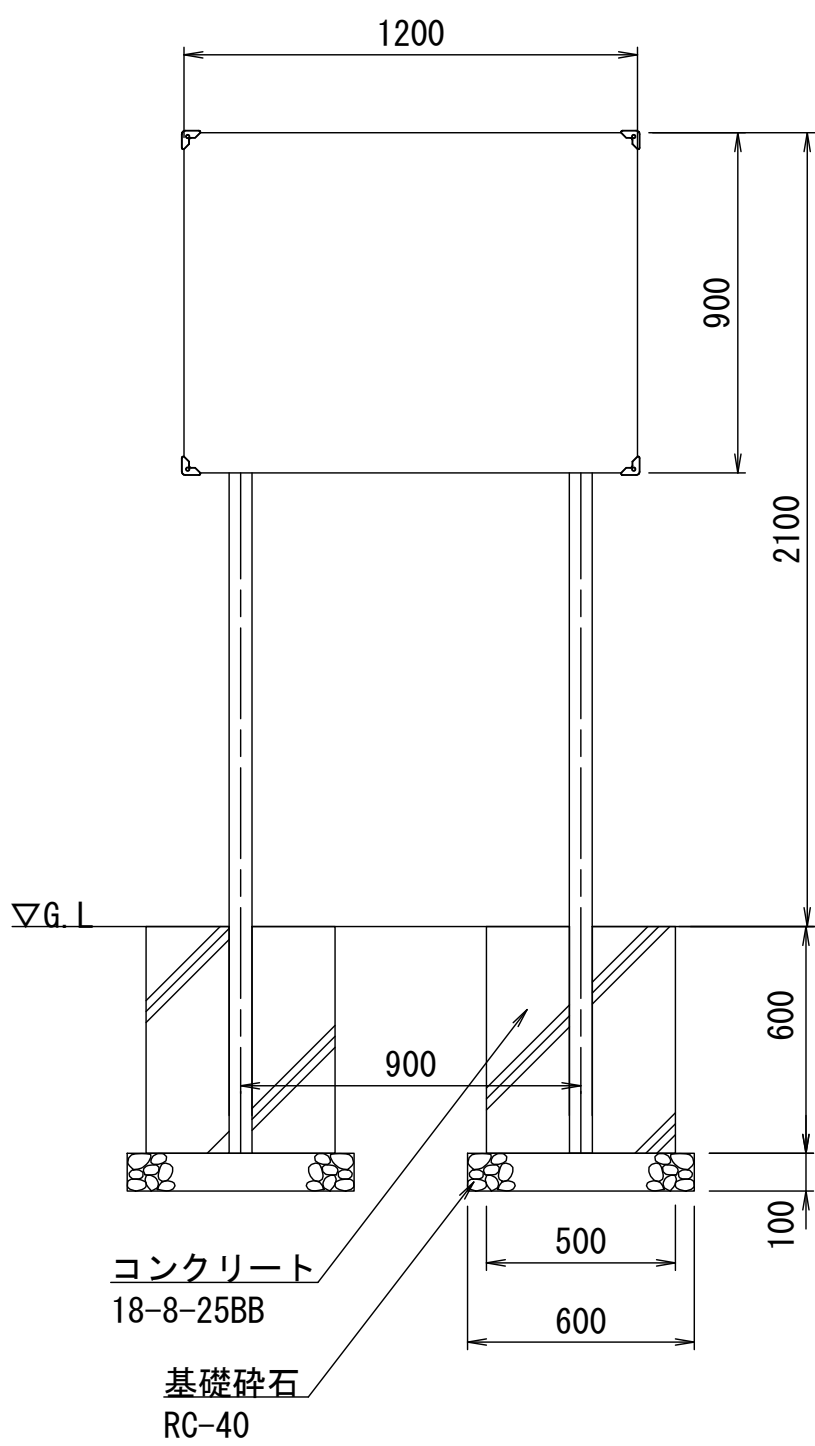
解説サイン

S=1：20

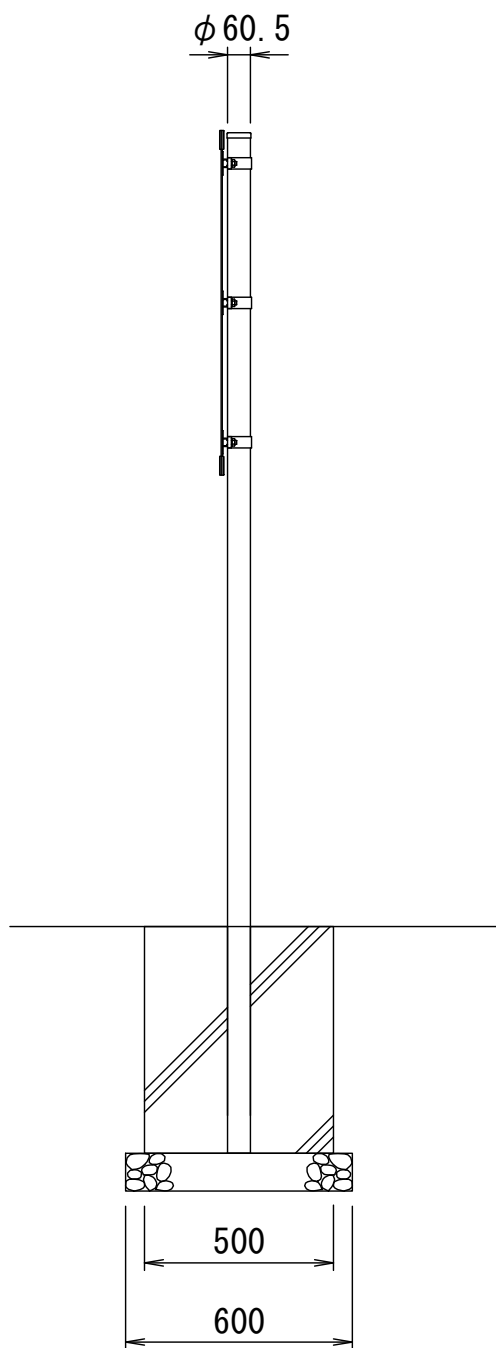
平面図



正面図



側面図



※ （一社）日本公園施設業協会 SPLマーク表示認定企業の製品とする。
※ （一社）日本公園施設業協会 団体賠償責任保険に加入した製品とする。

解説サイン 材料表

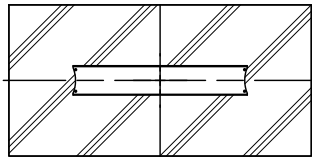
10基当り

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
基礎砕石	RC-40 t=100	m2	7.20	
基礎コンクリート	18-8-25BB	m3	2.97	
同上型枠		m2	24.00	
解説サイン	W1200 H2100	基	10.00	
床掘		m3	15.40	
埋戻	流用土	m3	11.68	
基面整正		m2	7.20	

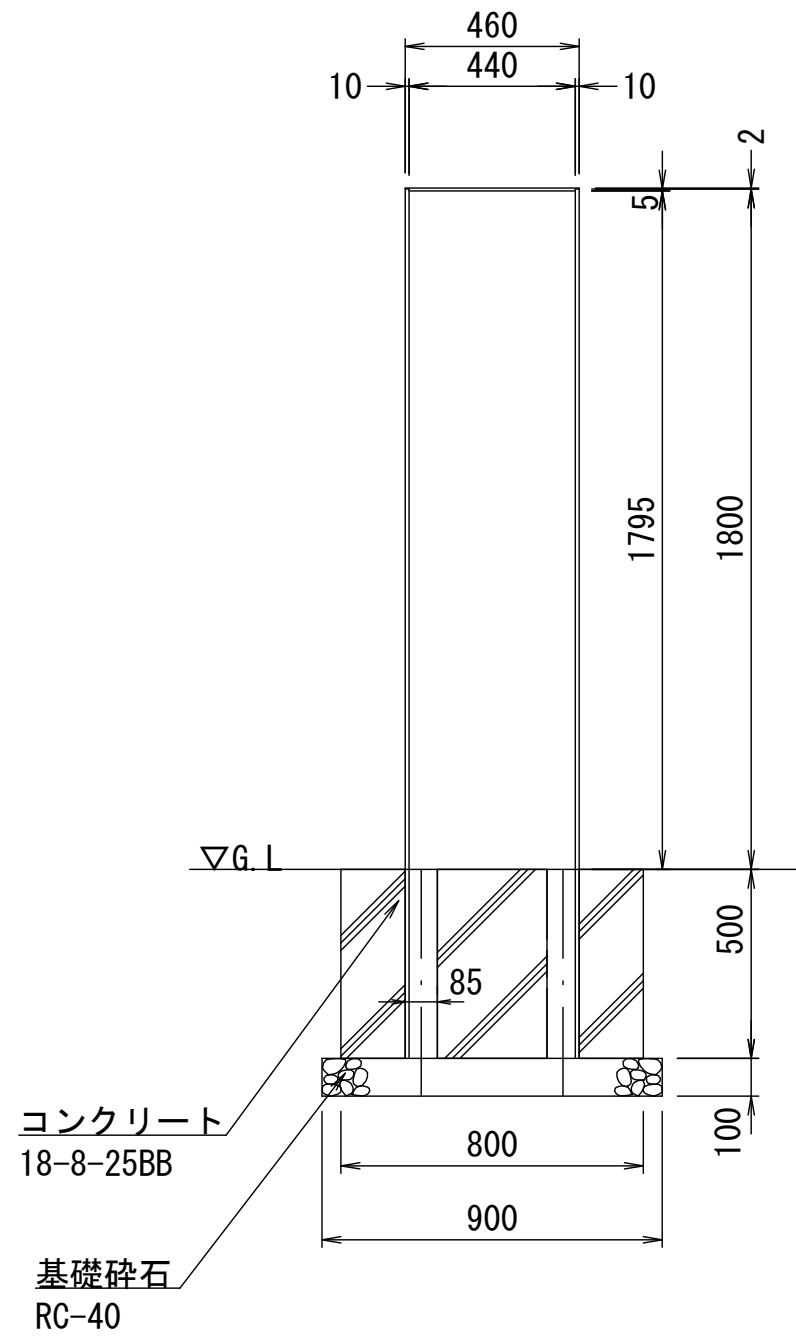
駐車場サイン-1、-2

S=1：20

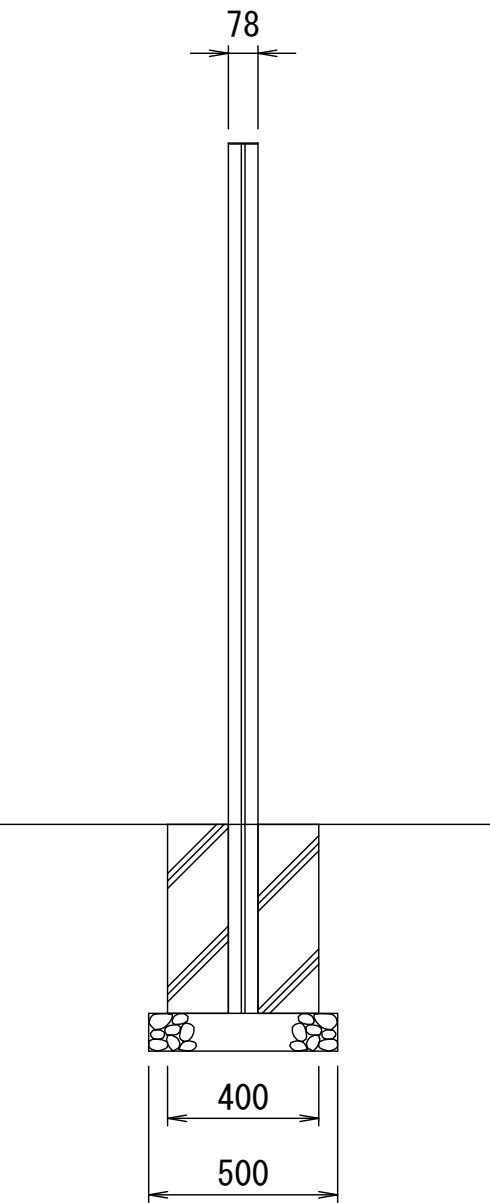
平面図



正面図



側面図



※ （一社）日本公園施設業協会 SPLマーク表示認定企業の製品とする。
※ （一社）日本公園施設業協会 団体賠償責任保険に加入した製品とする。

駐車場サイン-1、-2 材料表

10基当り

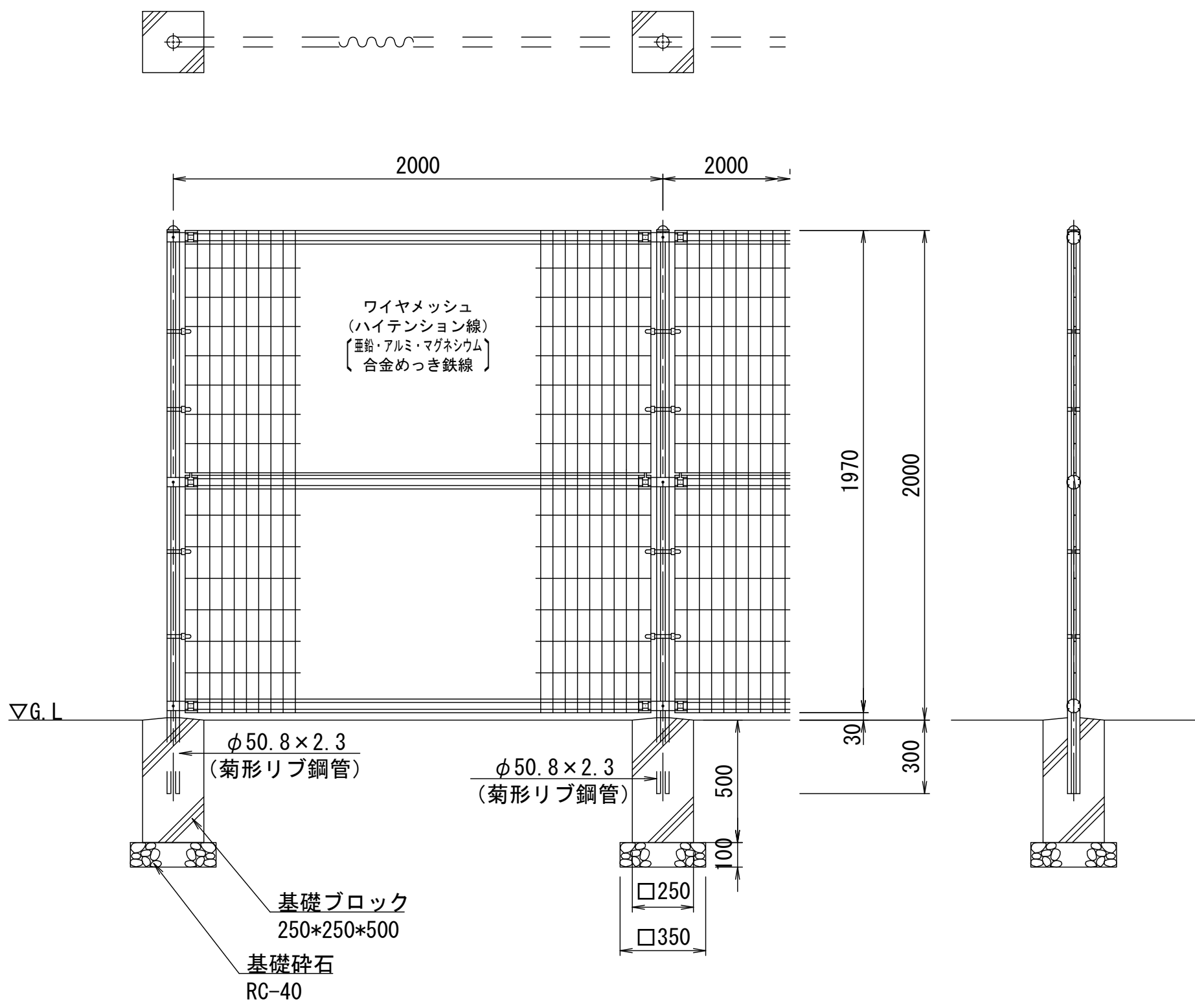
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
基礎砕石	RC-40 t=100	m2	4.50	
基礎コンクリート	18-8-25BB	m3	1.53	
同上型枠		m2	12.00	
駐車場サイン	W460×D78×H1800	基	10.00	
床掘		m3	8.40	
埋戻	流用土	m3	6.35	
基面整正		m2	4.50	

※この図面はA 1サイズを原寸とする。

工 事 名	令和7年度建整ス振補継第1号 海浜公園内陸上競技場改修工事		
施工箇所名	津市末広町 地内		
図面の種類	サービス施設整備工構造図(2)		
縮 尺	S=1：20	図面番号	86 / 133
事業所名	津市 建設部 建設整備課		

管理施設整備工構造図(1)

フェンス-1
S=1:20

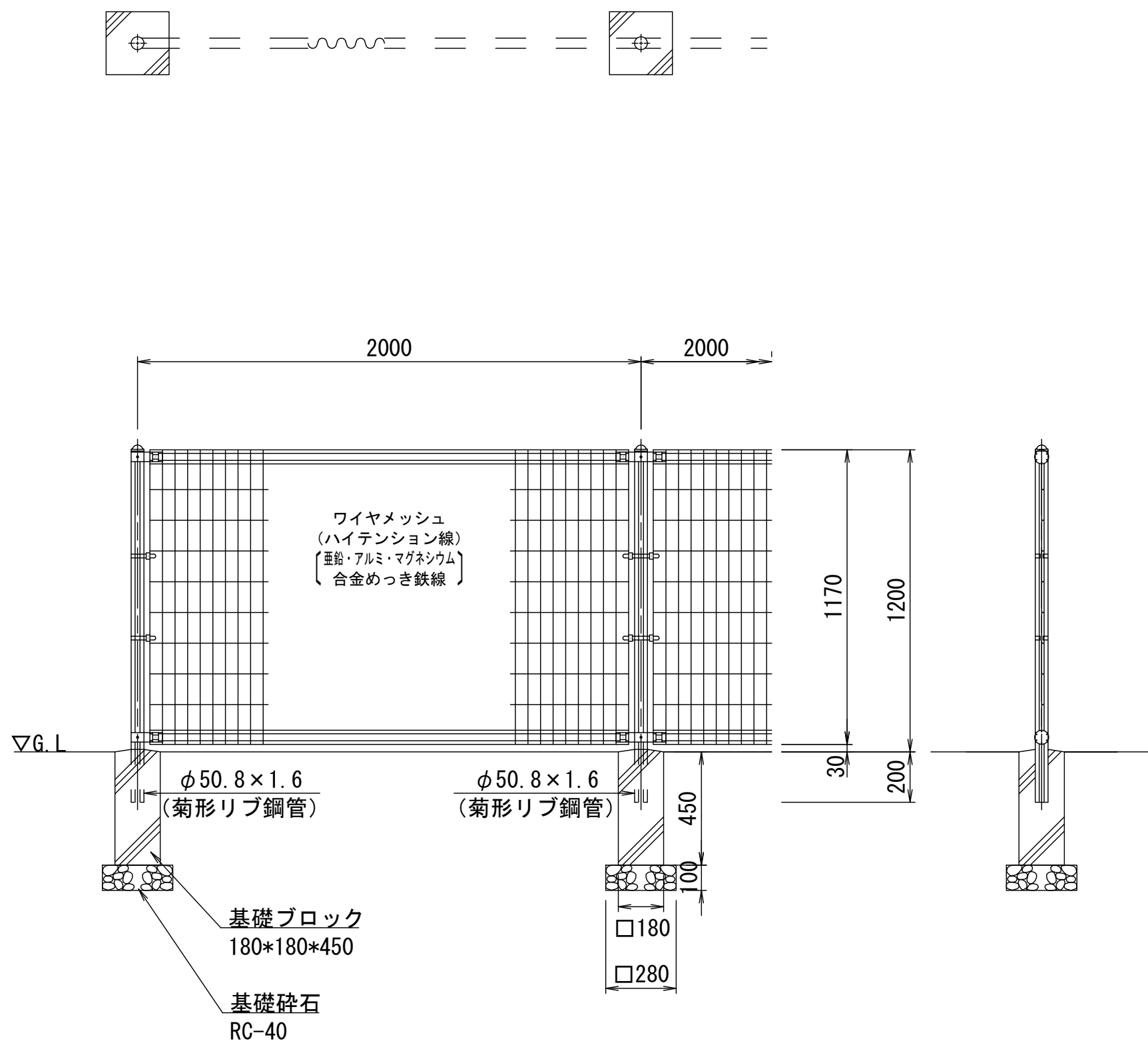


設計条件
設計荷重・・・建築基準法・同施行令（平成12年6月）に基づく風圧力に依る。
基準風速・・・34m/sec
地表面粗度区分・・・Ⅲ
基礎条件・・・長期許容地耐力 100kN/m²

- 備考
- | | |
|-----------|--------------------------------|
| 1. 外装について | 亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉末塗装 |
| ・支柱、ジョイント | |
| ・押え金具 | |
| ・ワイヤメッシュ | |
| ・バンド | 亜鉛・アルミ合金めっきの上高耐候性樹脂粉末塗装 |
| ・U型金具 | 亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上防錆着色処理 |
| ・ボルト、ナット | 溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理 |

フェンス-1 材料表				10m当り
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
基礎砕石	RC-40 t=100	m2	0.61	
基礎ブロック	250*250*500	基	5.00	
フェンス-1	H=2.0m	m	10.00	UNフェンス A2000L-50同等品以上
床掘		m3	1.27	
埋戻	流用土	m3	1.05	
基面整正		m2	0.61	

フェンス-3
S=1:20



設計条件
設計荷重・・・建築基準法・同施行令（平成12年6月）に基づく風圧力に依る。
基準風速・・・34m/sec
地表面粗度区分・・・Ⅲ
基礎条件・・・長期許容地耐力 100kN/m²

- 備考
- | | |
|-----------|--------------------------------|
| 1. 外装について | 亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉末塗装 |
| ・支柱、ジョイント | |
| ・押え金具 | |
| ・ワイヤメッシュ | |
| ・バンド | 亜鉛・アルミ合金めっきの上高耐候性樹脂粉末塗装 |
| ・U型金具 | 亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上防錆着色処理 |
| ・ボルト、ナット | 溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理 |

フェンス-3 材料表				10m当り
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
基礎砕石	RC-40 t=100	m2	0.39	
基礎ブロック	180*180*450	基	5.00	
フェンス-3	H=1.2m	m	10.00	UNフェンス A1200L-50同等品以上
床掘		m3	0.93	
埋戻	流用土	m3	0.81	
基面整正		m2	0.39	

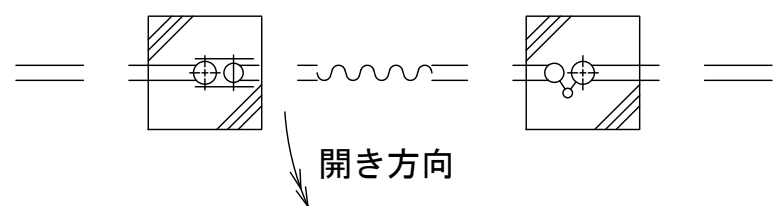
※この図面はA1サイズを原寸とする。

工 事 名	令和7年度建整ス振補継第1号 海浜公園内陸上競技場改修工事		
施工箇所名	津市末広町 地内		
図面の種類	管理施設整備工構造図(1)		
縮 尺	S=1:20	図面番号	87 / 133
事業所名	津市 建設部 建設整備課		

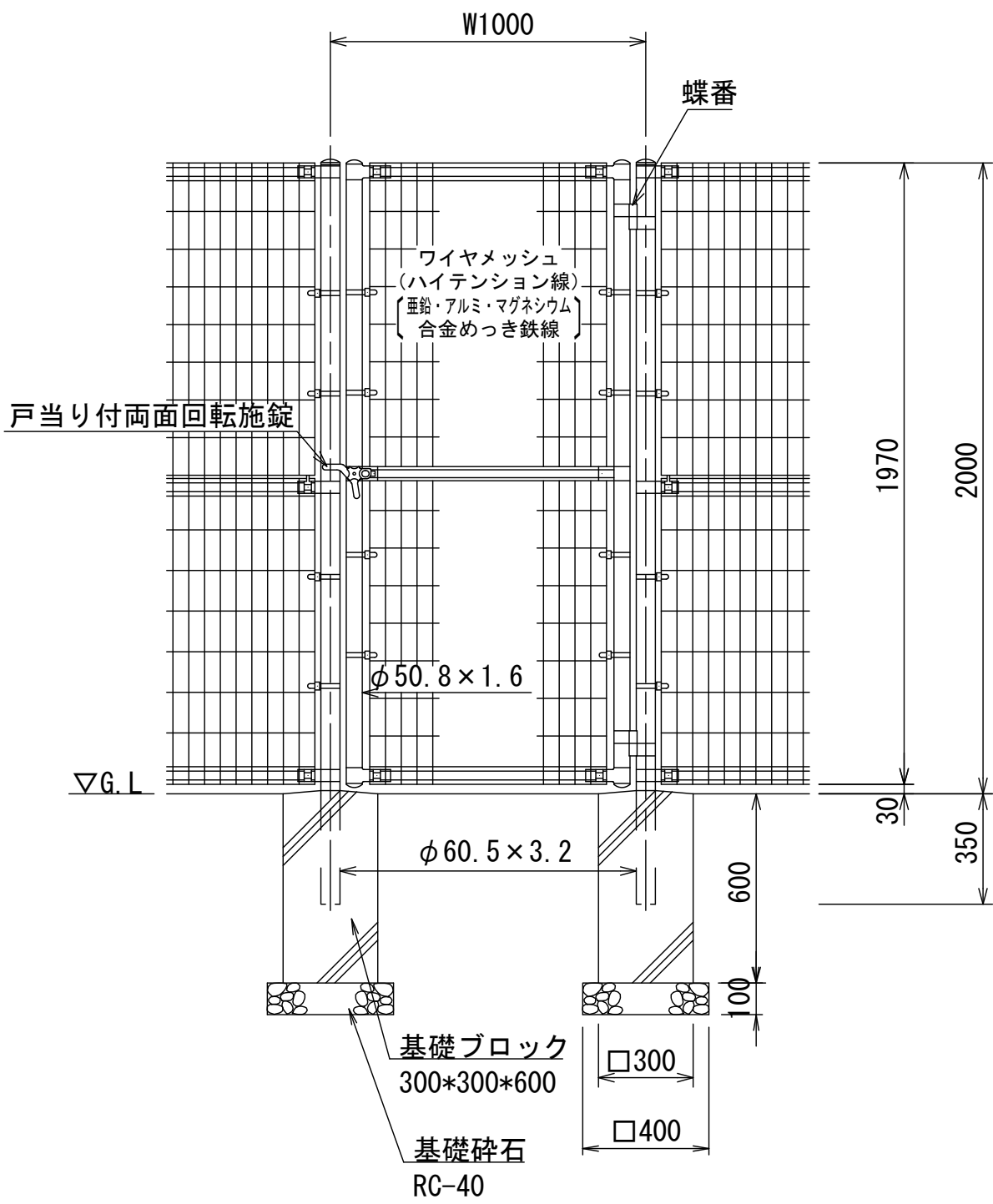
管理施設整備工構造図（2）

門扉-1

平面図
S=1:20



正面図
S=1:20

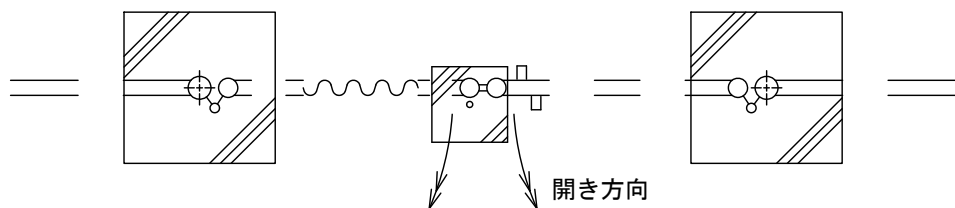


門扉-1 材料表 10基当り

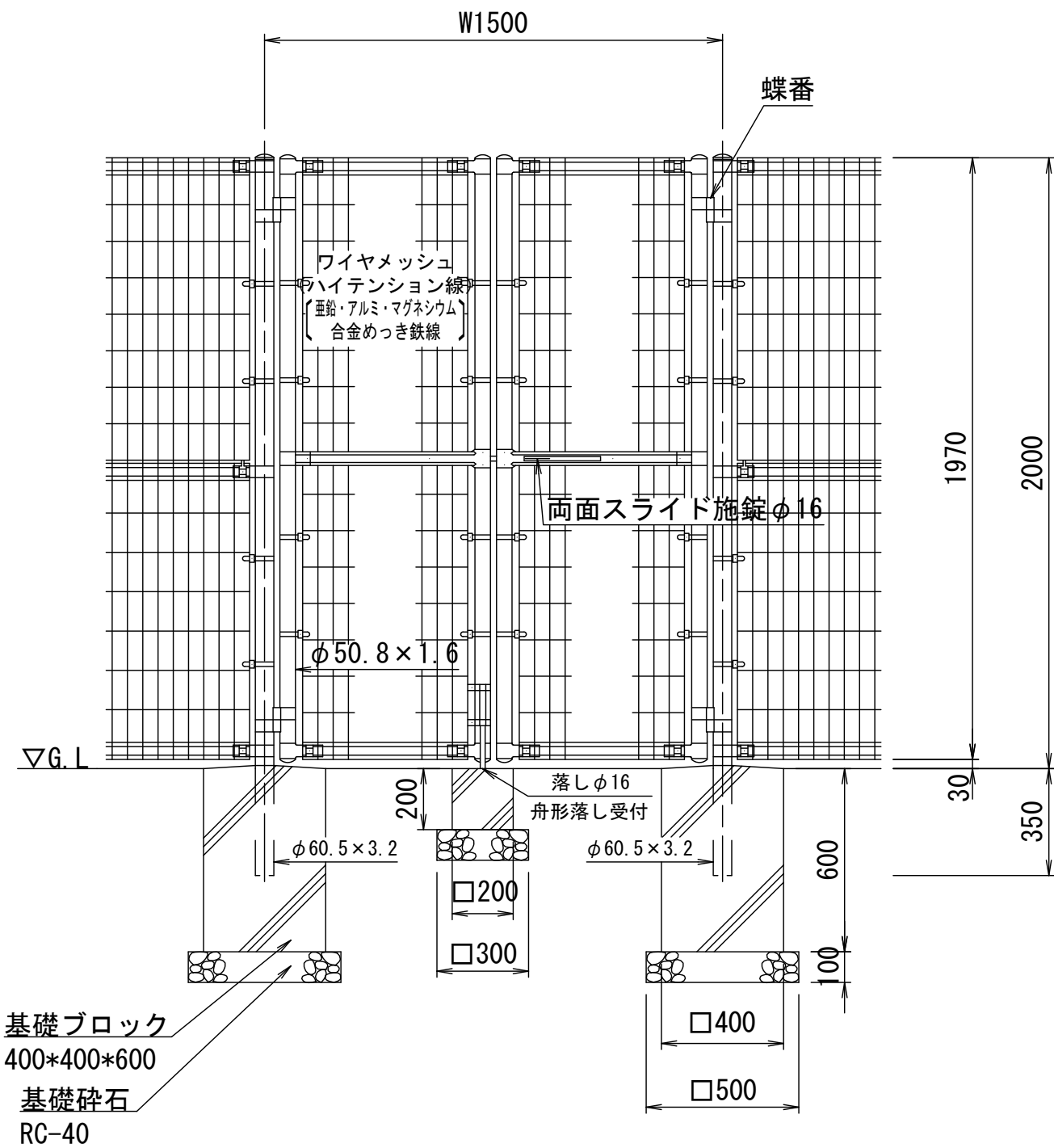
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
基礎砕石	RC-40 t=100	m2	3.20	
基礎ブロック	300*300*600	基	20.00	
門扉-1	H=2.0m W=1.0m	基	10.00	UNフェンス片開き門扉 A2000-50同等品以上
床掘		m3	6.86	
埋戻	流用土	m3	5.46	
基面整正		m2	3.20	

門扉-2

平面図
S=1:20



正面図
S=1:20

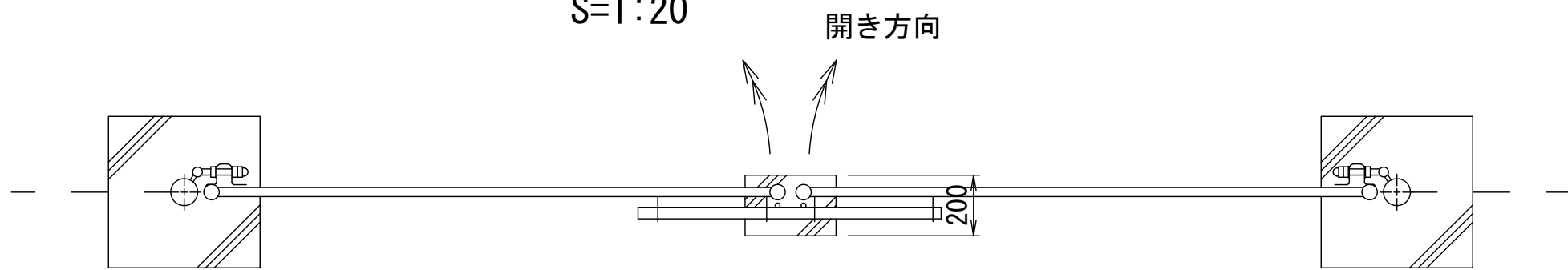


門扉-2 材料表 10基当り

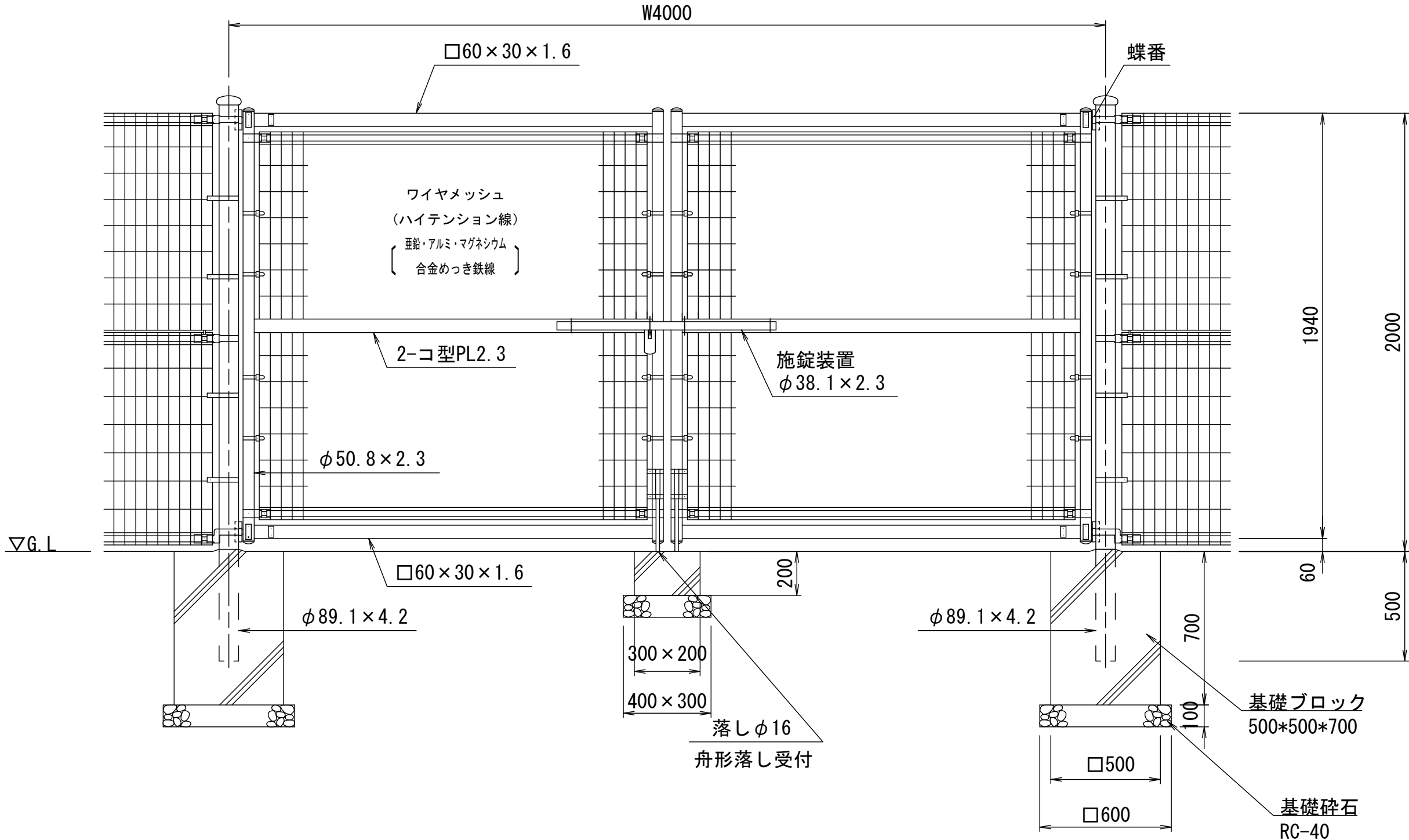
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
基礎砕石	RC-40 t=100	m2	5.90	
コンクリート	18-8-25BB	m3	0.08	
同上型枠		m2	1.60	
基礎ブロック	400*400*600	基	20.00	
門扉-2	H=2.0m W=1.5m	基	10.00	UNフェンス面開き門扉 A2000-50同等品以上
床掘		m3	10.88	
埋戻	流用土	m3	8.29	
基面整正		m2	5.90	

門扉-3

平面図
S=1:20



正面図
S=1:20



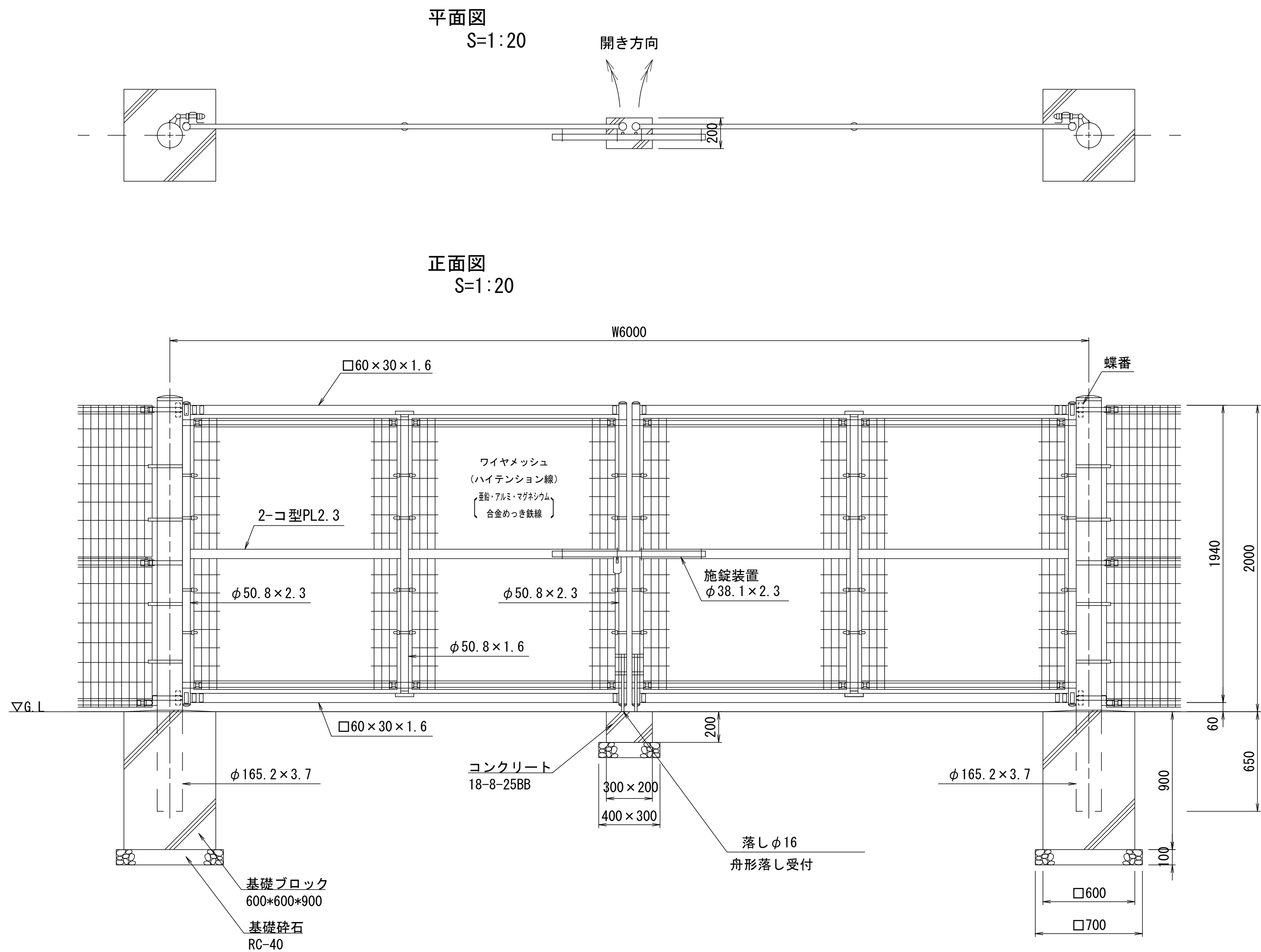
門扉-3 材料表 10基当り

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
基礎砕石	RC-40 t=100	m2	8.40	
コンクリート	18-8-25BB	m3	0.12	
同上型枠		m2	2.00	
基礎ブロック	500*500*700	基	20.00	
門扉-3	H=2.0m W=4.0m	基	10.00	UNフェンス面開き門扉 A2000-50同等品以上
床掘		m3	15.12	
埋戻	流用土	m3	14.67	
基面整正		m2	8.40	

※この図面はA 1サイズを原寸とする。	
工 事 名	令和7年度建整ス振補継第1号 海浜公園内陸上競技場改修工事
施工箇所名	津市末広町 地内
図面の種類	管理施設整備工構造図(2)
縮 尺	S=1:20 図面番号 88 133
事業所名	津市 建設部 建設整備課

管理施設整備工構造図（3）

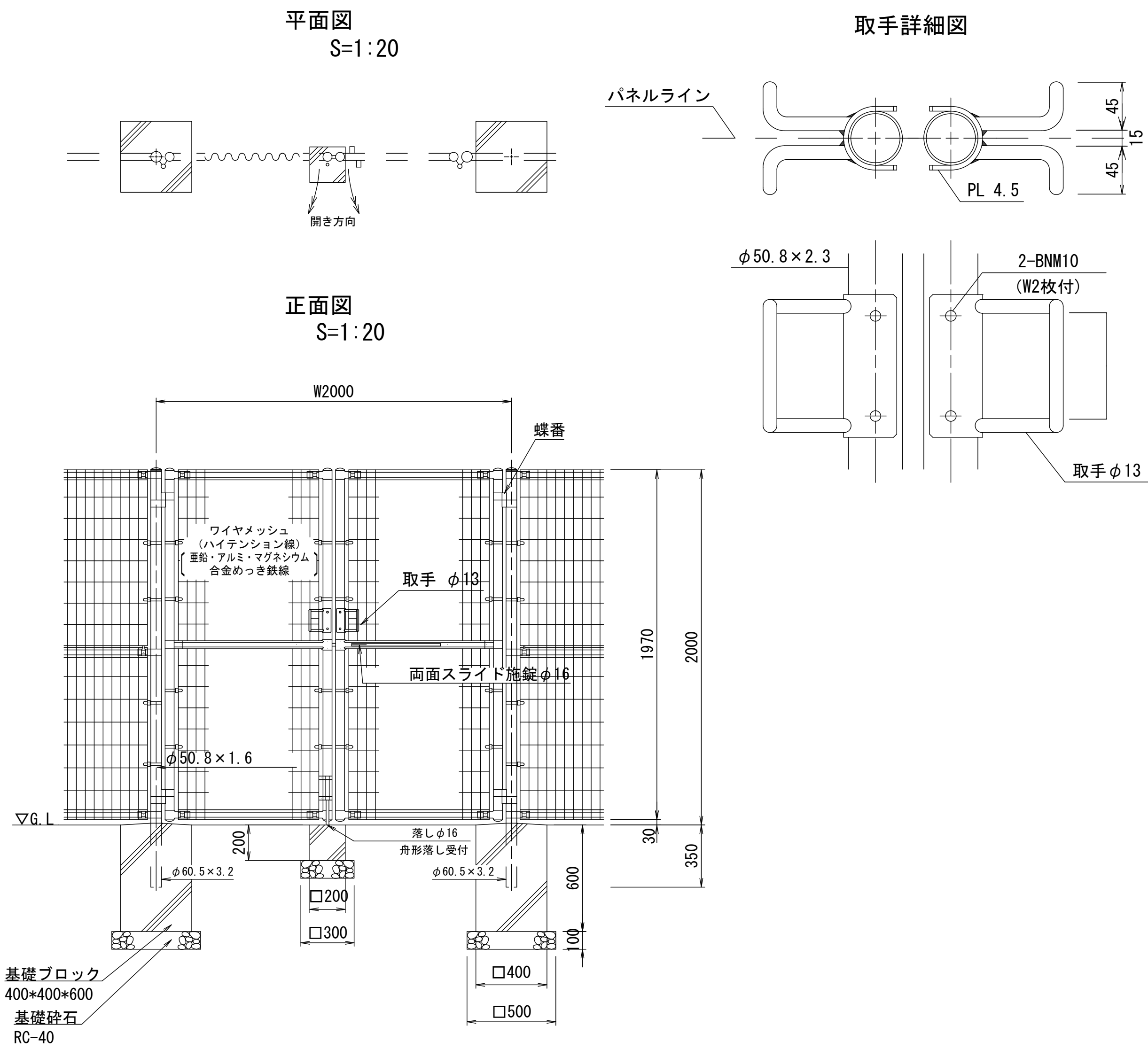
門扉-4



門扉-4 材料表 10基当り

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
基礎砕石	RC-40 t=100	m2	11.00	
コンクリート	18-8-25BB	m3	0.12	
同上型枠		m2	2.00	
基礎ブロック	600*600*900	基	20.00	
門扉-4	H=2.0m W=6.0m	基	10.00	UNフェンス両開き門扉 A2000-50同等品以上
床掘		m3	22.16	
埋戻	流用土	m3	14.46	
基面整正		m2	11.00	

門扉-5



門扉-5 材料表 10基当り

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
基礎砕石	RC-40 t=100	m2	5.90	
コンクリート	18-8-25BB	m3	0.08	
同上型枠		m2	1.60	
基礎ブロック	400*400*600	基	20.00	
門扉-5	H=2.0m W=2.0m	基	10.00	UNフェンス両開き門扉(取手付) A2000-50同等品以上
床掘		m3	10.88	
埋戻	流用土	m3	8.29	
基面整正		m2	5.90	

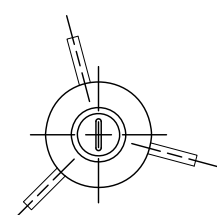
※この図面はA 1サイズを原寸とする。

工 事 名	令和7年度建整ス振補継第1号 海浜公園内陸上競技場改修工事		
施工箇所名	津市末広町 地内		
図面の種類	管理施設整備工構造図(3)		
縮 尺	S=1:20	図面番号	89 / 133
事業所名	津市 建設部 建設整備課		

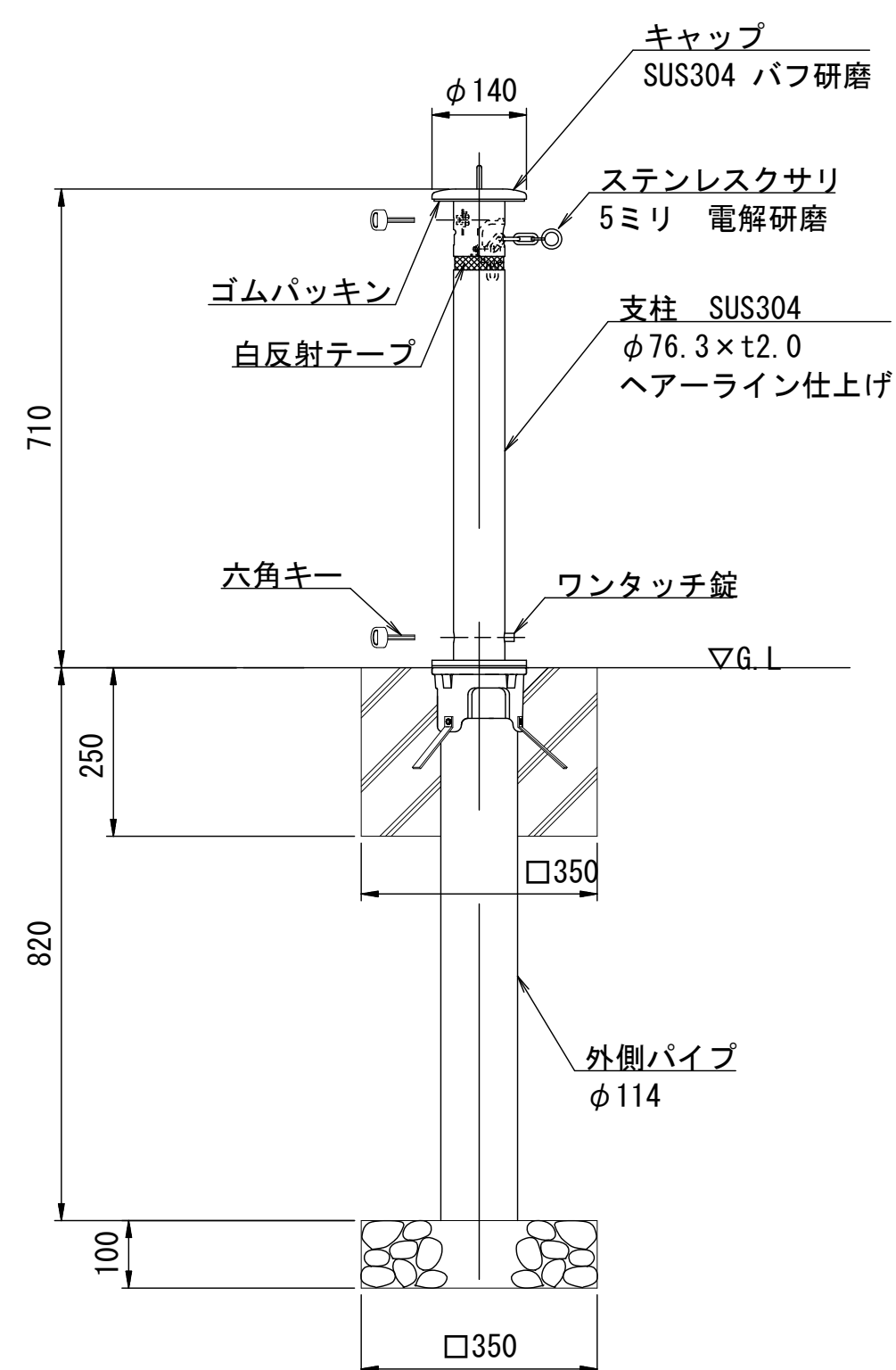
管理施設整備工構造図 (4)

車止め-1

平面図
S=1:10

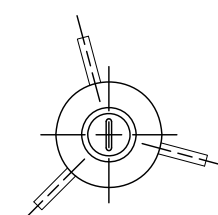


側 面 図
S=1:10

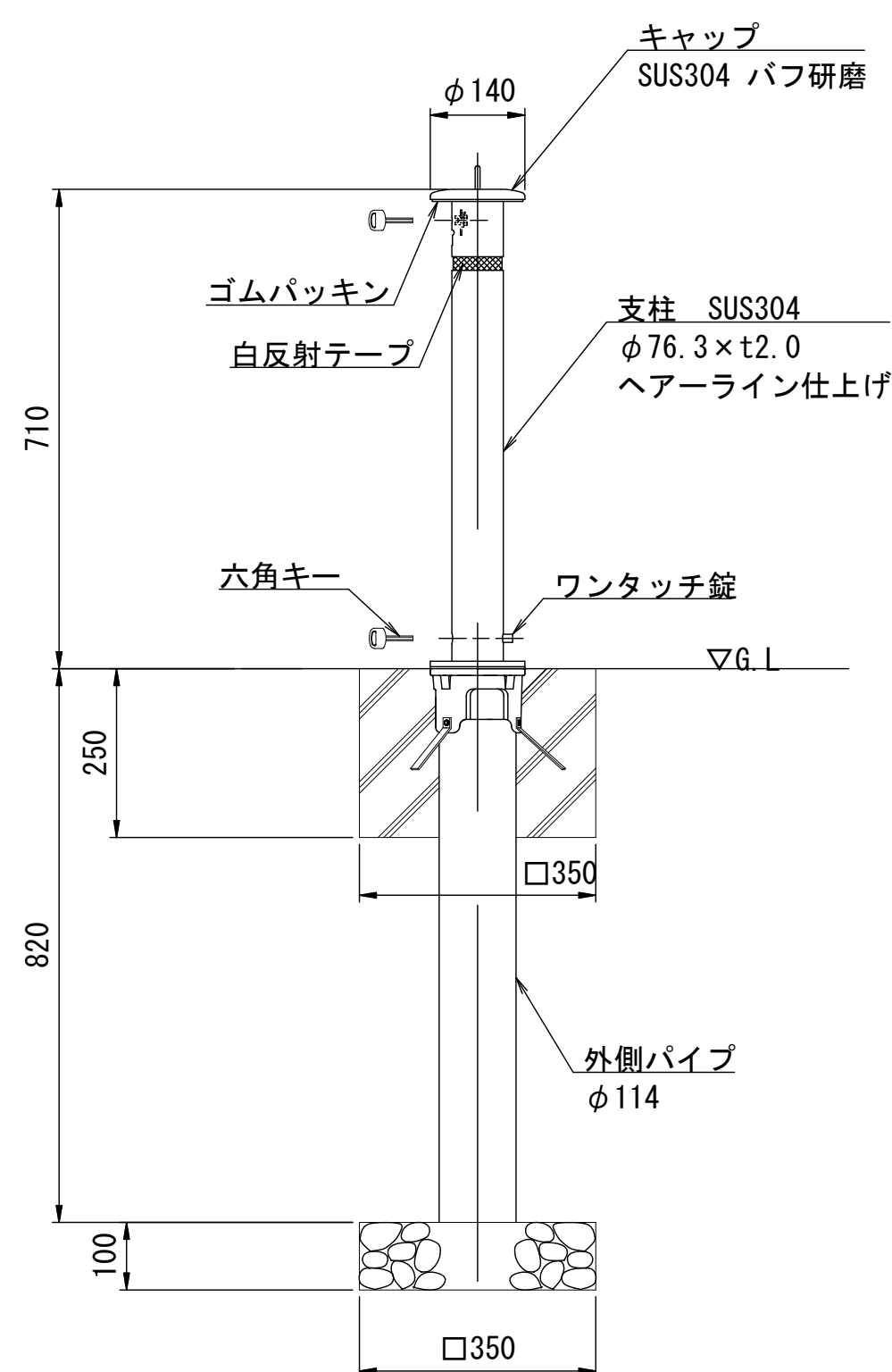


車止め-2

平面図
S=1:10

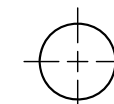


側 面 図
S=1:10

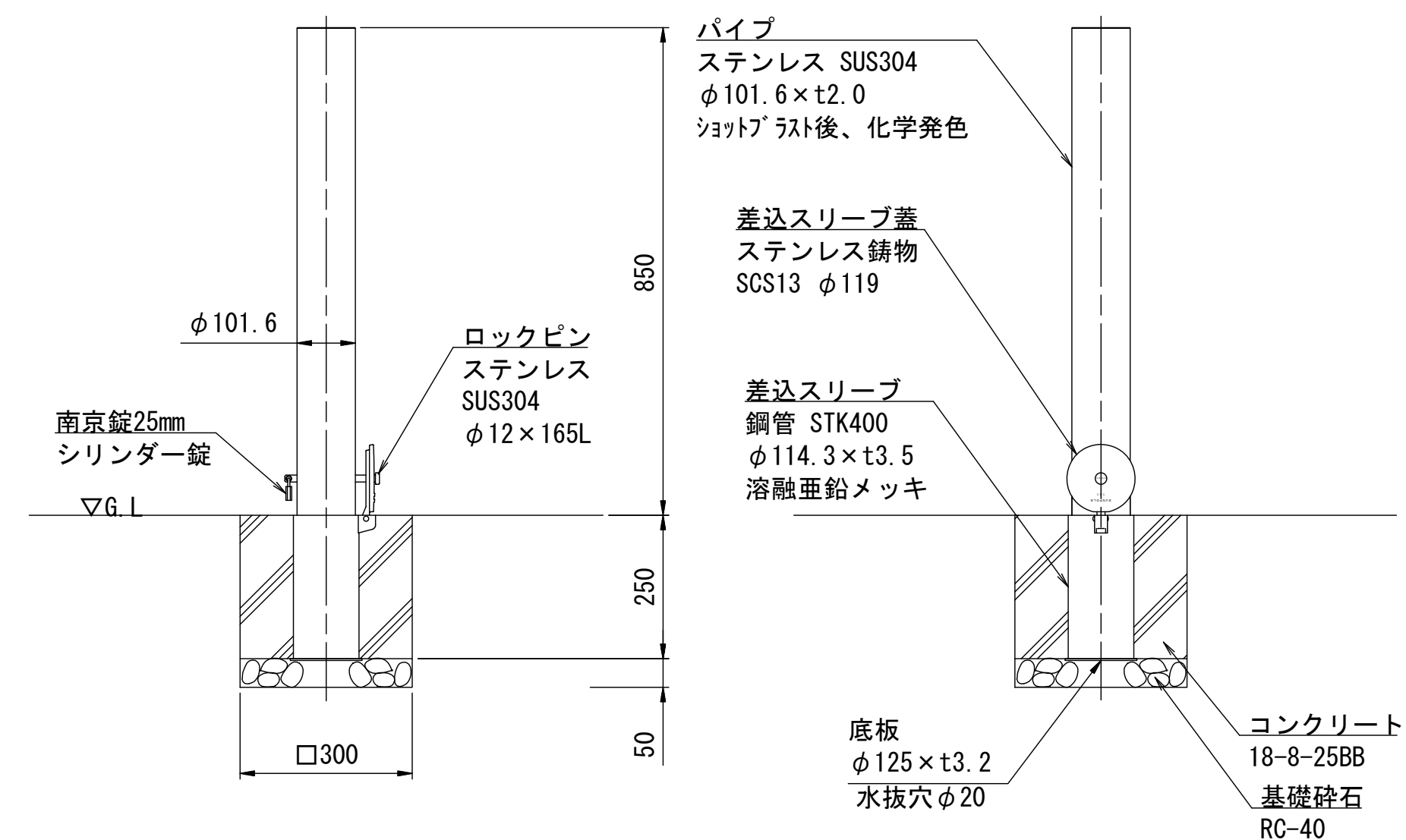


車止め-3

平面図
S=1:10



側 面 図
S=1:10



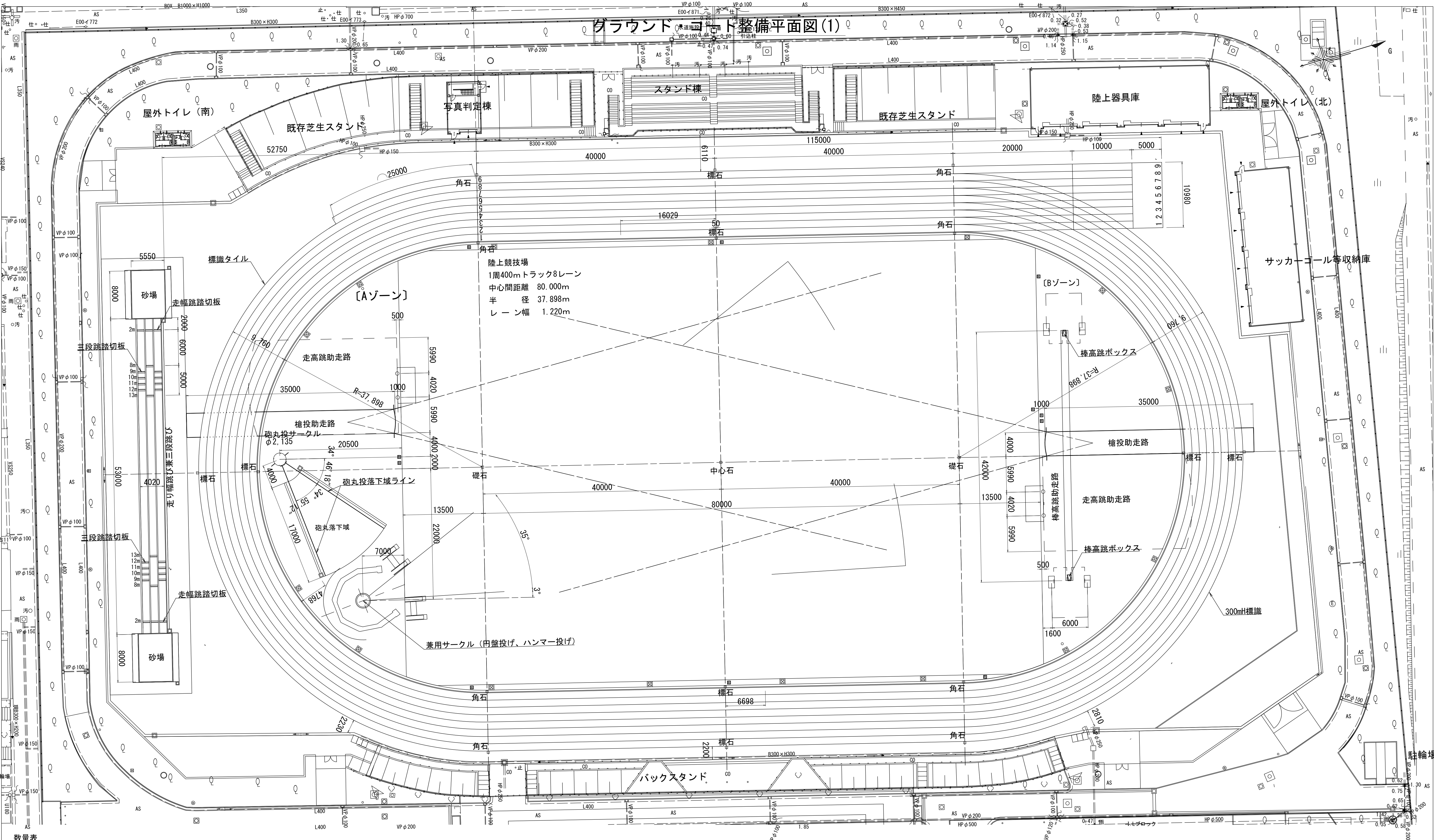
車止め-1 材料表				10基当り
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
基礎砕石	RC-40 t=100	m2	1.23	
コンクリート	18-8-25BB	m3	0.28	
同上型枠		m2	3.50	
車止め-1	φ76.3 H710 ステンレスサリφ5	基	10.00	KS-11C同等品以上
床掘		m3	8.30	
埋戻	流用土	m3	7.82	
基面整正		m2	1.23	

車止め-2 材料表				10基当り
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
基礎碎石	RC-40 t=100	m2	1.23	
コンクリート	18-8-25BB	m3	0.28	
同上型枠		m2	3.50	
車止め-2	φ76.3 H710	基	10.00	KS-11CT同等品以上
床掘		m3	8.30	
埋戻	流用土	m3	7.82	
基面整正		m2	1.23	

車止め-3 材料表			10基当り	
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
基礎碎石	RC-40 t=100	m2	0.90	
コンクリート	18-8-25BB	m3	0.20	
同上型枠		m2	3.00	
車止め-3	φ101.6 H850	基	10.00	
床掘		m3	2.43	
埋戻	流用土	m3	2.16	
基面整正		m2	0.90	

※この図面はA 1サイズを原寸とする。

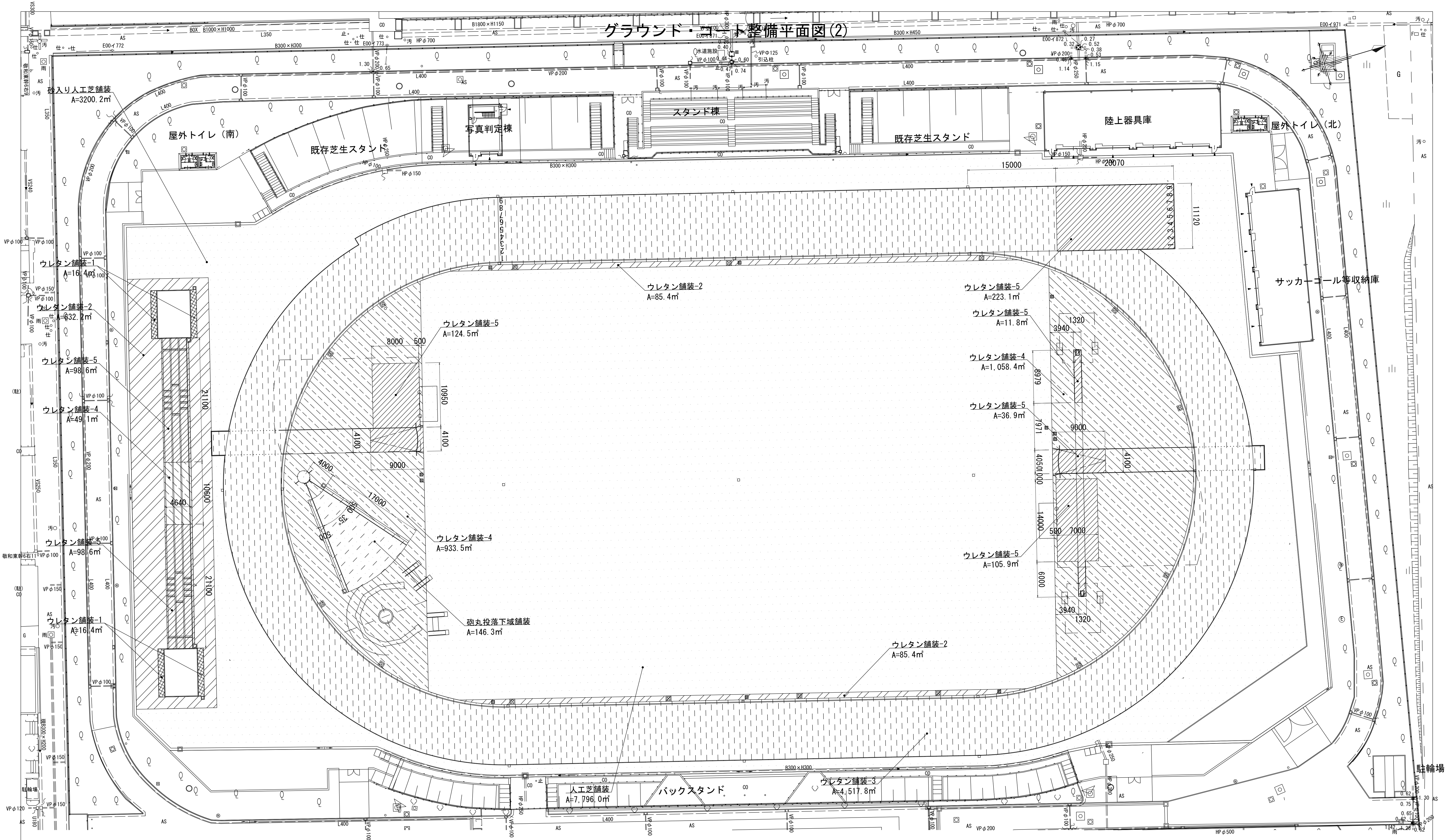
工 事 名	令和7年度建整ス振補継第1号 海浜公園内陸上競技場改修工事		
施工箇所名	津市末広町 地内		
図面の種類	管理施設整備工事構造図 (4)		
縮 尺	S-1:10	図面番号	90 / 133
事業所名	津市 建設部 建設整備課		



数量表					
凡例	名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
□	礎石・中心石	御影石 150×150×300 +刻線入り真鍮板 35×35×5	箇所	3	インフィールド
□	角石・標石	一刻線入り真鍮板 35×35×5	箇所	16	走路内圏、外圏
	標識タイル	SUS製 30×30×2	枚	565	※構造図(10)参照
	300mH標識	皿ビス (SUS) 埋込+ペイント	個	86	※構造図(10)参照
	走幅跳・三段跳踏切板	木製(JAAF検定品) SUS製ボックス (WA承認品)	箇所	26	助走路
□	砂場	8.0m×5.55m 枠:白ウレタン	箇所	2	走幅跳・三段跳用
▮	棒高跳ボックス	SUS製(JAAF検定品)・付属品1式 蓋共	箇所	2	Bゾーン

凡例	名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
○	砲丸投サークル	SUS製(JAAF検定品)φ2.135 足留材固定金具付き	箇所	1	Aゾーン
	砲丸投落下域ライン	グラスファイバー入 W=50・留釘共	m	34.0	砲丸投落下域
○	兼用サークル	SUS製(JAAF検定品)φ2.500 取り外し式ハンマー投サークル共	箇所	1	

※この図面はA 1サイズを原寸とする。世界測地系	
工 事 名	令和7年度建整ス振補経第1号 海浜公園内陸上競技場改修工事
施工箇所名	津市末広町 地内
図面の種類	グラウンド・コート整備平面図(1)
縮 尺	S=1:300 図面番号 91 133
事業所名	津市 建設部 建設整備課



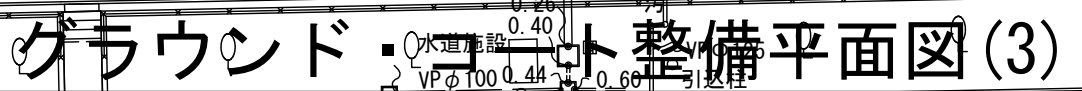
数量表

凡 例	名 称	規 格	単位	数 量	備 考
	ウレタン舗装-1	レオタンαエンボスSF Rタイプ t=9mm スムース仕上げ	㎡	32.8	
	ウレタン舗装-2	レオタンαエンボスSF Rタイプ t=9mm ローラーエンボス仕上げ	㎡	803.0	
	ウレタン舗装-3	レオタンαエンボスSF Rタイプ t=13mm ローラーエンボス仕上げ	㎡	4517.8	
	ウレタン舗装-4	レオタンαエンボスSF Rタイプ t=15mm ローラーエンボス仕上げ	㎡	2041.0	
	ウレタン舗装-5	レオタンαエンボスSF Rタイプ t=18mm ローラーエンボス仕上げ	㎡	699.4	

凡 例	名 称	規 格	単位	数 量	備 考
	人工芝舗装	投てき対応人工芝	㎡	7796.0	
	砲丸投落下域舗装	アンツカ t=100	㎡	146.3	
	砂入り人工芝舗装		㎡	3200.2	

※この図面はA 1サイズを原寸とする。 世界測地系

工 事 名	令和7年度建整ス振補継第1号 海浜公園内陸上競技場改修工事
施工箇所名	津市末広町 地内
図面の種類	グラウンド・コート整備平面図(2)
縮 尺	S=1:300 図面番号 92 133
事業所名	津市 建設部 建設整備課



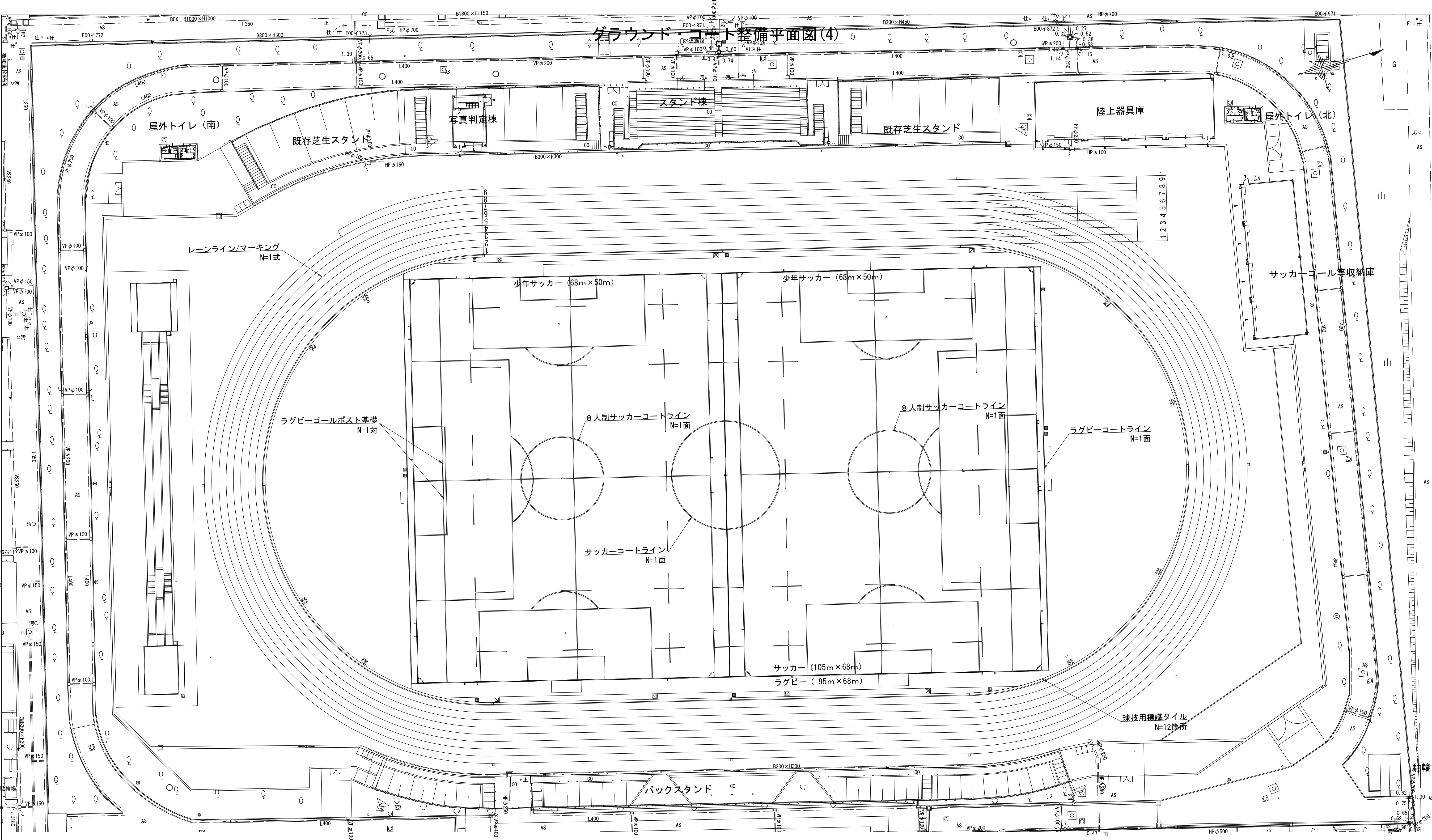
数量表

凡 例	名 称	規 格	單位	數 量	備 考
=====	內圈綠石（直線）	SUS製白色塗裝品	m	160.0	
=====	內圈綠石（曲線）	SUS製白色塗裝品	m	238.2	
=====	鋪裝止緣石-1	□120	m	644.5	
=====	鋪裝止緣石-2	□120 巻込み付	m	931.2	

凡 例	名 称	規 格	單位	數 量	備 考
— — —	ウレタン巻込み-1	L=20mm	m	1151.5	内圍、助走路、落下方側溝・ 鍍技施設、集水槽
— — —	ウレタン巻込み-2	L=60mm	m	478.8	
— — —	ウレタン巻込み-3	L=100mm	m	54.2	砂場内側

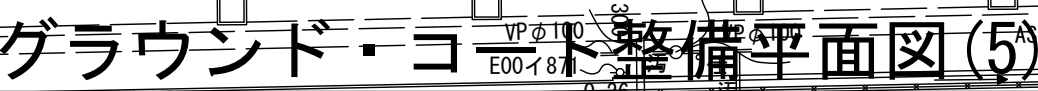
※この図面はA 1 サイズを原寸とする。 世界測地系

工 事 名	令和7年度整備ふ振補継第1号 海浜公園内陸上競技場改修工事		
施工箇所名	津市末広町 地内		
図面の種類	グラウンド・コート整備平面図(3)		
縮 尺	S=1:300	図面番号	93 / 133
事業所名	津市 建設部 建設整備課		



数量表					
凡例	名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
	球技用標識タイル	SUS製 30×30×2	箇所	12	サッカー4 ラグビー4、兼用4
	レーンライン	レーンライン(白色) アクリルウレタン系樹脂塗料 カラーマーキング(指定色)	式	1	走路、助走路
	マーキング	アクリルウレタン系樹脂塗料	式	1	走路、助走路
	ラグビーゴールポスト基礎	□700	対	1	1対=4箇所
	サッカーコートライン	105m×68m、ライン白色	面	1	
	ラグビーコートライン	95m×68m、ライン黄色	面	1	
	8人制サッカーコートライン	68m×50m、ライン青色	面	2	

※この図面はA 1サイズを原寸とする。世界測地系	
工 事 名	令和7年度建整ス振補継第1号 海浜公園内陸上競技場改修工事
施工箇所名	津市末広町 地内
図面の種類	グラウンド・コート整備平面図(4)
縮 尺	S=1:300 図面番号 94 133
事業所名	津市 建設部 建設整備課



※この図面はA 1サイズを原寸とする。 世界測地系

工 事 名	令和7年度建整整備補修第1号 海浜公園内陸上競技場改修工事		
施工箇所名	津市末広町 地内		
図面の種類	グラウンド・コート整備平面図(5)		
縮 尺	S=1:300	図面番号	95 / 133
事業所名	津市 建設部 建設整備課		

グラウンド・コート整備構造図(1)

工事特記仕様書ー1

人工芝（投てき競技対応型人工芝）舗装工事 施工特記仕様書

一般事項

総 則

1. 準拠する図書

本工事の特記仕様書、設計図に記載の無い事項については下記の図書(最新版)に準拠する。

- (1) 工事請負契約書、設計図書
- (2) 「三重県土木工事共通仕様書」 三重県＜最新年度版＞
- (3) 「陸上競技ルールブック」 公益財団法人 日本陸上競技連盟＜最新年度版＞
- (4) 「屋外スポーツ施設の建設指針」 公益財団法人 日本体育施設協会編＜最新年度版＞
- (5) 「舗装設計施工指針」 公益社団法人 日本道路協会＜最新年度版＞
- (6) その他、定めのないものについては監督員と協議の上、その指示によるものとする。

2. 特記仕様書の適用

- (1) 本特記仕様書は工事範囲のうち、舗装工事と競技施設工事に関して特記したものである。
- (2) 準拠する各仕様書等に記載なき事項を特記するものである。各工事において他の工事と関連ある事項は各々の該当工事の記載事項と照合する。

3. 施工資格

本陸上競技場工事は、専門性の施工を要求されるため、第3種以上の公認陸上競技場の実務経験を有し、施工技術、品質管理に万全を期すこと。

4. 監督員の定義

本仕様書という監督員とは、津市の本工事担当職員(担当監督職員)を云い、工事契約書に基づく設計図書の記載事項に関して指示・承諾・協議

・立会い・検査等を行なう者を云う。

5. 施工及び工程管理

工事着工前に、工程表、施工計画書、現場組織表を監督員に提出し承認を得る。承認を得た上で工事着手するものとする。

6. 事前調査

請負者は、事前に設計図書に基づき現地調査、測量等を実施して調査成果を提出し、監督員の承認を受ける。

7. 材料の管理

材料は、見本またはこれらに代わる資料・図面を現場搬入前に監督員に提出し、承認を受け使用するものとする。

8. 竣工図書

工事竣工後、監督員の指示に従って竣工図ならびに必要な図書を作成し、監督員の指示する部数ならびに原図を提出する。

9. 官公庁その他への手続き

本工事に必要な関係官公庁その他への手続きは遅滞なく行うこと。

10. 競技場規格

本陸上競技場は、日本陸上競技連盟（以下「日本陸連」という）が定める「陸上競技場の公認に関する細則」に合致する第3種公認陸上競技場とし、公式の陸上競技大会を開催し得るに十分な精度のある施設とする。

11. 疑義及び変更

- (1) 施工中に疑義及び変更事項が生じた場合は、監督員に事前に書面にて報告し、承諾（協議書または指示書による）に基づき施工しなければならない。
- (2) 軽微な変更は、監督員との合意に基づき請負者が負担する。

12. 公認検定等

- (1) 工事完成後、請負者は日本陸連による第3種公認の検定に立ち会うこと。計測の結果、日本陸連の基準に合致しない場合は、請負者の責任において必要箇所を手直し、修正しなければならない。
- (2) 公認検定のための諸手続きと検定費用（公認料を含む）については、申請者（発注者）が負担するものとする。
- (3) 公認検定の合格後は速やかに工事完了届を監督員に提出し、完了検査を受ける。
- (4) 完了検査に先立ち、竣工図、工事工程写真、検査試験表等を監督員に提出する。

①材料

1. 路盤

使用する路盤材は砕石（0-40）とし、再生砕石は使用しないこと。

2. 人工芝（投てき競技対応型人工芝）

人工芝は、陸上競技の投てき種目の公式競技が可能かつ、「投てき実施可能な人工芝敷設ガイドライン」（公財）日本陸上競技連盟施設用器具委員会編の基準を満たした投てき競技対応型人工芝とし、ラボテスト適合製品とする。

（参考）投てき競技対応型人工芝（スポーツターフⅧ（ラムダ）/150MN）同等品以上

項 目		規 格
材 質	パイル	耐久性ポリエチレン
	基布	ポリエステル製綿付ポリプロピレン平織布
	バックینگ	ポリエチレン・SBRラテックス混合体
	充填材	粒度調整特殊珪砂 天然素材
パイルの長さ (mm)		150mm
充填材の厚さ (mm)		120mm

3. 材料試験成績の承認

上記1～2に示す材料の試験成績表は、工事に先だって提出し、監督員の承認を得ること。

(1) 路盤工

路盤材（0-40）の敷均しは所定の厚みで均一とし、所定の高さで不陸修正、転圧を行い、平坦に仕上げる。

(2) 表面固定処理

路盤の不陸修正および転圧完了後、路盤の表面を安定させるため、エンジンスプレーヤー等により、表面固定材を均一に散布（1.0L/m²）する。

(3) 人工芝敷設

1. 事前に人工芝割付図を提出し、監督員の承認を得ることとする。
2. 人工芝割付図に基づき、人工芝ロールを展開し、ジョイントテープと接着材を使って人工芝を貼り合わせる。その際、人工芝のよれやジョイントの開きが発生しないように留意して施工すること。
3. 各球技のコートラインを同一の人工芝を使って埋め込む。ラインの色、レイアウトする球技コートについては監督員と事前に協議のうえで決定し、承認を得ること。
4. 充填材を散布し、ブラッシングにより所定の断面構造、厚さになるよう平坦に仕上げる。

③品質・出来形管理

出来形および品質の検査基準は「屋外スポーツ施設の建設指針」に示される他、次の通りとする。

人工芝（投てき競技対応型人工芝）

1. 投てき競技対応型人工芝の施工後、「投てき実施可能な人工芝ガイドライン」に基づきフィールドテストを受けて、検定を受ける前までに試験結果が全ての基準を満たしていなければならない。
2. 検定時にフィールドテスト合格通知を日本陸連に提出すること。

※この図面はA1サイズを原寸とする。

工 事 名	令和7年度建整ス振補継第1号 海浜公園内陸上競技場改修工事		
施工箇所名	津市末広町 地内		
図面の種類	グラウンド・コート整備構造図(1)		
縮 尺	—	図面番号	96 / 133
事業所名	津市 建設部 建設整備課		

グラウンド・コート整備構造図(2)

工事特記仕様書－2

ウレタン舗装工事 施工特記仕様書

①材料

1. 下層路盤

使用する下層路盤材は砕石（C-40）とし、再生砕石は使用しないこと。

2. 上層路盤

使用する上層路盤材は粒調砕石（M-30）とし、再生砕石は使用しないこと。

3. アスファルト舗装材

- (1) ウレタン舗装の下地アスファルト舗装は、プリスタリング（蒸気圧によるふくれ）を防止するため、開粒度アスファルトとする。
- (2) 開粒度アスファルト混合物は最大粒径13mmとする。
- (3) アスファルト混合物の骨材粒径は下記の通りとし、室内配合や現場配合を決定する際には、下記のマーシャル試験基準を満足するものとする。

「アスファルト混合物の骨材粒径」

混合物の種類		開粒度アスコン (開粒13)
最大粒径 mm		13
仕上り厚 cm		3～4
通過重量百分率 (%)	26.5mm	
	19.0	100
	13.2	95～100
	4.75	23～45
	2.36	15～30
	0.6	8～20
	0.3	4～15
	0.15	4～10
	0.075	2～7
アスファルト量（%）		3.5～5.5

「マーシャル試験基準値」

混合物の種類	開粒度アスコン (開粒13)
突固め回数	50
空隙率（%）	12以上
飽和度（%）	－
安定度（KN）	3.43以上
フロー値（1/100cm）	20～40
透水係数（cm/sec）	1×10 ⁻² 以上

4. ウレタン舗装材

- (1) 舗装材はウレタン舗装（レオタンαエンボスSF Rタイプ同等品以上）とし、表面仕上げはローラーエンボス仕上げとする。
- (2) 舗装材料は、主剤・硬化剤ともに特定化学物質障害予防規則非該当品とし、かつ硬化剤にはMOCA（3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニルメタン）を全く含まない環境対応型ウレタン材とする。
- (3) ウレタン断面構成は、下から弾性層（ゴムチップ）、上塗り層、エンボス層の3層構造とする。
- (4) ウレタン舗装材は、下記の「ウレタン性能規格表」の基準をすべて満足するものであって、メーカーによる試験成績表を提出し、監督員の承認を得ることとする。

また、耐候性については屋外暴露試験による評価を原則とする。但し、期間的に不可能な場合はJ I S A-1 4 1 5に規定する促進試験をもって判定資料とする。

「ウレタン性能規格表」

項 目		規 格	試 験 方 法
ゴムチップ層〔舗装材の物性値〕			
物 性	引張強さ	0. 3 M p a 以上	J I S K-6 2 5 1
	伸び	4 0 % 以上	
ウレタン層〔材料の物性値〕			
物 性	硬度	2 0℃ 4 0 ～ 7 5 7 0℃ 2 0℃の-1 0 %以内	J I S K-6 2 5 3-3、デュロメータA
	引張強さ	2. 0 M p a 以上	J I S K-6 2 5 1
	伸び	5 0 0 % 以上	J I S K-6 2 5 1
	引裂強度	1 2 N／mm 以上	J I S K-6 2 5 2-1 アングル型（切り込みなし）
	耐摩耗性	6 0 0 m g 以下	J I S K-7 2 0 4 テーパー摩耗試験 CS-17、9. 8 N、1 0 0 0 回
耐候性	屋外暴露	ひびわれ、チョーキング、退色、などの著しい劣化を生じないこと。	1 年間以上屋外南面に暴露または過去に施工された競技場の劣化状況判断による
	促進試験		J I S A-1 4 1 5 WS-A型ウェザーメーター 1 0 0 0 時間
滑り抵抗		W e t 4 7 以上	WA基準

（注）物性・・・・ウレタンのシート物性を示す。

- (5) レーンライン・マーキングは、無変色タイプのアクリルウレタン系樹脂塗料を使用する。
- (6) トップコート材料は、つや消し効果および耐候性をもち、夏季におけるウレタン表面の温度上昇を抑制する遮熱型トップコートとする。

5. 材料試験成績の承認

上記1～4に示す材料の試験成績表は、工事に先だって提出し、監督員の承認を得ること。

②施工

ウレタン舗装

- (1) 準備工
- 下地アスファルト・コンクリート表面にある土砂、埃等はスqueeperまたは水洗いにより表層施工前に除去する。
 - 下地アスファルト・コンクリート表面の欠陥部、および軟弱な箇所は除去する。
 - アスファルト舗設後、2週間以上の養生期間をおいた後、ウレタン舗装の施工に着手すること。工事工程上、養生期間が十分にとれない場合は、アスファルト表面を水洗い等により、油分の除去・揮発処置を行う。
 - コンクリート舗設後、4週間以上の養生期間をおいた後、ウレタン舗装の施工に着手すること。
- (2) 下地処理工
- 下地アスファルトとゴムチップとの接着性を高めるため、ウレタン系プライマーを当日の施工範囲に合わせて散布する。
 - 下地がコンクリートの場合は、コンクリート表面をサンディングする。
- (3) 弾性層工（ゴムチップ層）
- 下地処理工の乾燥確認後、ゴムチップとバインダー（1液性ウレタン樹脂）を混合し、ゴムチップフィニッシャーにて厚さが均一になるよう平坦に舗設する。
- (4) 目止め工
- 弾性層の硬化確認後、2液混合型ウレタン材で目止めを行う。
- (5) 上塗り層工
- 目止めの硬化確認後プライマーを散布し、2液混合型ウレタン材（主剤＋硬化剤）をウレタンミキサーで混合し均一な厚さに敷均す。
 - 上塗り層の硬化後、水張り試験を行い平坦性の確認を行う。不陸がある場合は同一材料にて修正をすること。
- (6) エンボス層工
- 上塗り層の硬化確認後プライマーを散布し、耐久性に優れた2液混合型ウレタン材（主剤＋硬化剤）をウレタンミキサーで混合し、上塗り層の上にスキージーを使用して均一に塗布し、ローラーを使用してエンボス形状（ローラーエンボス）に仕上げる。
- なお、その表面形状は見本を提出し、事前に監督員の承認を得ること。
- (7) トップコート工
- エンボス層の硬化確認後、エンボス層とトップコートの接着性を高めるため、プライマーを当日の施工範囲に合わせ散布する。
 - プライマー散布後、つや消し効果及び耐候性をもち、夏季におけるウレタン舗装表面の温度上昇を抑制する遮熱型トップコートを均一に塗布する。
- (8) その他
- ウレタン舗装では、揮発性化学物質を使用するため、その保管および取扱には厳重なる注意を払うこと。

出来形および品質の検査基準は「舗装設計施工指針」および「屋外スポーツ施設の建設指針」に示される他、次の通りとする。

ゴムチップウレタン舗装

- アスファルト舗装の平坦性は3mプロフィールメーターにて標準偏差2mm以内とする。測定位置については、別途監督員と協議のこと。
- ウレタン舗装の各層の厚さは、弾性層、上塗り層について敷設した直後（硬化前）に、直定規により各層毎に厚さを確認する。
- ウレタン舗装の厚さ（総厚）の測定は、マイクロゲージにて行う。各測点毎の誤差は-1.5mm以内であり、その平均値はマイナスであってはならない。測点は原則として500㎡当り1点とする。ただし、同一厚さの部分が500㎡以下の場合は監督員の指示による。測定位置については、別途監督員と協議のこと。
- 弾性層完了後、下地アスファルト舗装との接着性の確認を行うこと。試験は1,000㎡当り1点とする。測定位置については別途監督員と協議のこと。
- 上塗り層施工時に、ウレタン材をサンプリングし、物性試験用のシートを作成して、「ウレタン性能規格表」の物性の項目にある試験を実施し、試験結果が規格に合致していることを確認すること。

④受注者の責任保証期間

受注者のウレタン舗装についての責任保証期間は下記の通りとし、工事完了引渡しの日から起算するものとする。

- 材質及び施工技術の不備に起因する亀裂、剥離、ふくれ、著しい退色、不陸について 5年
- 表面仕上げの摩耗について（競技運営上、支障があると判断されるまで） 4年
- レーンライン及び各競技施設のレーンマーキング（競技運営上、支障があると判断されるまで） 3年

但し、使用頻度のばげしい部分の摩耗、亀裂等についてはこの限りではなく、発注者と受注者の協議の上決定するものとする。

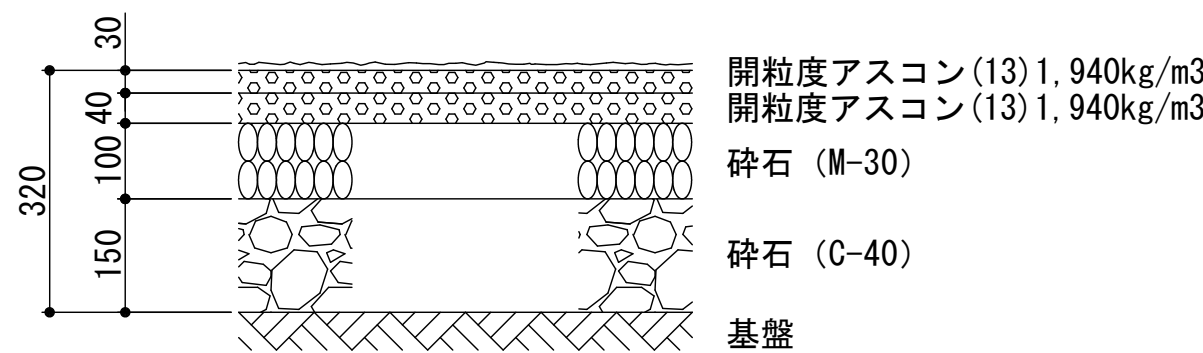
※この図面はA1サイズを原寸とする。

工 事 名	令和7年度建整ス振補経第1号 海浜公園内陸上競技場改修工事		
施工箇所名	津市末広町 地内		
図面の種類	グラウンド・コート整備構造図(2)		
縮 尺	—	図面番号	97 / 133
事業所名	津市 建設部 建設整備課		

グラウンド・コート整備構造図(3)

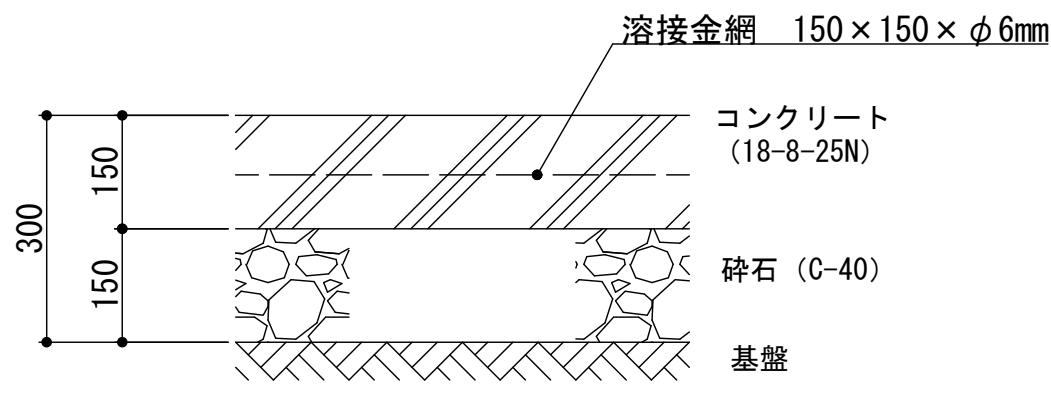
下地アスファルト舗装

S=1:10



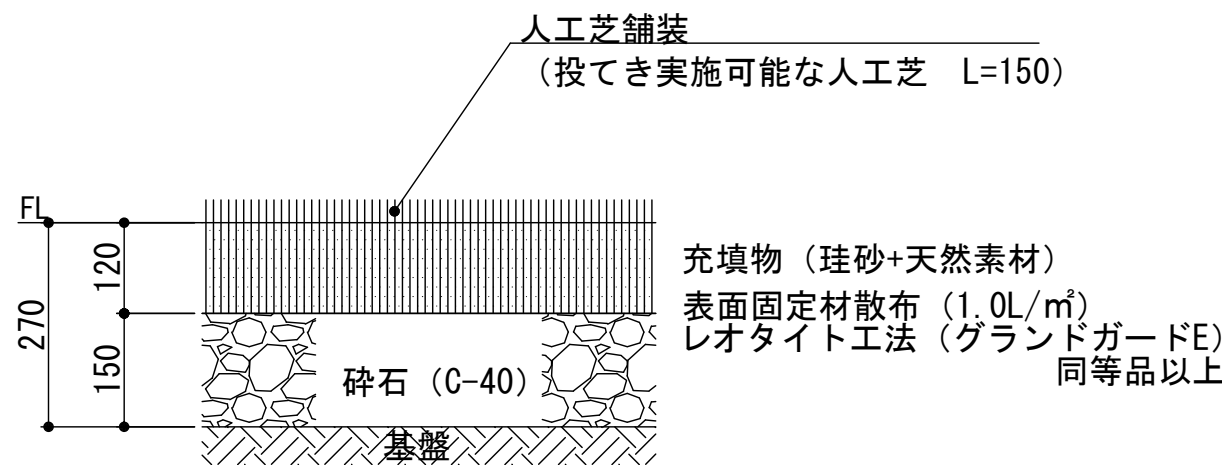
下地コンクリート舗装

S=1:10



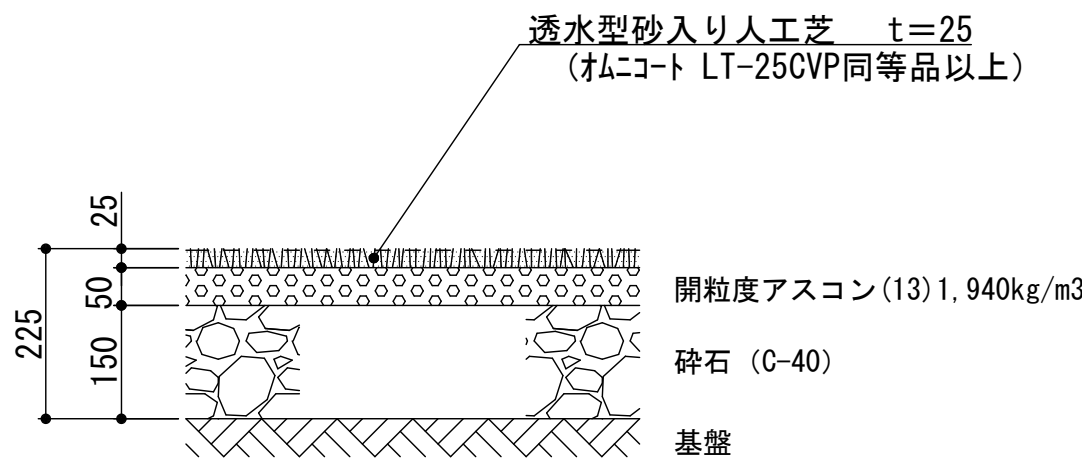
人工芝舗装

S=1:10



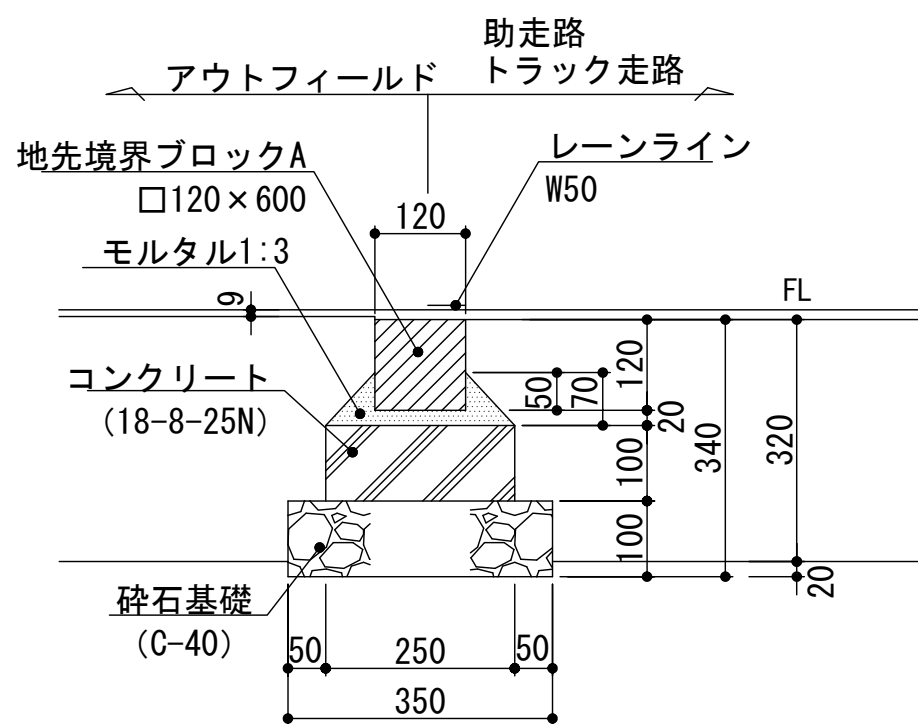
砂入り人工芝舗装

S=1:10



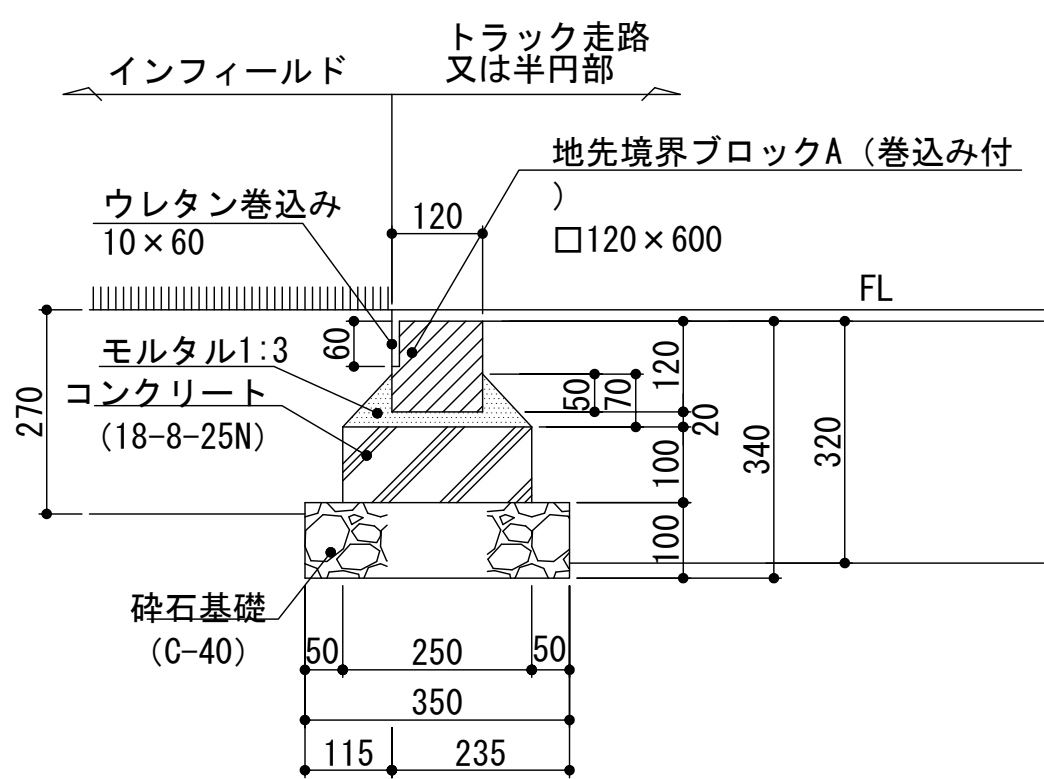
舗装止縁石-1

S=1:10

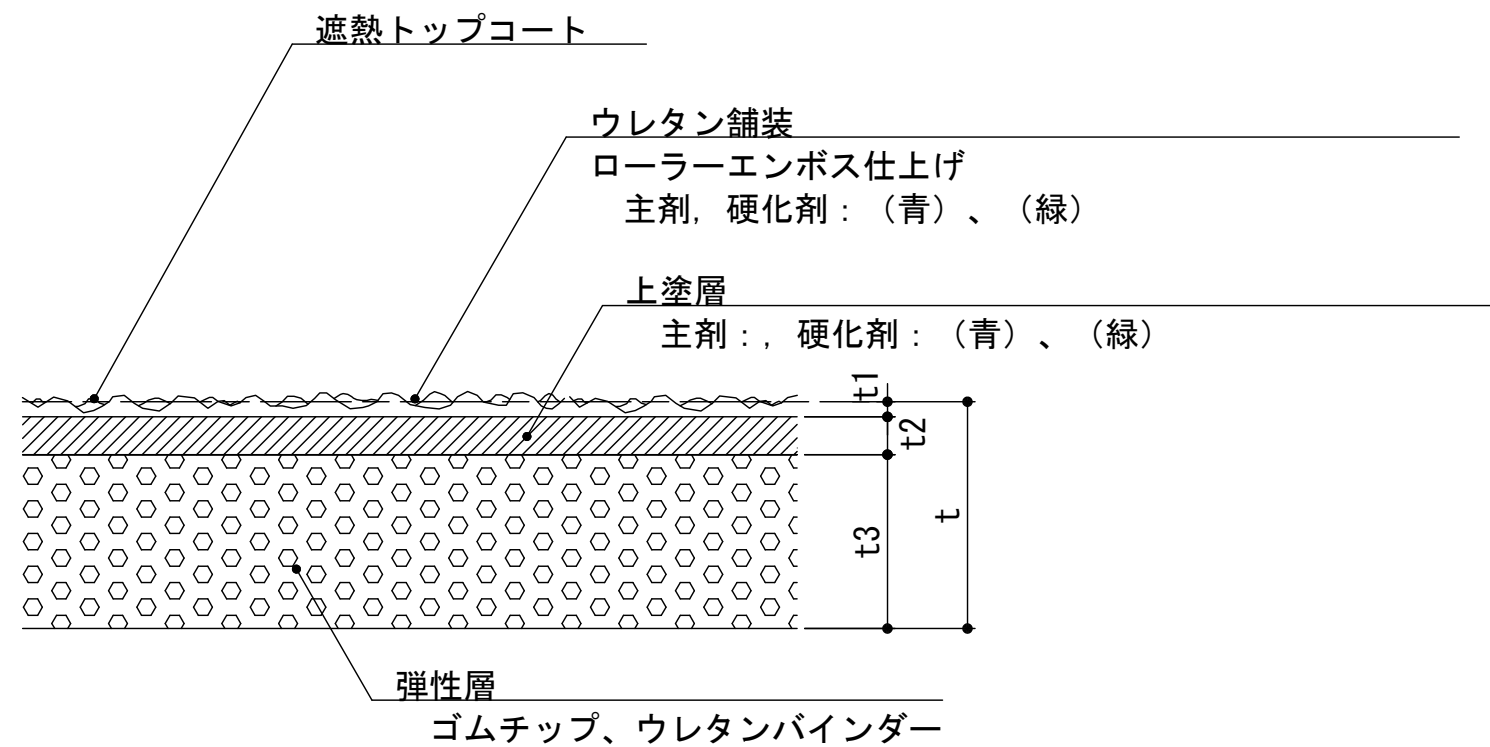


舗装止縁石-2

S=1:10



ウレタン舗装- 1 ～ 5



断面構成

	ウレタン舗装-1	ウレタン舗装-2	ウレタン舗装-3	ウレタン舗装-4	ウレタン舗装-5
ウレタン厚 (t)	9mm スムース	9mm	13mm	15mm	18mm
エンボス層 (t1)	-	1.0mm	1.0mm	1.0mm	1.0mm
上塗り層 (t2)	3.0mm	2.5mm	2.5mm	2.5mm	6.0mm
弾性層 (t3)	6.0mm	5.5mm	9.5mm	11.5mm	11.0mm

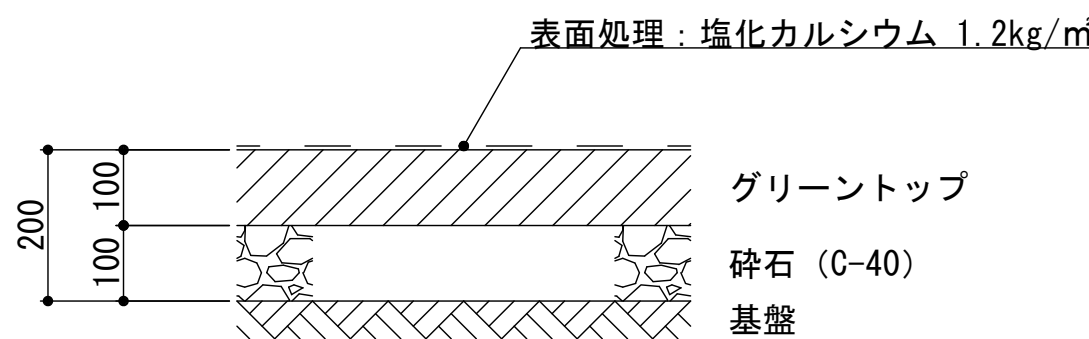
※舗装材料は、耐摩耗性に優れたウレタン舗装 (レオタンαエンボスSF Rタイプ 同等品以上) とし、表面仕上げはローラーエンボス仕上げとする。

※断面構成は、弾性層、上塗り層、エンボス層の3層構造とし、以下の仕様とする。

舗装材：エンボス層：主剤・硬化剤 (青)、 (緑)
上塗り層：主剤・硬化剤 (青)、 (緑)
弾性層：ゴムチップ、ウレタンバインダー
表面仕上げ：ローラーエンボス仕上げ
トップコート：遮熱トップコート
色：青、緑

砲丸投落下域舗装

S=1:10



※この図面はA 1サイズを原寸とする。

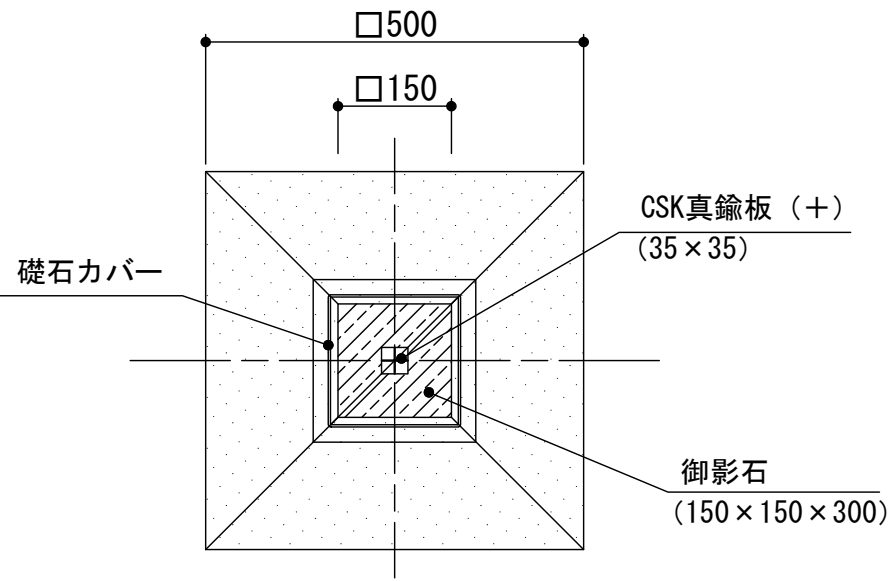
工 事 名	令和7年度建整ス振補継第1号 海浜公園内陸上競技場改修工事
施工箇所名	津市末広町 地内
図面の種類	グラウンド・コート整備構造図(3)
縮 尺	図 示 図面番号 98 133
事業所名	津市 建設部 建設整備課

グラウンド・コート整備構造図(4)

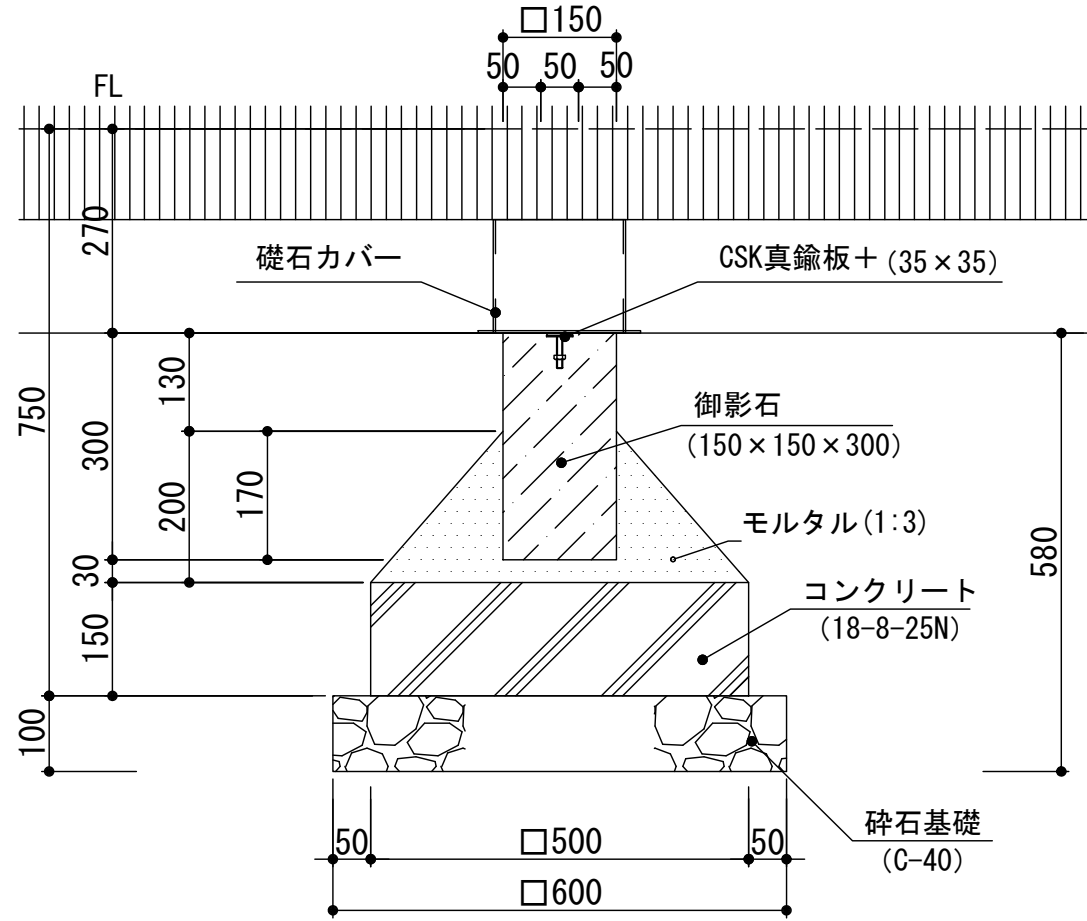
礎石・中心石

内圏縁石

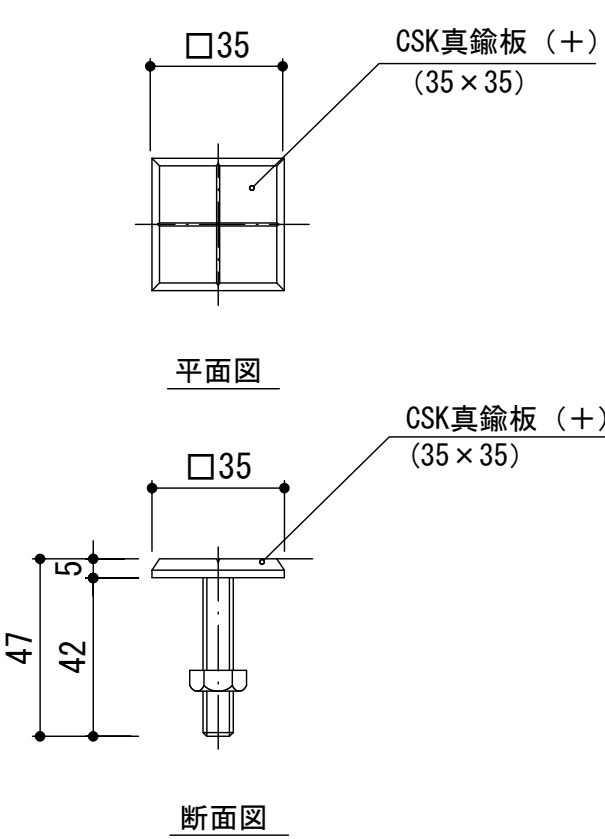
礎石・中心石 平面図
S=1:10



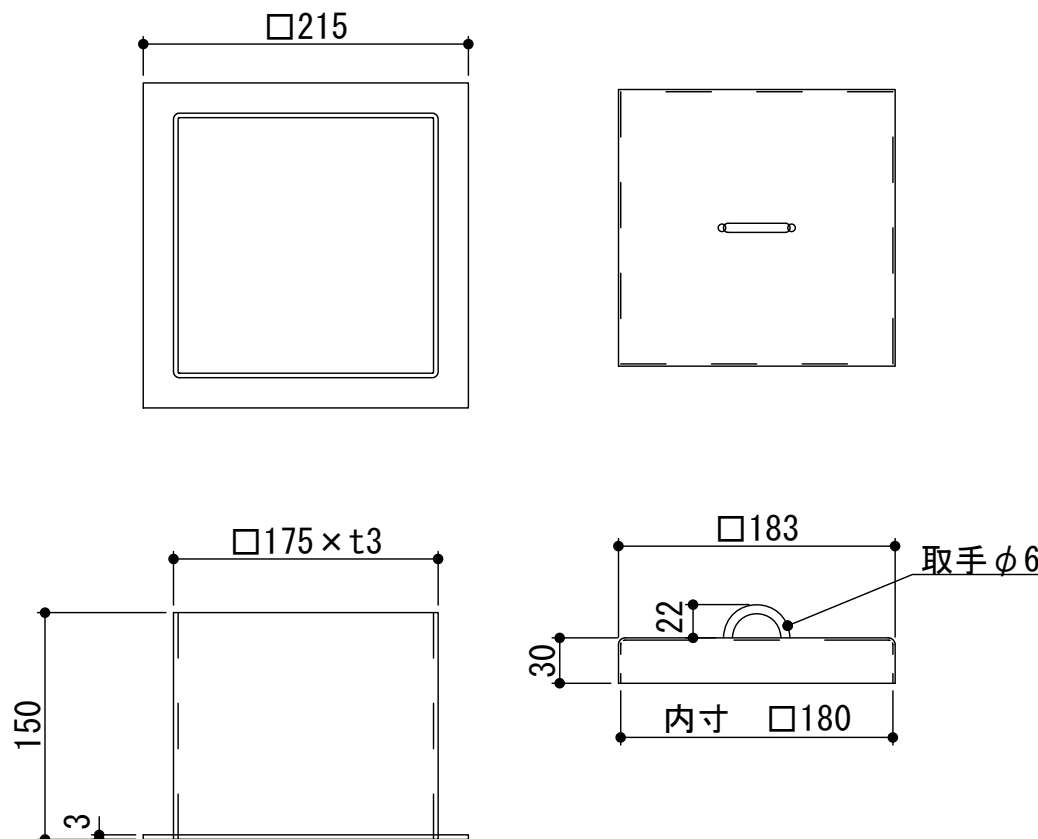
礎石・中心石 側面図
S=1:10



真鍮板 (+) 詳細図 S=1:2

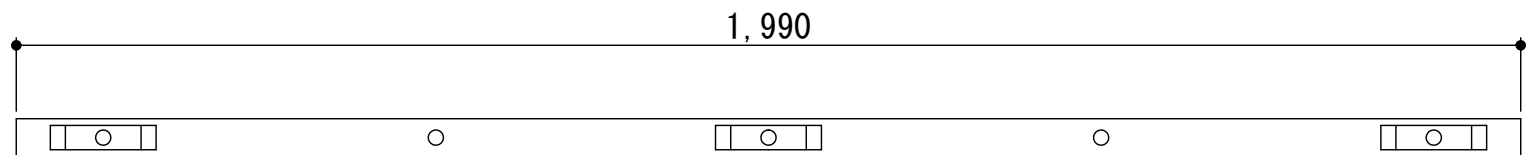


礎石カバー詳細図 S=1:5
SUS304

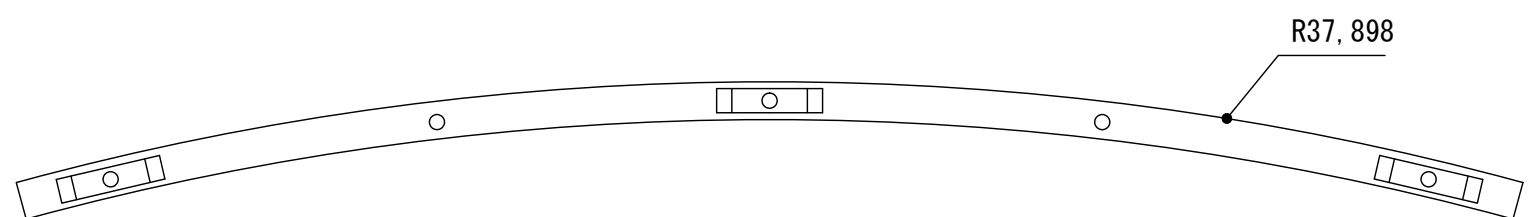


※日本陸連検定時などの距離計測に対応できるよう
礎石・中心石上部の人工芝を加工しておくこと。

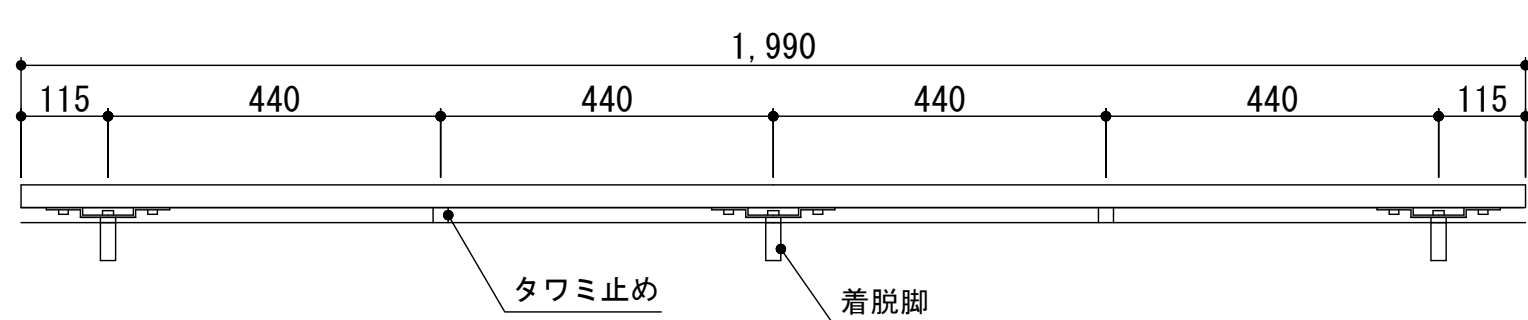
内圏縁石－１平面図 S=1:10
(直線部)



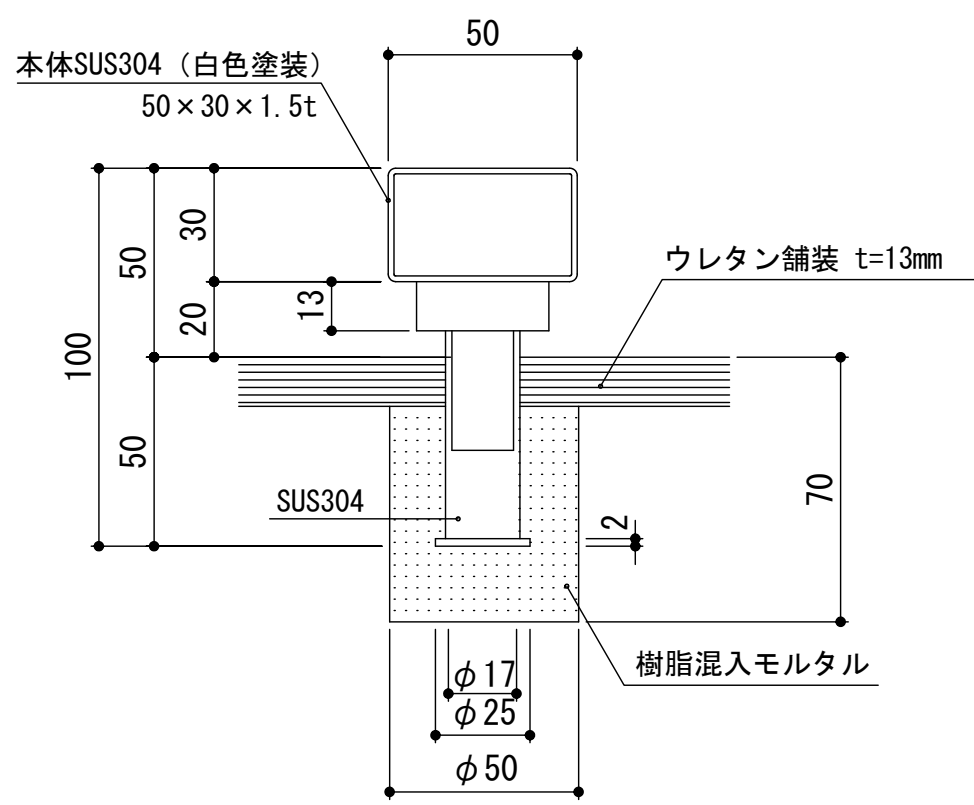
内圏縁石－２平面図 S=1:10
(曲線部)



直線・曲線部縁石側面図 S=1:10

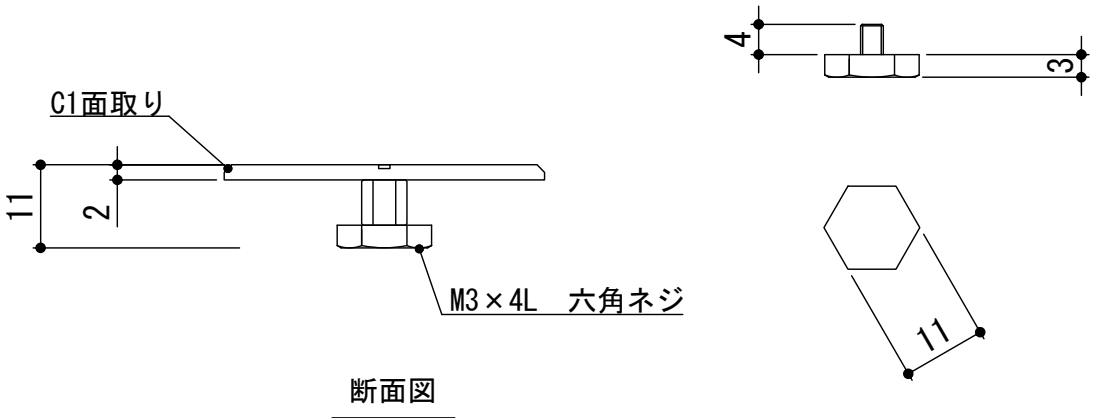
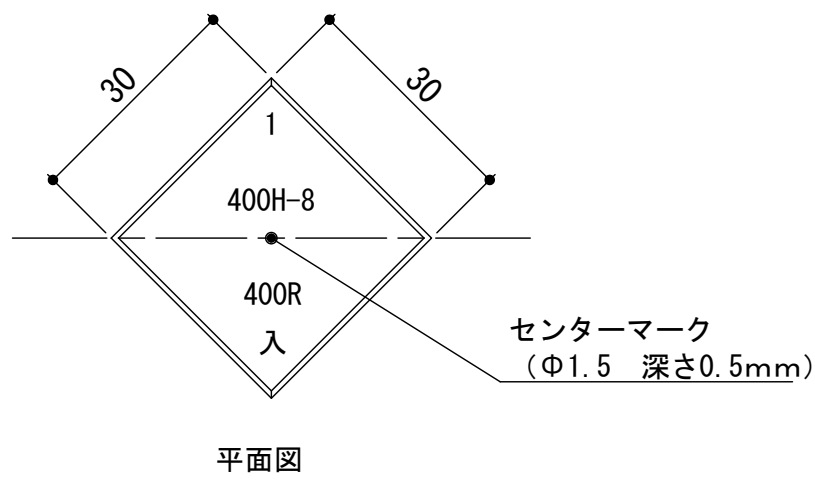


脱着式縁石詳細図 S=1:2



標識タイル

S=1:1

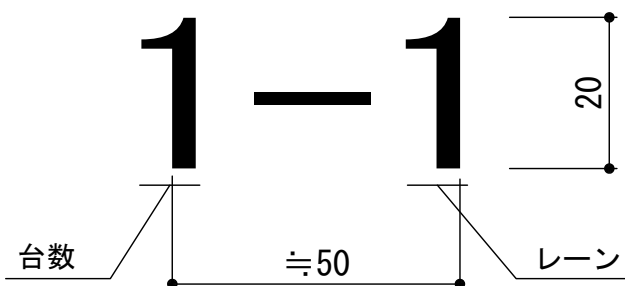


※1レーン内側と8または9レーン外側に
タイルを設置する。
材質：標識タイル（ステンレス製）
アンカー鉄製メッキ品

300mH標識

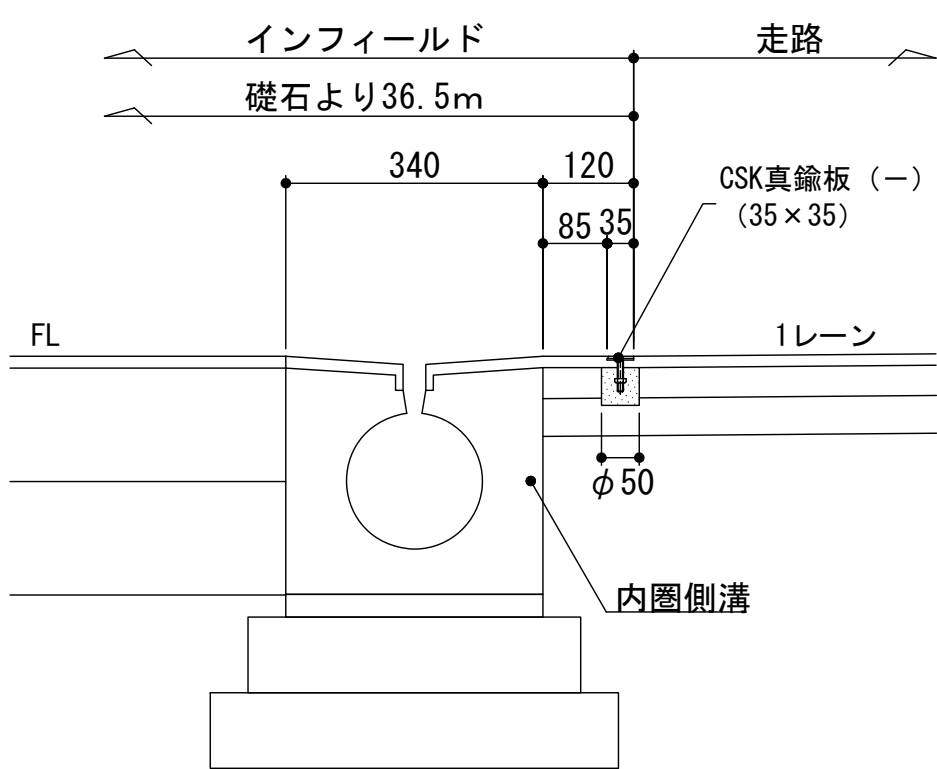
S=1:1

レーンライン

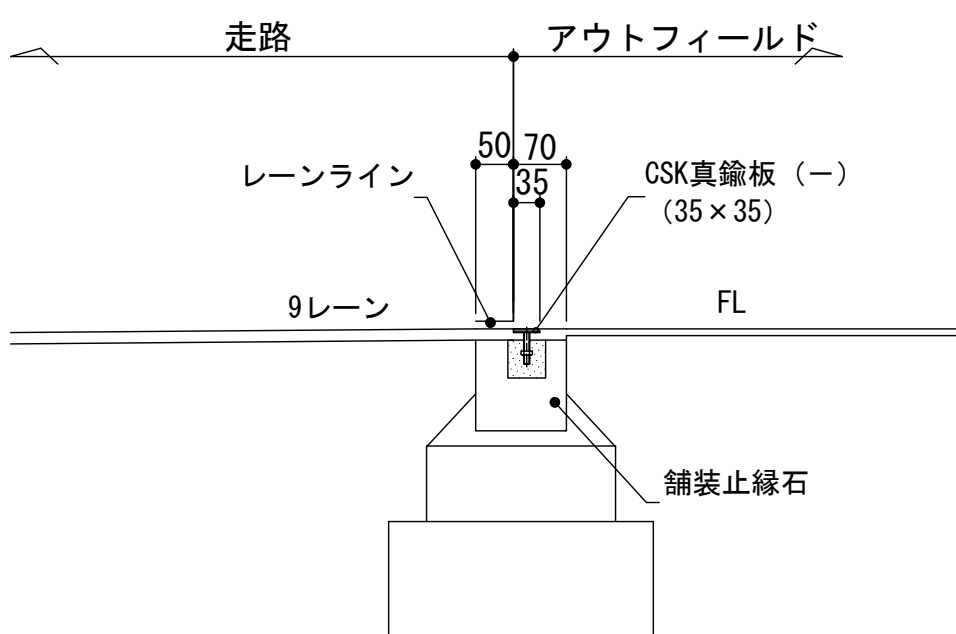


角石・標石

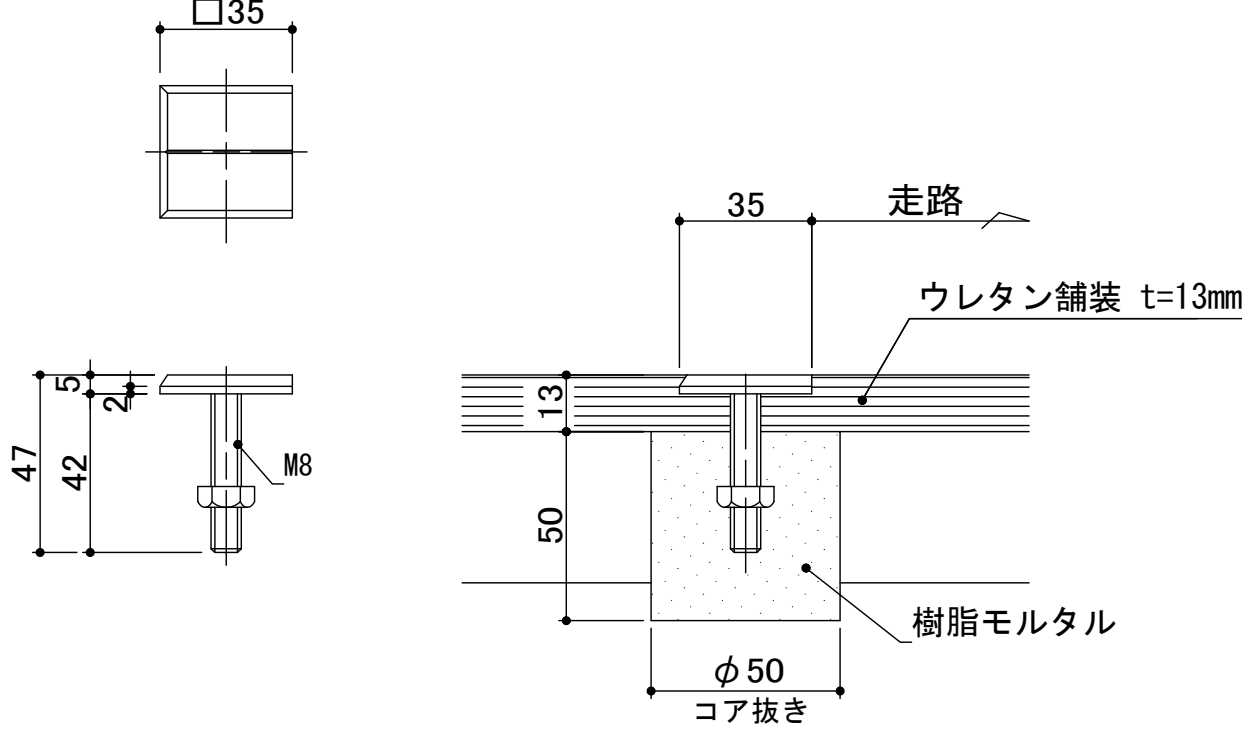
内圏側詳細図 S=1:10



外圏側詳細図 S=1:10



角石・標石 詳細図 S=1:2



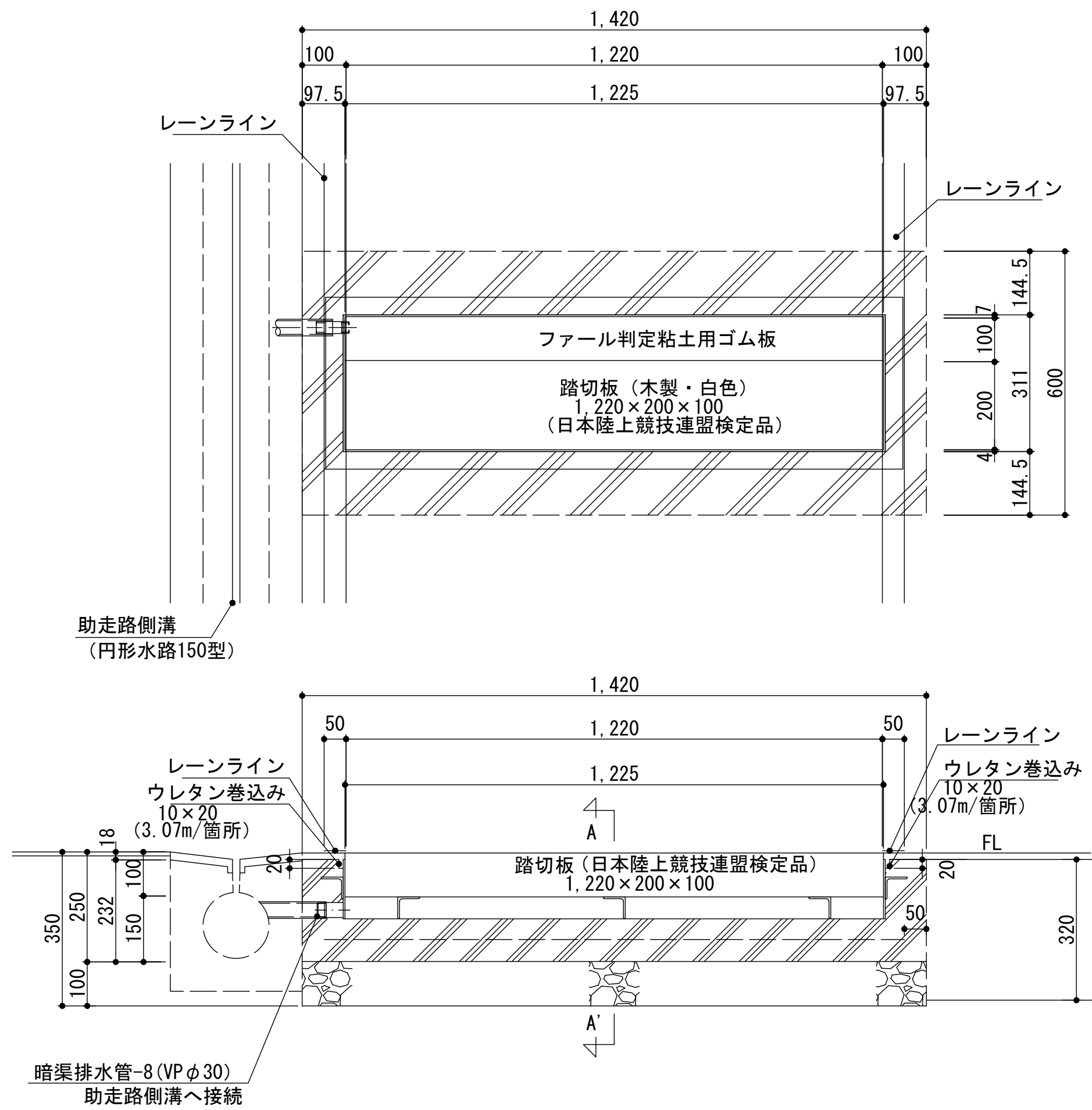
※この図面はA 1サイズを原寸とする。

工 事 名	令和7年度建整ス振補継第1号 海浜公園内陸上競技場改修工事		
施工箇所名	津市末広町 地内		
図面の種類	グラウンド・コート整備構造図(4)		
縮 尺	図 示	図面番号	99 / 133
事業所名	津市 建設部 建設整備課		

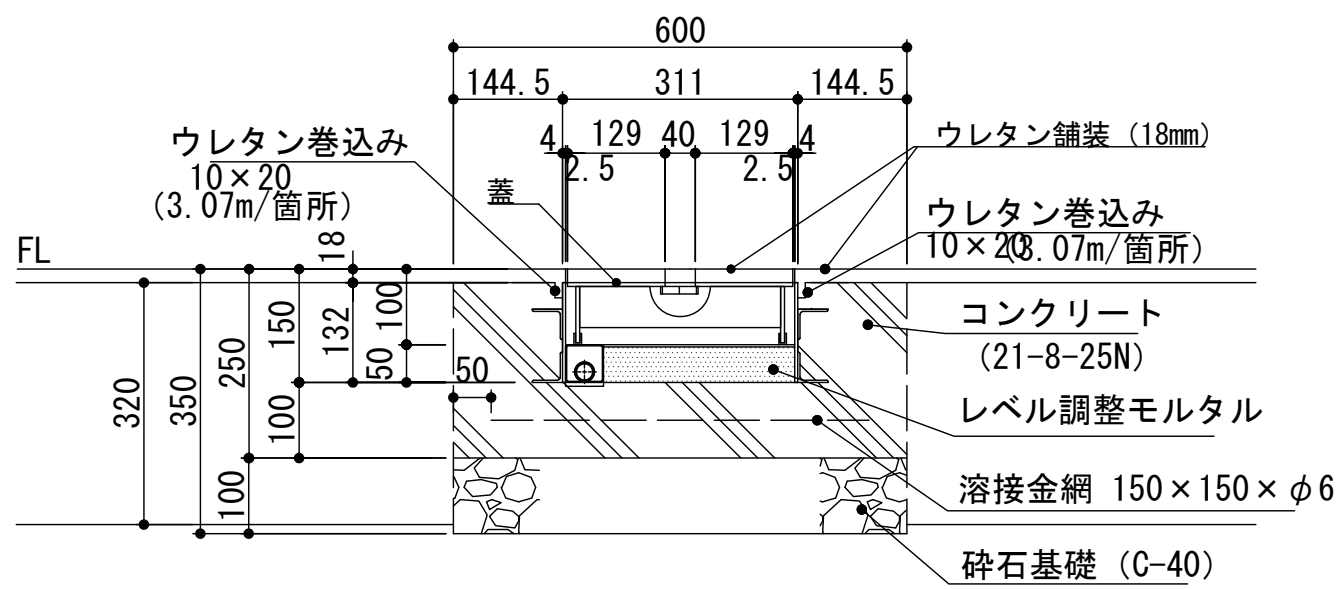
グラウンド・コート整備構造図(5)

踏切板

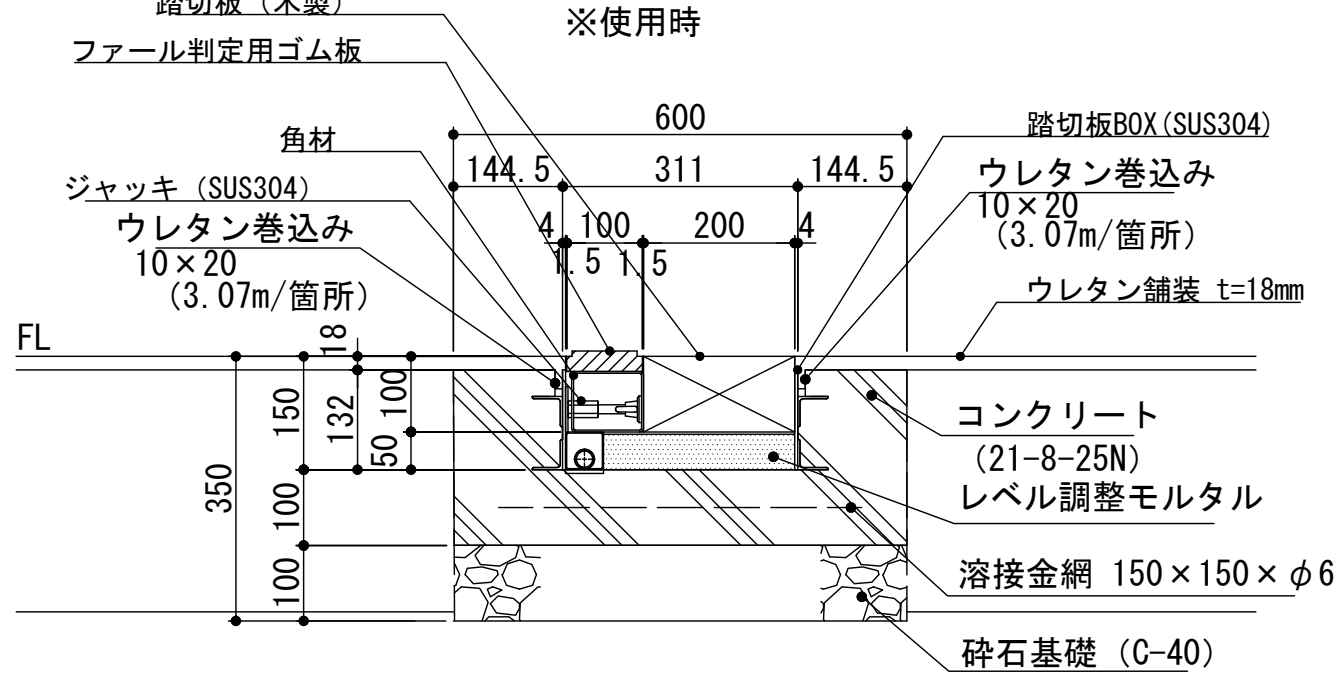
S=1:10



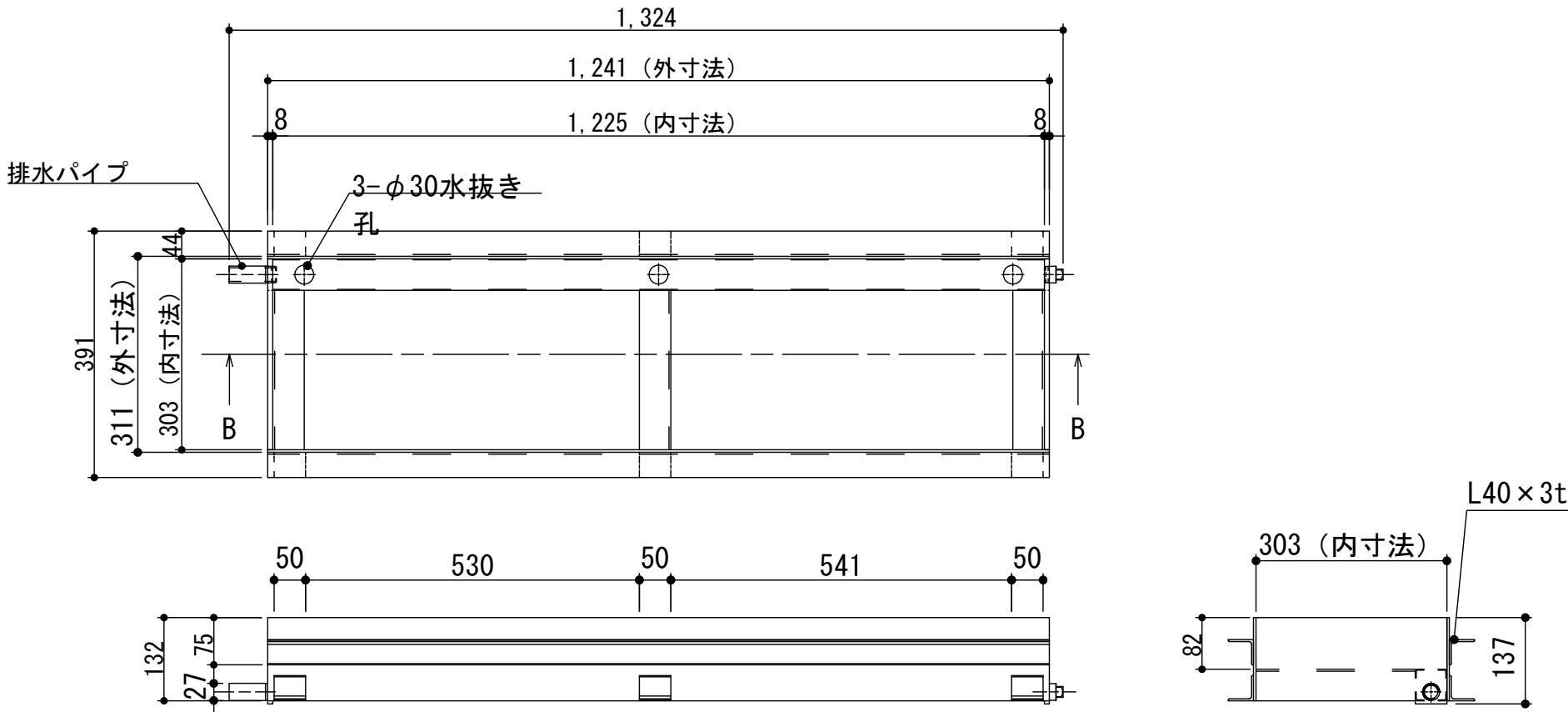
A-A' 断面図



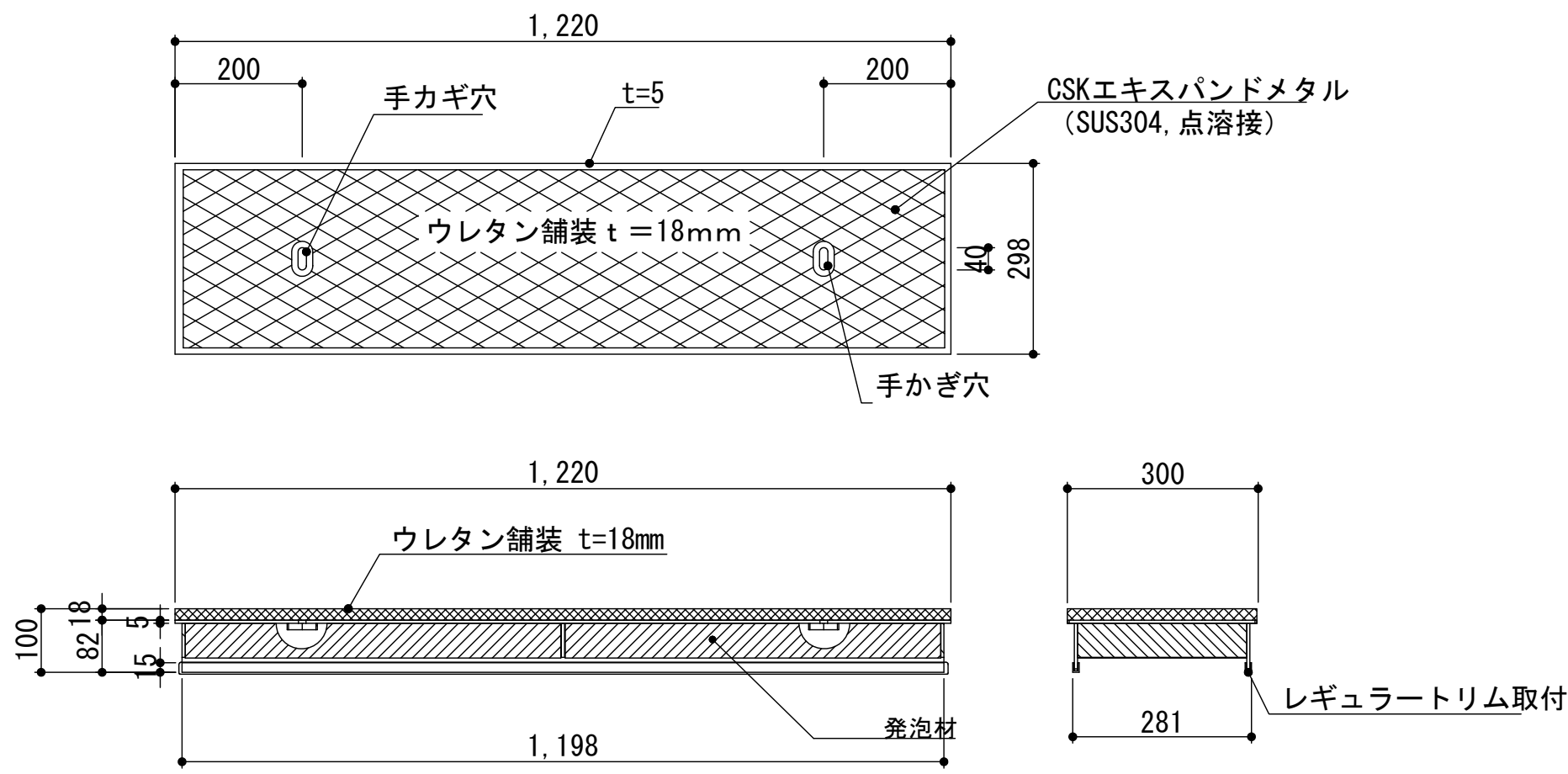
A-A' 断面図
※使用時



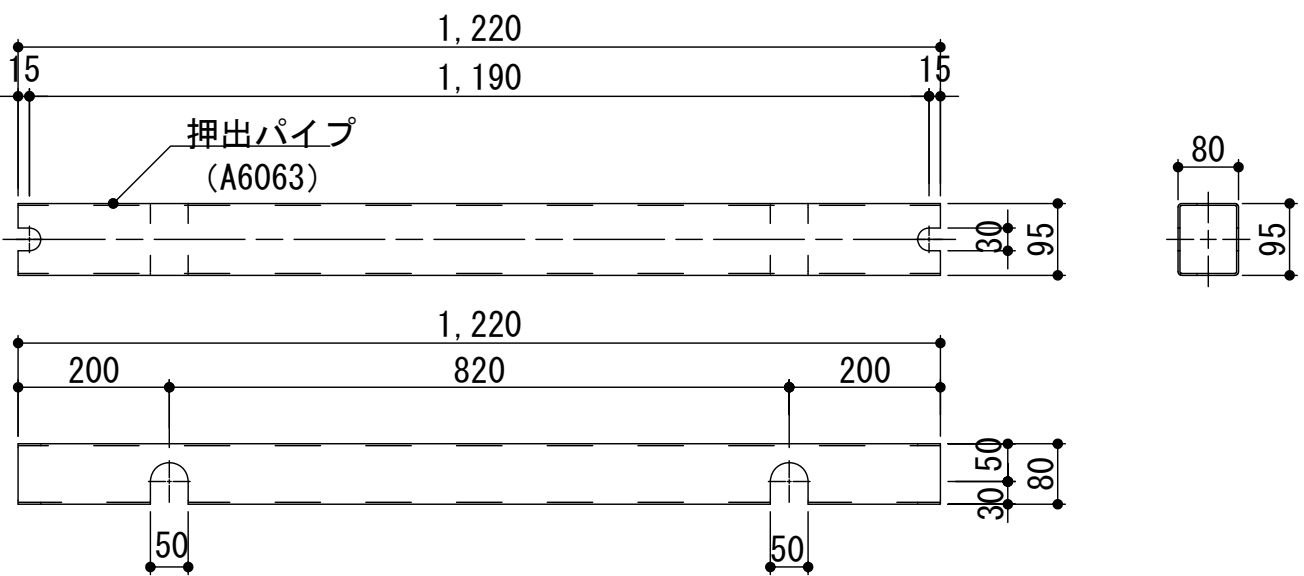
踏切板BOX詳細図
※SUS304



踏切板蓋詳細図
※SUS304

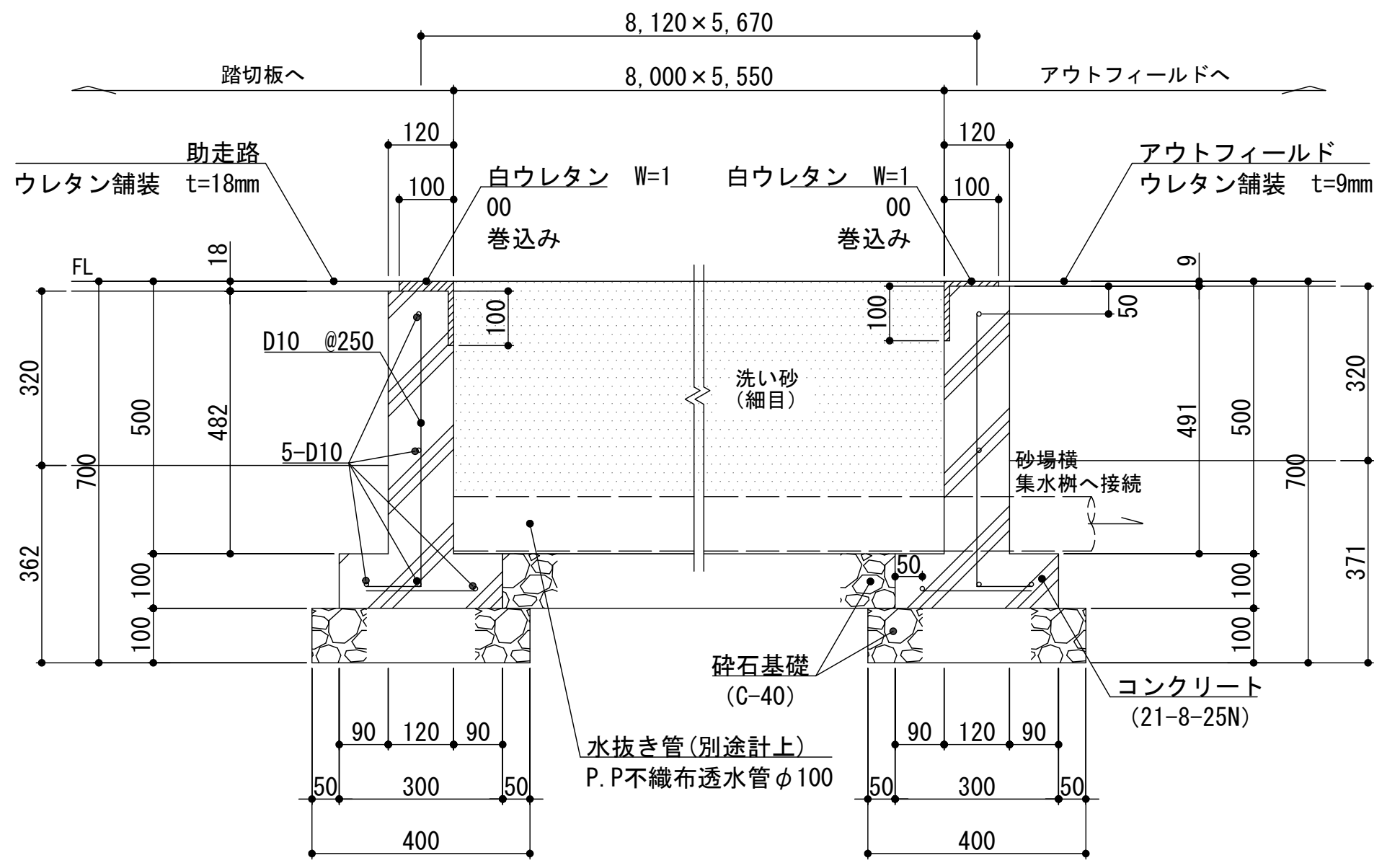


角材詳細図
※アルミ製



砂場

S=1:10



※この図面はA 1サイズを原寸とする。

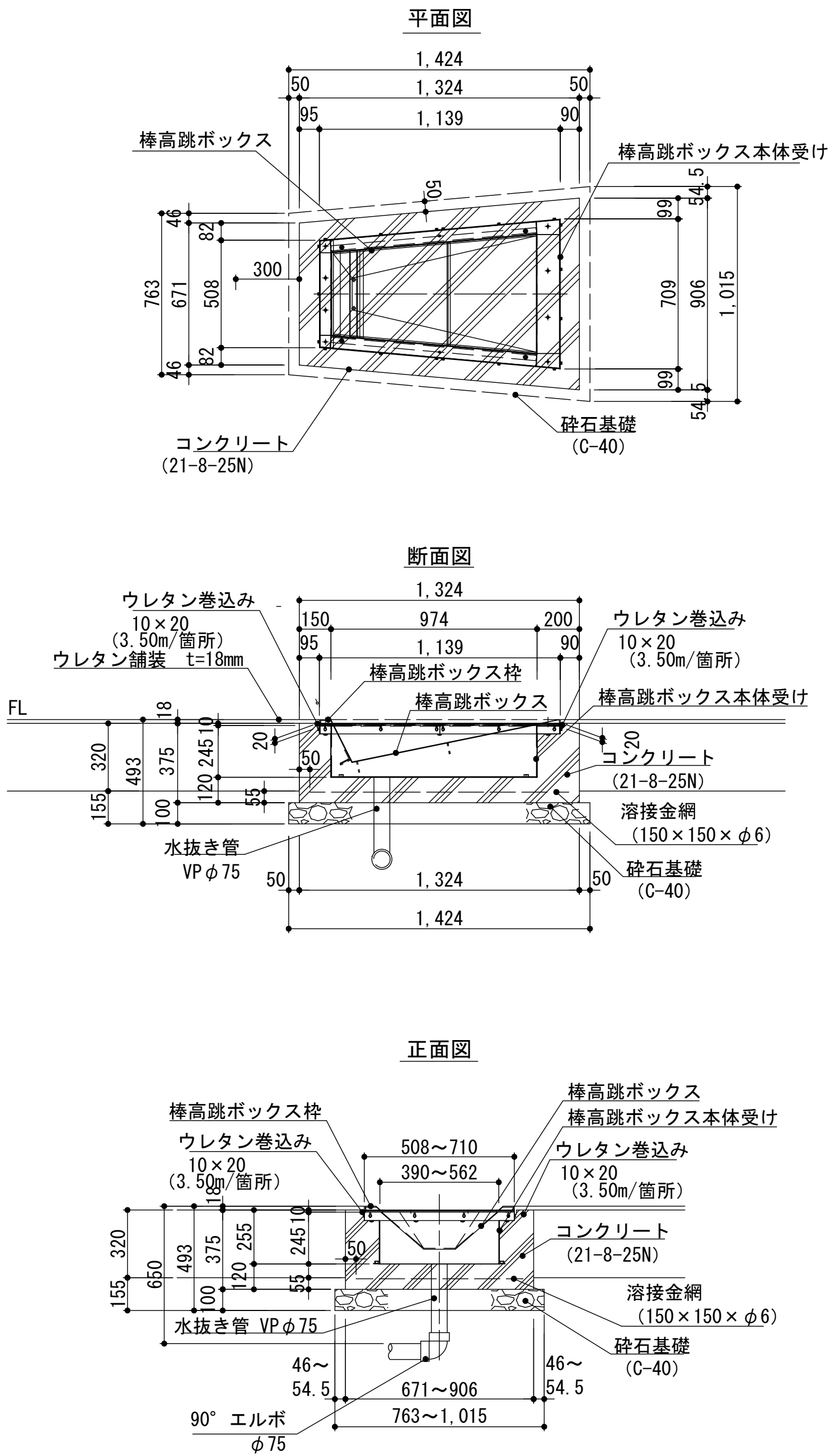
工 事 名	令和7年度建整ス振補継第1号 海浜公園内陸上競技場改修工事		
施工箇所名	津市末広町 地内		
図面の種類	グラウンド・コート整備構造図(5)		
縮 尺	S=1:10	図面番号	100 133
事業所名	津市 建設部 建設整備課		

グラウンド・コート整備構造図(6)

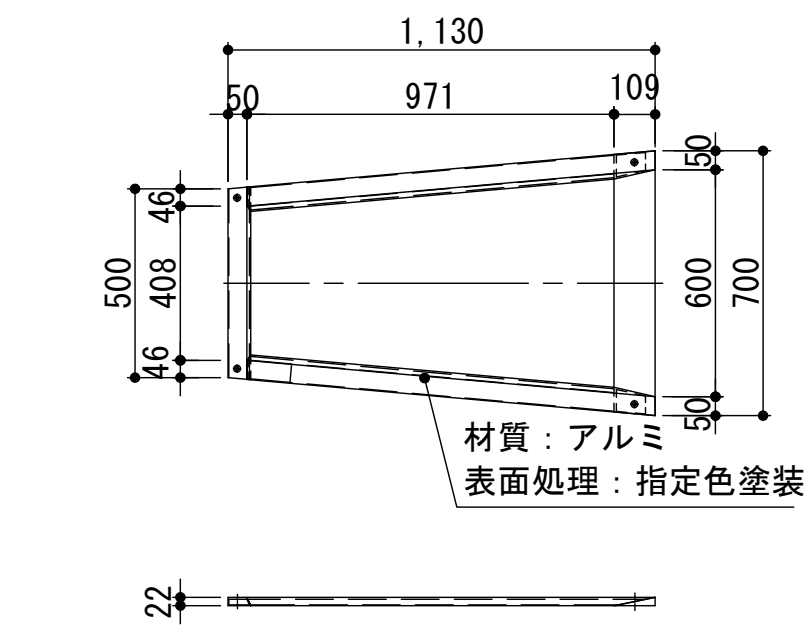
棒高跳ボックス

棒高跳用ボックス基礎詳細図 S=1:20

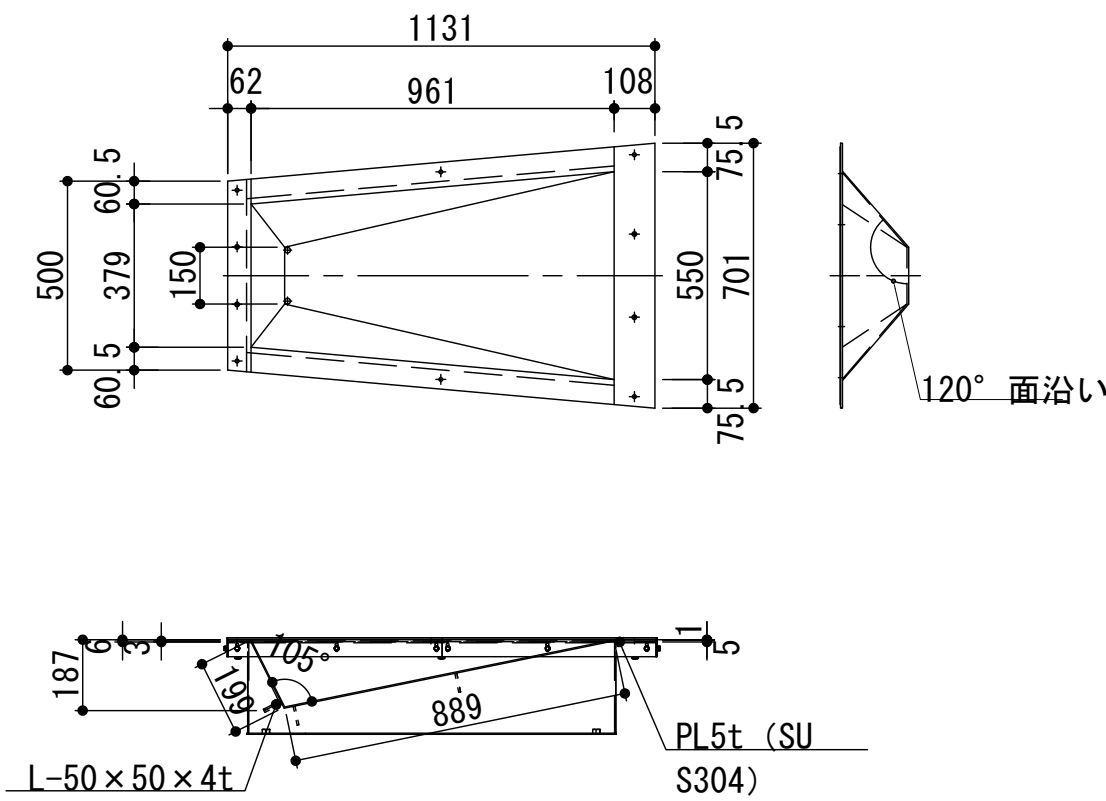
※ ボックスは日本陸上競技連盟検定品 (SUS)
※ ボックス蓋 (SUS) 共



棒高跳ボックス柵パイプ詳細図 S=1:20

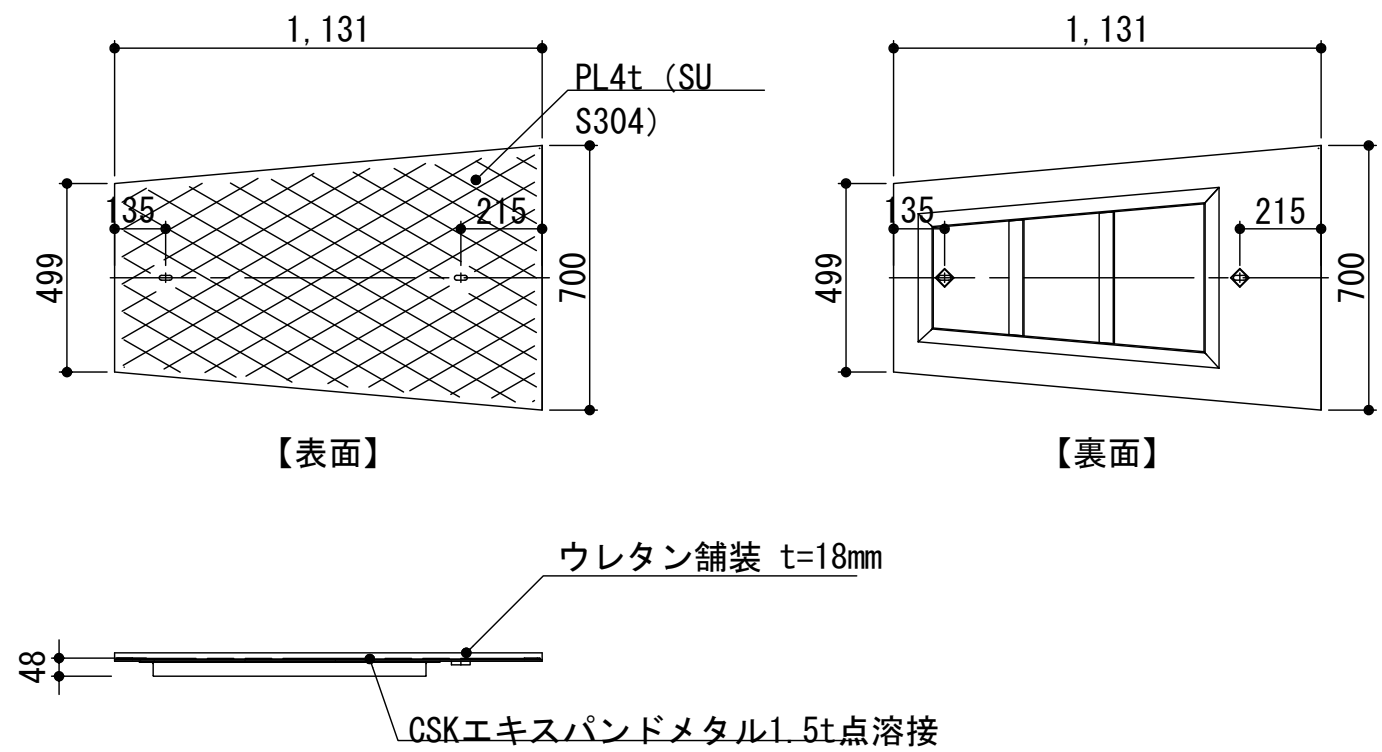


棒高跳ボックス本体詳細図 S=1:20

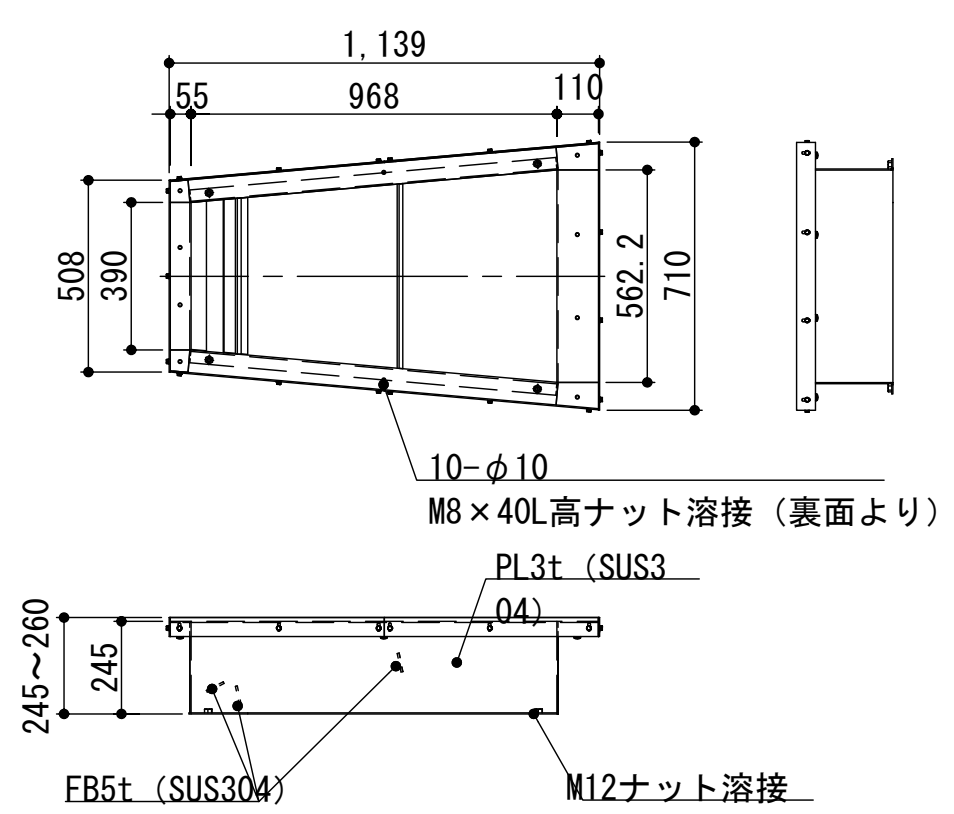


<仕様>
重量約87.0kg
材質ステンレス
備考WA承認品 JAAF検定品
蓋付き 手カギ付き アルミ合金製柵付き
ドライバー付き 全天候用 二重底

棒高跳ボックス蓋詳細図 S=1:20



棒高跳ボックス本体受け詳細図 S=1:20



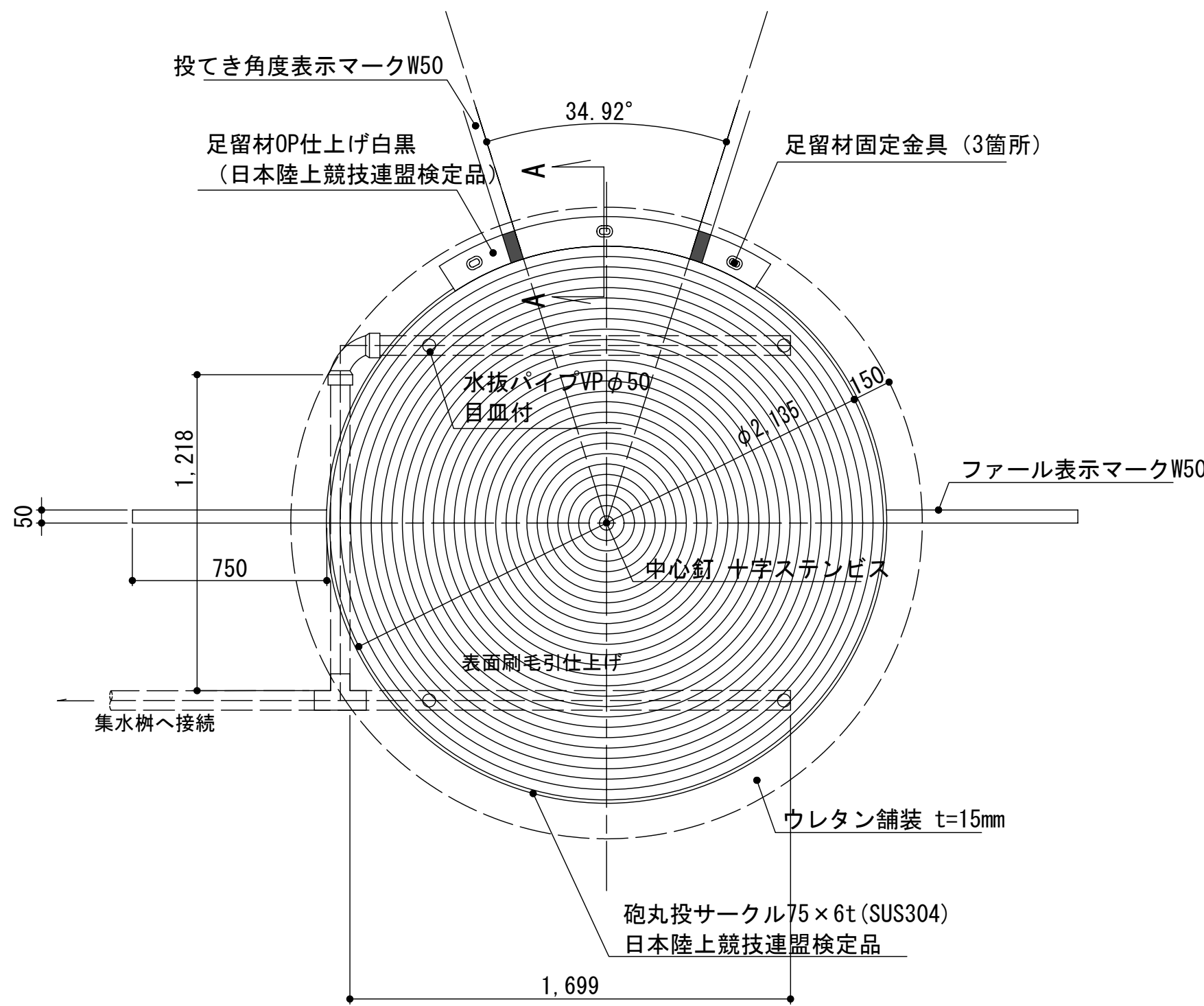
※この図面はA 1サイズを原寸とする。

工 事 名	令和7年度建整ス振補継第1号 海浜公園内陸上競技場改修工事		
施工箇所名	津市末広町 地内		
図面の種類	グラウンド・コート整備構造図(6)		
縮 尺	S=1:20	図面番号	101 / 133
事業所名	津市 建設部 建設整備課		

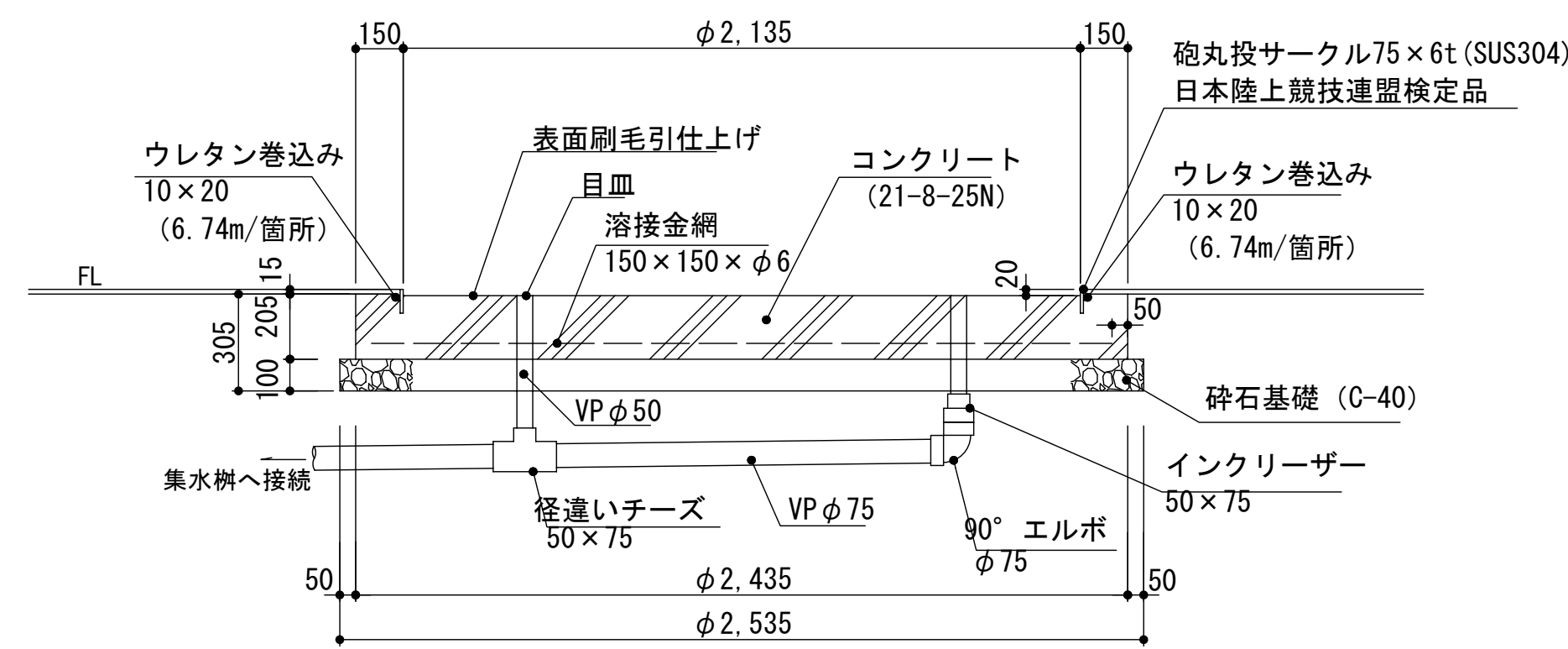
グラウンド・コート整備構造図(7)

砲丸投サークル

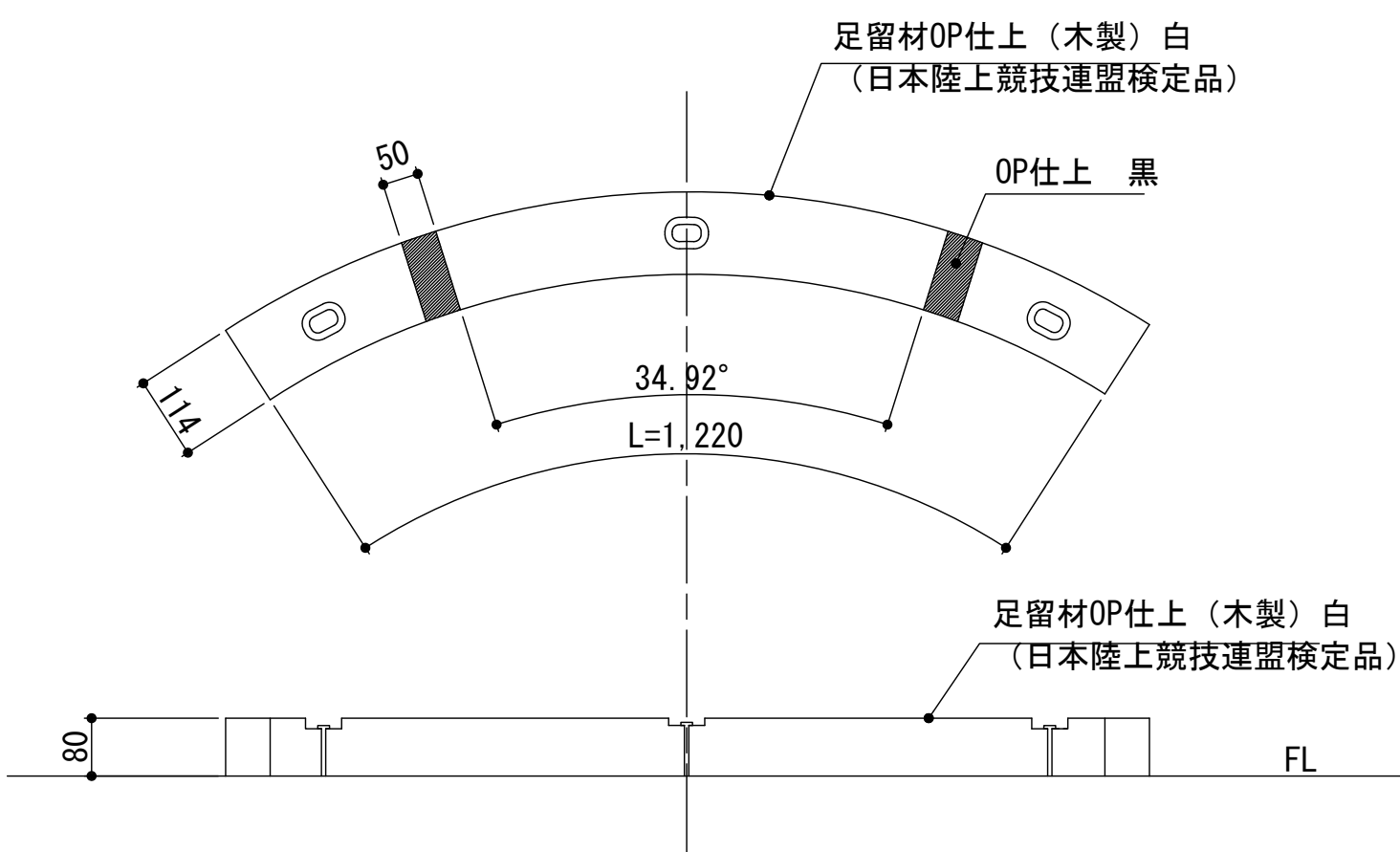
平面図 S=1:20



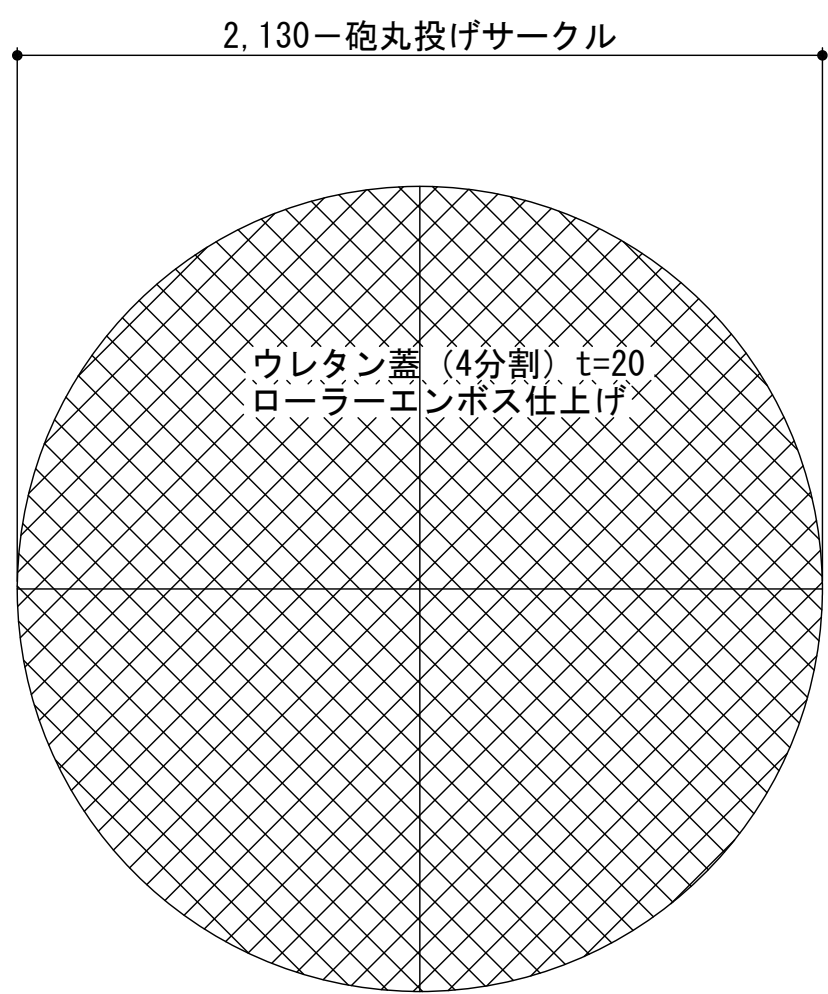
断面図 S=1:20



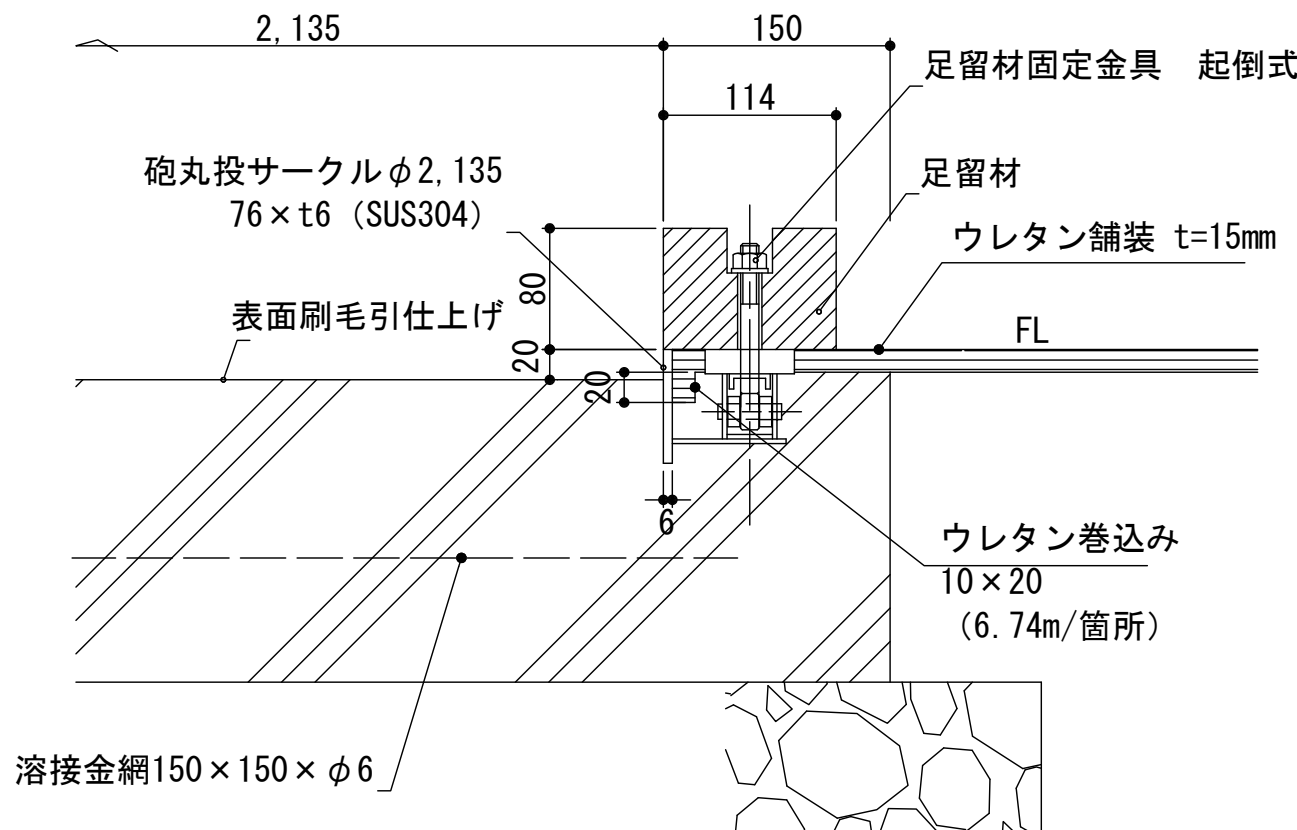
足留材平面・正面図 S=1:10



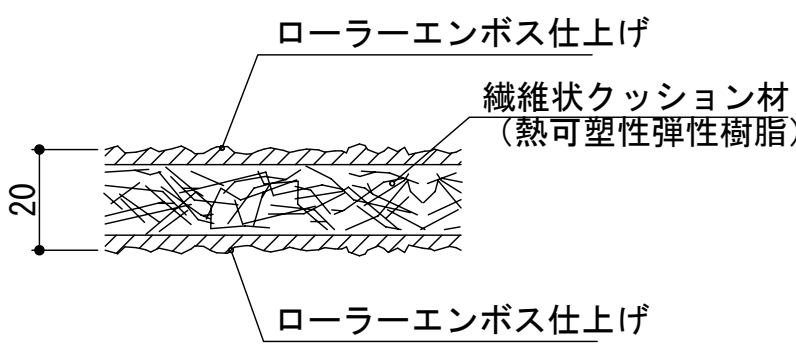
ウレタン蓋詳細図 S=1:20



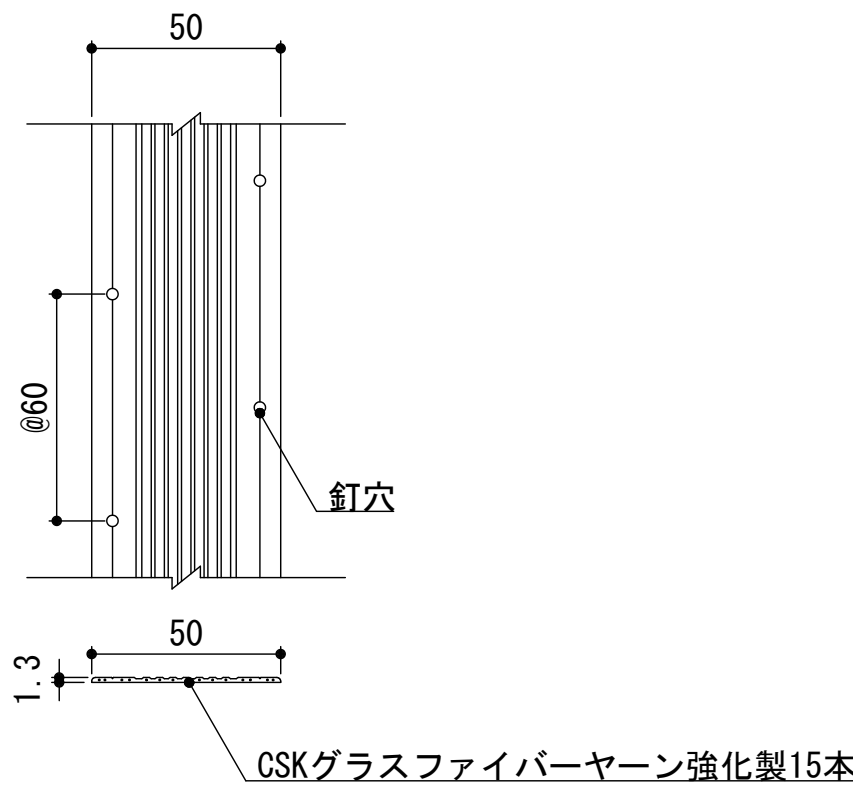
A-A 断面図 S=1:5



ウレタン蓋断面図 S=1:1.5



落下域ライン詳細図 S=1:2



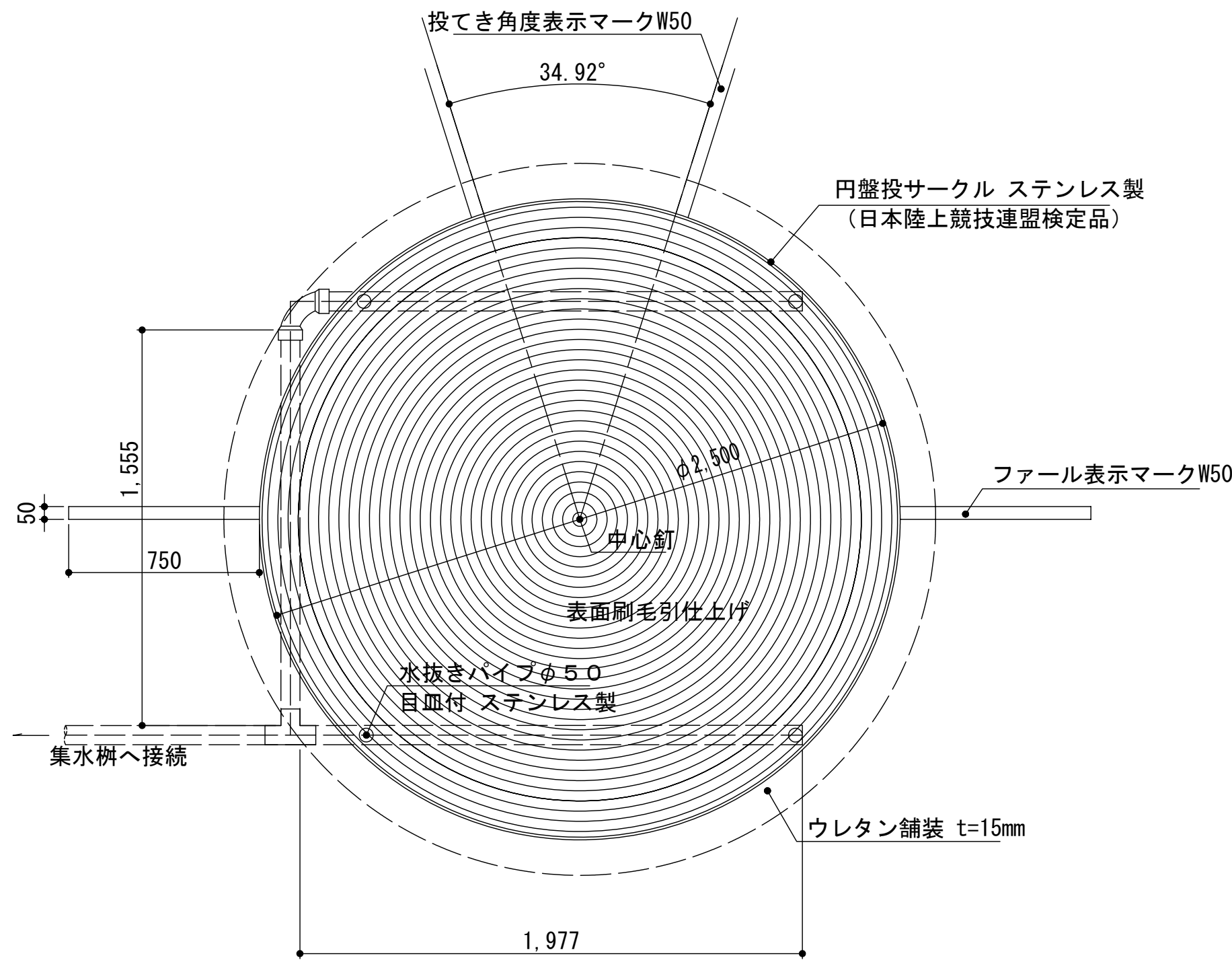
※この図面はA 1サイズを原寸とする。

工 事 名	令和7年度建整ス振補継第1号 海浜公園内陸上競技場改修工事		
施工箇所名	津市末広町 地内		
図面の種類	グラウンド・コート整備構造図(7)		
縮 尺	図 示	図面番号	102 / 133
事業所名	津市 建設部 建設整備課		

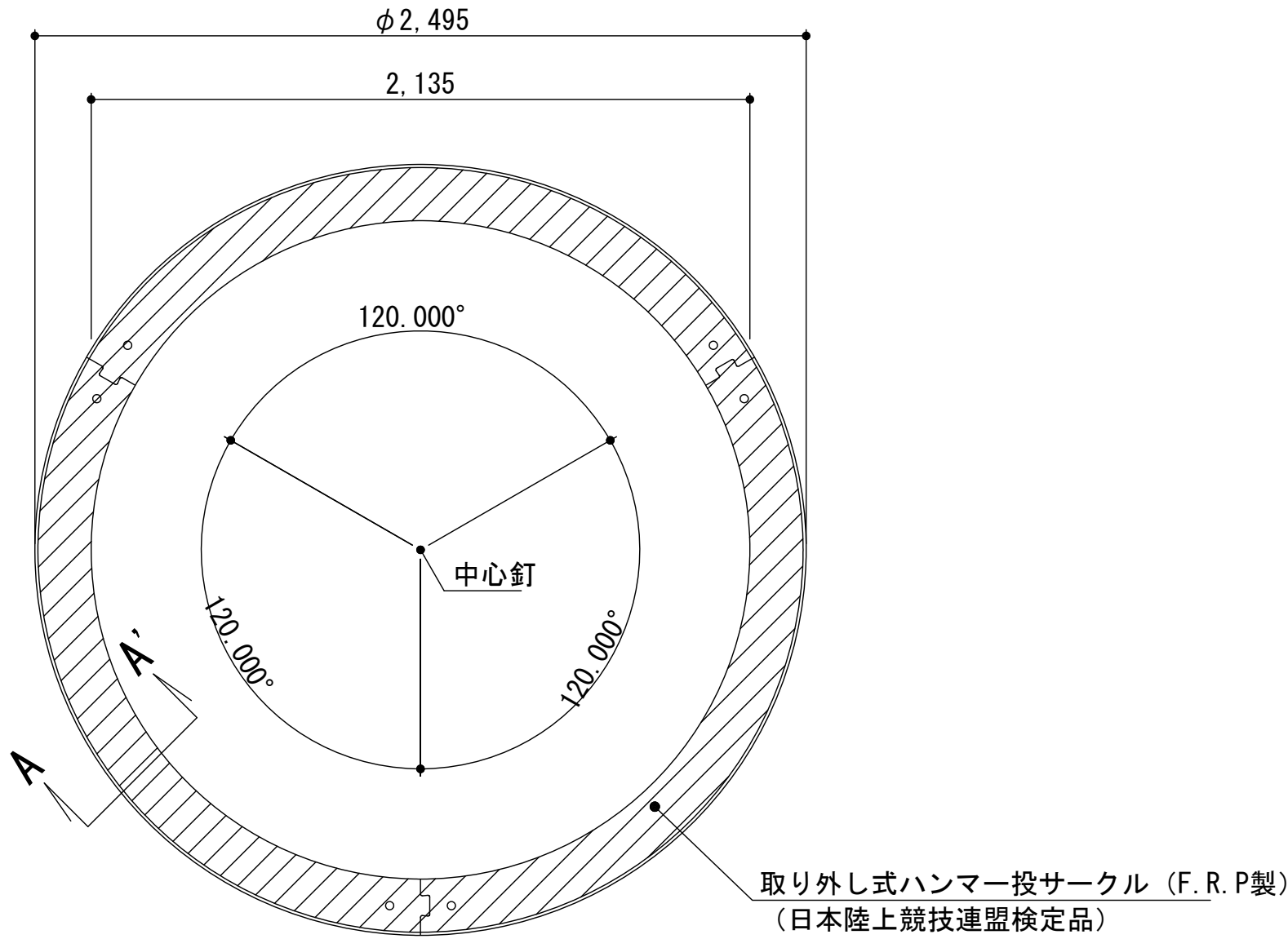
グラウンド・コート整備構造図(8)

円盤投・ハンマー投兼用サークル

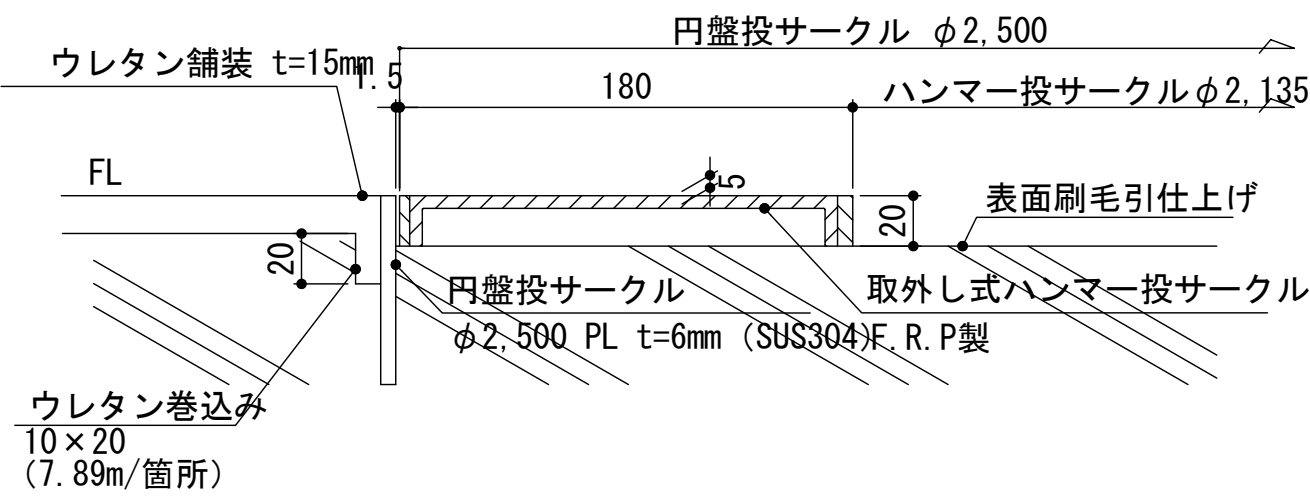
平面図 S=1:20



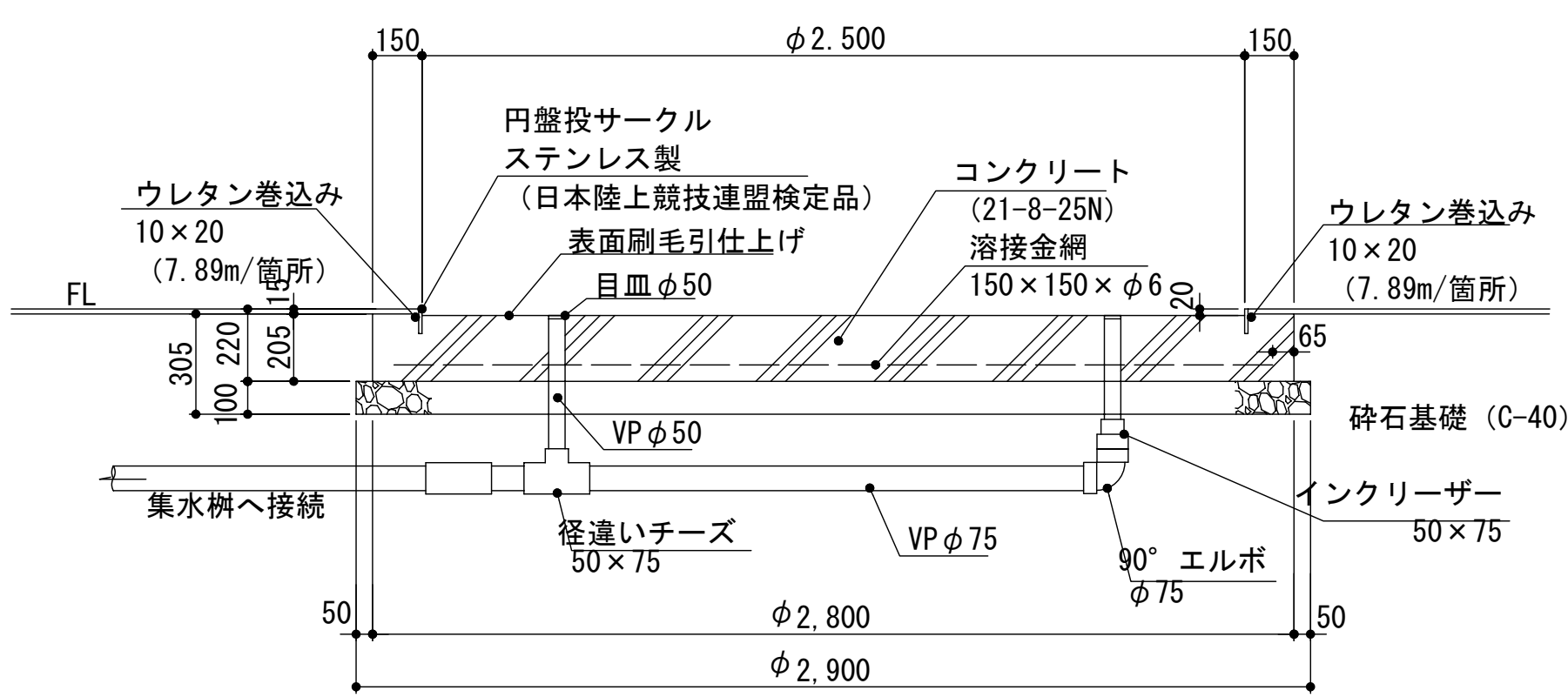
取り外し式サークル平面図 S=1:20



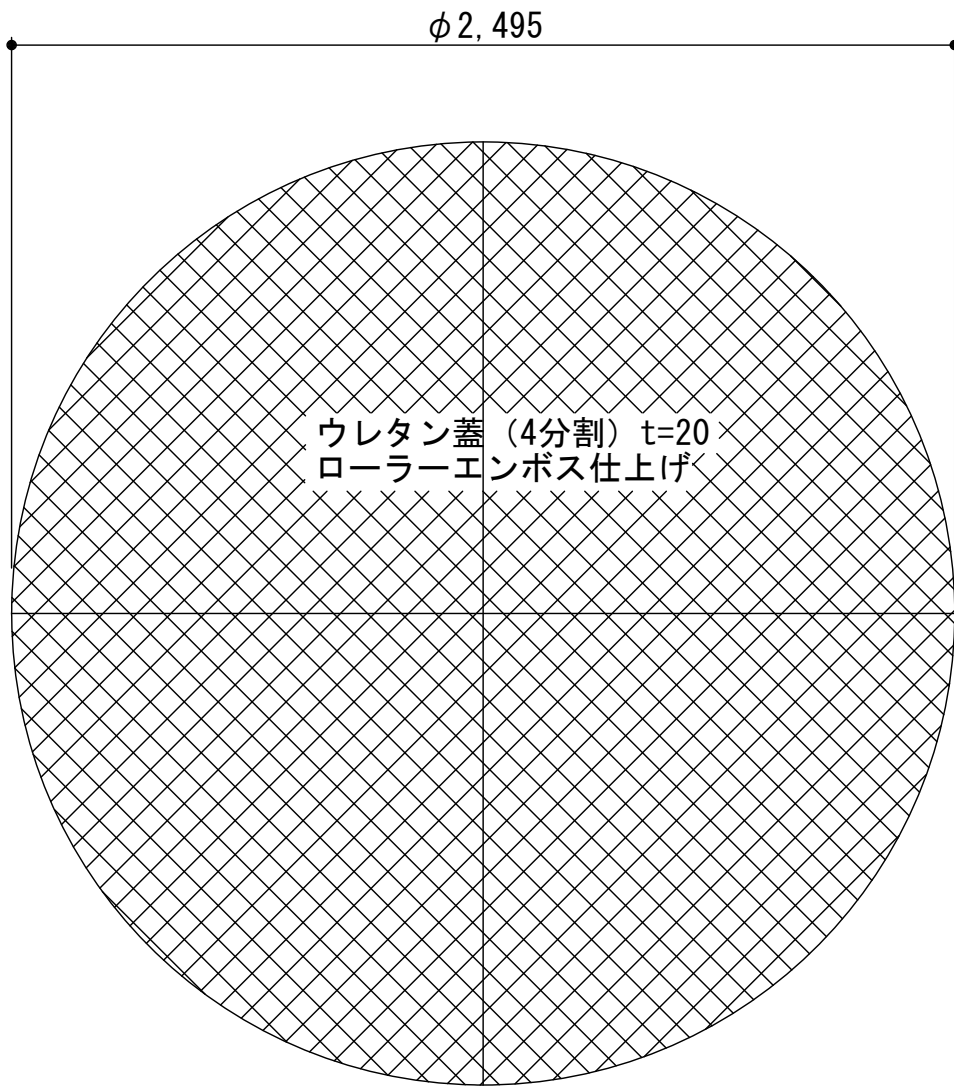
A-A' 断面図 S=1:3



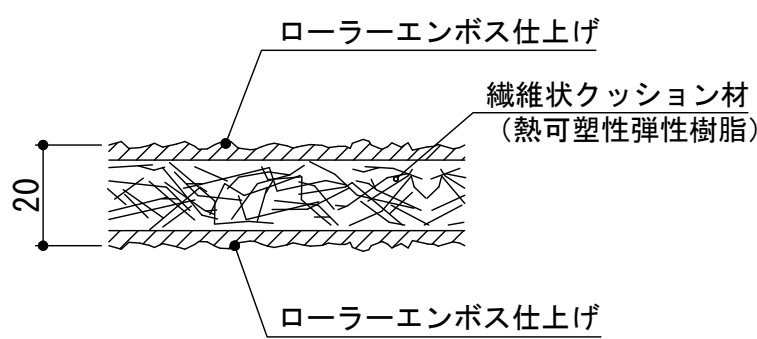
断面図 S=1:20



ウレタン蓋詳細図 S=1:20



ウレタン蓋断面図 S=1:1.5



※この図面はA 1サイズを原寸とする。

工 事 名	令和7年度建整ス振補継第1号 海浜公園内陸上競技場改修工事		
施工箇所名	津市末広町 地内		
図面の種類	グラウンド・コート整備構造図(8)		
縮 尺	図 示	図面番号	103 / 133
事業所名	津市 建設部 建設整備課		

グラウンド・コート整備構造図(9)

全天候舗装用レーンマーキング色分け標準表（日本陸連）

項 目	色分
1. トラック各レーン 100m、110mHスタート付近の破線	白
2. 100m、200m、300m、400m、1,500m、110mH の各スタートラインとフィニッシュライン	白
3. 3,000mSCのスタートライン	白
4. 800mのスタートライン	青
5. 800mのブレイクライン（B点：2レーンから8レーンまで）	緑
6. 3,000m、5,000m、10,000mのスタートライン並びに グループスタートライン	白
7. 4×400mリレーのスタートライン	緑
8. 3,000m、5,000mのグループスタートの末端（合流点になる所）	緑
9. フィニッシュライン フィニッシュライン手前のナンバーを塗布する 写真判定装置の使用のためにフィニッシュラインと レーンが交差する地点を、スタートラインに近い方 の端から向こう側に20mmそれぞれ黒で塗る	黒 白
10. 3,000mSCの各ラップタイム用の位置 正三角形マーク（一辺の長さ100mm）とする	白

項 目	色分
11. ハードルの位置	ポイント 100mH (中学 女子) 黒 100mH (女子) 黄緑 110mH 青 400mH 黄 ナンバー 100mH (女子) 黄緑 110mH 青 400mH 黄
12. 障害物競走の移動障害物位置	緑
13. 4×100mリレーのテーク・オーバー・ゾーン	緑(白) 緑(白) ナンバー 黄

項 目	色分
14. 4×400mリレーのテーク・オーバー・ゾーン (1-2) 入・出	白 黒
15. 4×400mリレーのテーク・オーバー・ゾーン (2-3)・(3-4) 入	緑
16. 4×400mリレーのテーク・オーバー・ゾーン (2-3) (3-4) 出ラインはフィニッシュラインと 平行とする	白
17. 走高跳の支柱台	白

項 目	色分
18. 棒高跳の助走路、支柱台 支柱台の寸法は支柱の土台の大きさによる (メインスタンド側の棒高跳助走路は実線とする。)	白
19. 走幅跳、三段跳の助走路	白
20. やり投の助走路、円弧	白

【（公財）日本陸上競技連盟 陸上競技ルールブック2024より】

※施工時には、最新版のルールブックに従うこと。

※レーンマーキング=アクリルウレタン系樹脂塗料

※この図面はA 1サイズを原寸とする。

工 事 名	令和7年度建整ス振補継第1号 海浜公園内陸上競技場改修工事
施工箇所名	津市末広町 地内
図面の種類	グラウンド・コート整備構造図(9)
縮 尺	— 図面番号 104 133
事業所名	津市 建設部 建設整備課

グラウンド・コート整備構造図(10)

①及び②のタイルは下図の表示とする。

標識タイル位置図
S=1:300

数量表					
記 号	名 称	寸法・規格	数 量	単位	備 考
	標識タイル	SUS304	565.0	枚	
※	300mh標識		86.0	個	ビス

表 示		種 目	表 示		種 目
80H (小)	100	80mハードル小学生	1500	1500m走	全レーン共通 スタートライン リレーゾーン
100H	100H	100m走	1600R	4×400mリレー	
100H (中)	110H	100mハードル一般女子	3000	3000m走	
	200	100mハードル中学生女子	5000	5000m走	
	300	110mハードル男子	10000	10000m走	
400H	400H	400m走			
400R	400R	400mハードル			
800	800	400m走			
800R	800R	4×100mリレー			
MDR	MDR	メドレーリレー (1000m)			

表記の説明

1) リレー種目

400R 3-1 中

レーン 1走から2走

4×100mリレー、3レーン、1走から2走への引継の中

2) 400mハードル

400H 5-6

レーン 合目

400mハードル、5レーン、6台目のハードル

3) 300mハードル

300H 3-2

合目 レーン

300mハードル、2レーン、3台目のハードル

注：300mハードルの表記は、施工時におけるマーキングと同一の表記とする。

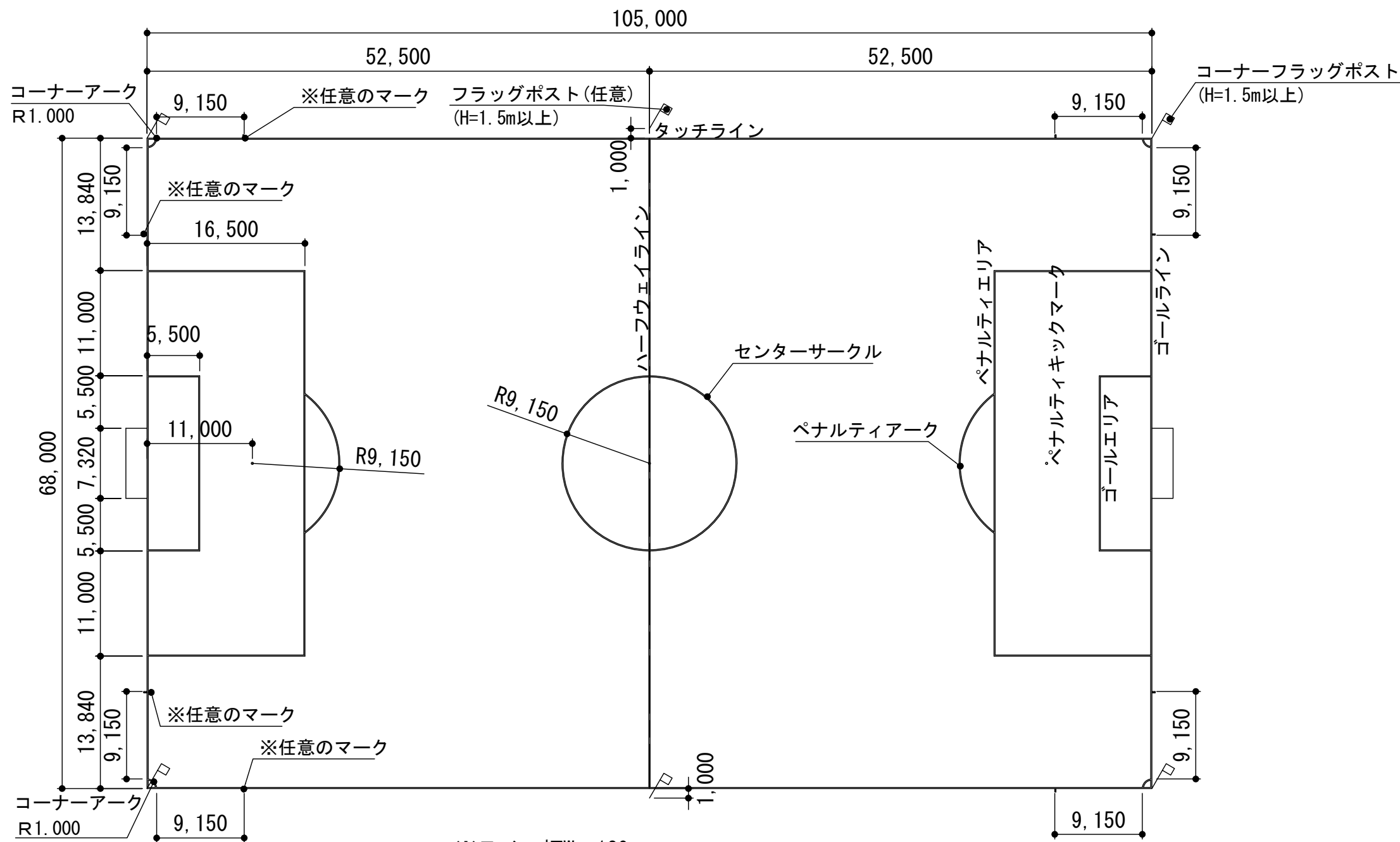
※この図面はA 1サイズを原寸とする。

工 事 名	令和7年度建整ス振補経第1号 海浜公園内陸上競技場改修工事
施工箇所名	津市末広町 地内
図面の種類	グラウンド・コート整備構造図(10)
縮 尺	S=1:300 図面番号 105 133
事業所名	津市 建設部 建設整備課

グラウンド・コート整備構造図(11)

サッカーコートライン

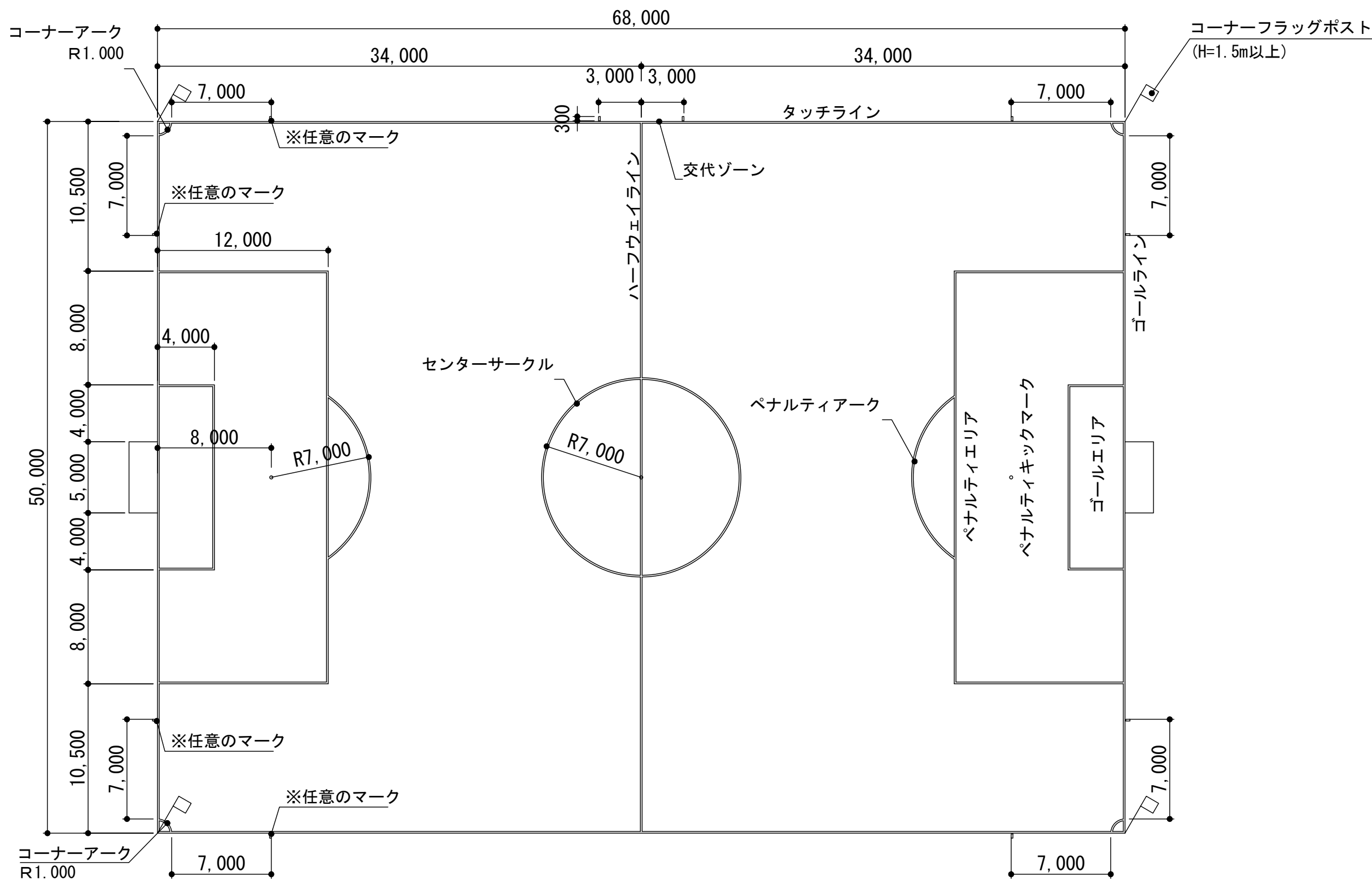
S=1:500



※ライン幅W=120
※計測基準：ライン外側
※任意のマークは、基本的にはマークするものとする。
タッチライン、ゴールライン外側から50mm離れ、300mmの長さの白いライン
※サッカー用標識タイル設置 4箇所（ゴールライン用）
サッカー・ラグビー兼用標識タイル設置 4箇所（タッチライン用）

8人制サッカーコートライン

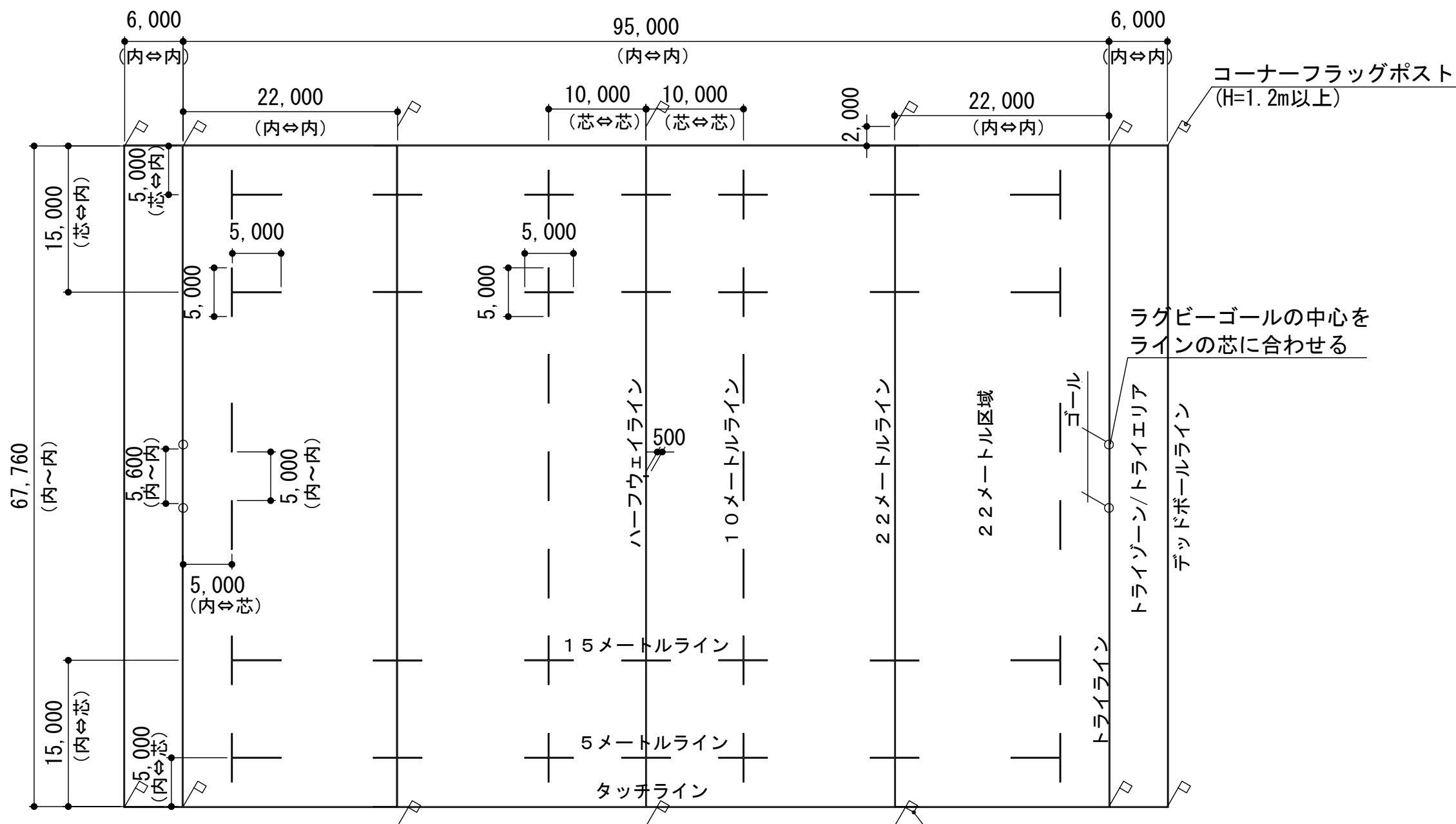
S=1:300



※ライン幅W=120
※計測基準：ライン外側
※任意のマークは、基本的にはマークするものとする。
タッチライン、ゴールライン外側から50mm離れ、300mmの長さの白いライン

ラグビーコートライン

S=1:500



※サッカーとラグビーの競技はサッカーを優先とする。
サッカーとラグビーのタッチラインを共有するためラグビーコートの短辺長さを67.76mとする。

※ラインW=100（トップリーグ規約）
計測基準：ゴールライン・デッドボールライン・タッチライン・タッチゴールラインは内寸法。
22メートルラインは22メートル区域に含まれる。
5メートルライン・10メートルライン・15メートルラインは芯で計測。
5メートルライン・10メートルライン・15メートルライン等の破線は5mで書く。
中心に近い方向を内側とする。
※ラグビー用標識タイル設置 4箇所（トライライン用）
サッカー・ラグビー兼用標識タイル設置 4箇所（タッチライン用）

※ ライン画線に関する特記事項

ライン材質：投てき実施可能な人工芝とする。
競技優先順位：①サッカー（白色）、②ラグビー（黄色）、③8人制サッカー（青色）とする。

※この図面はA 1サイズを原寸とする。

工 事 名	令和7年度建整ス振補継第1号 海浜公園内陸上競技場改修工事		
施工箇所名	津市末広町 地内		
図面の種類	グラウンド・コート整備構造図(11)		
縮 尺	図 示	図面番号	106 133
事業所名	津市 建設部 建設整備課		

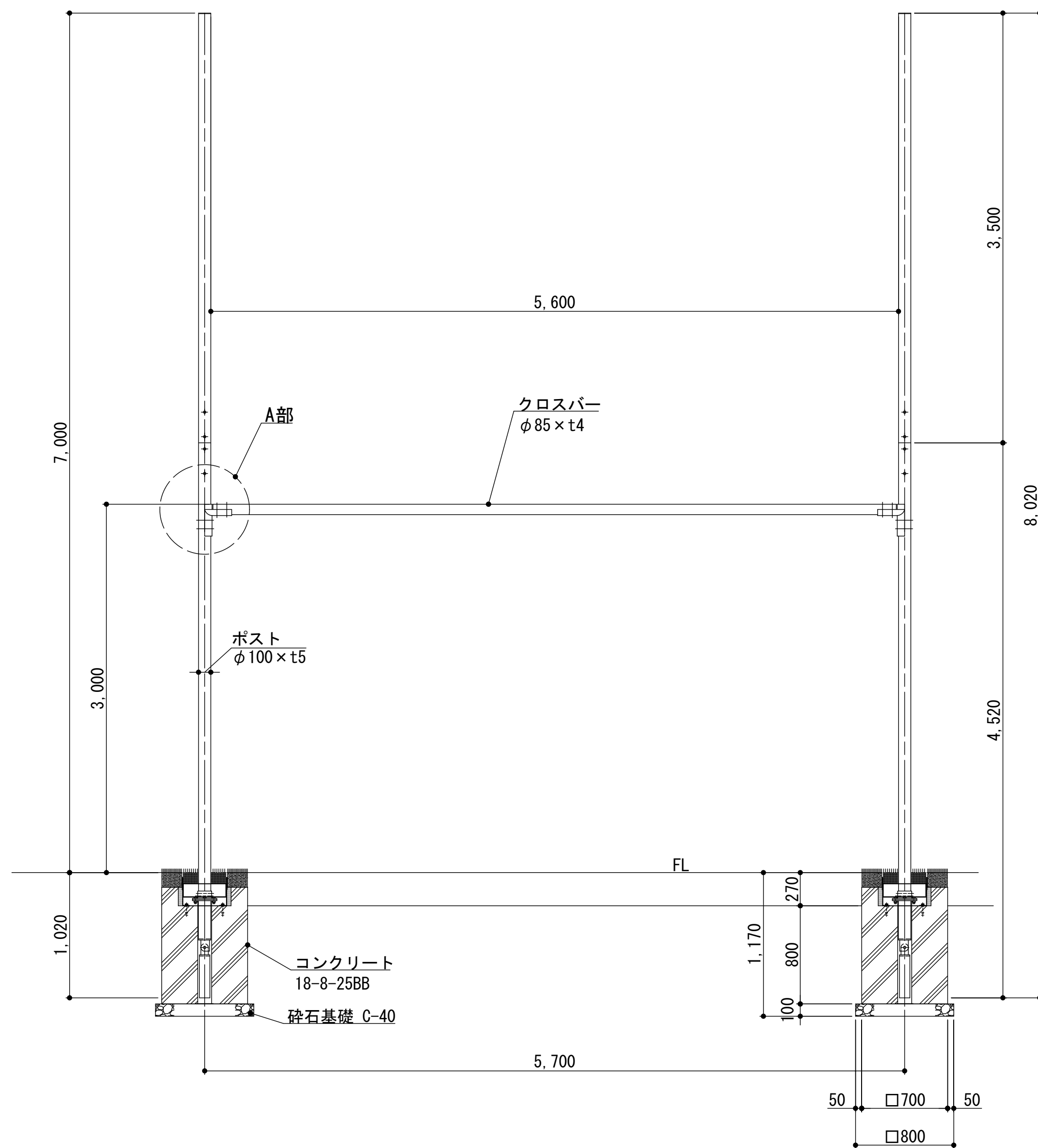
グラウンド・コート整備構造図(12)

ラグビーゴール

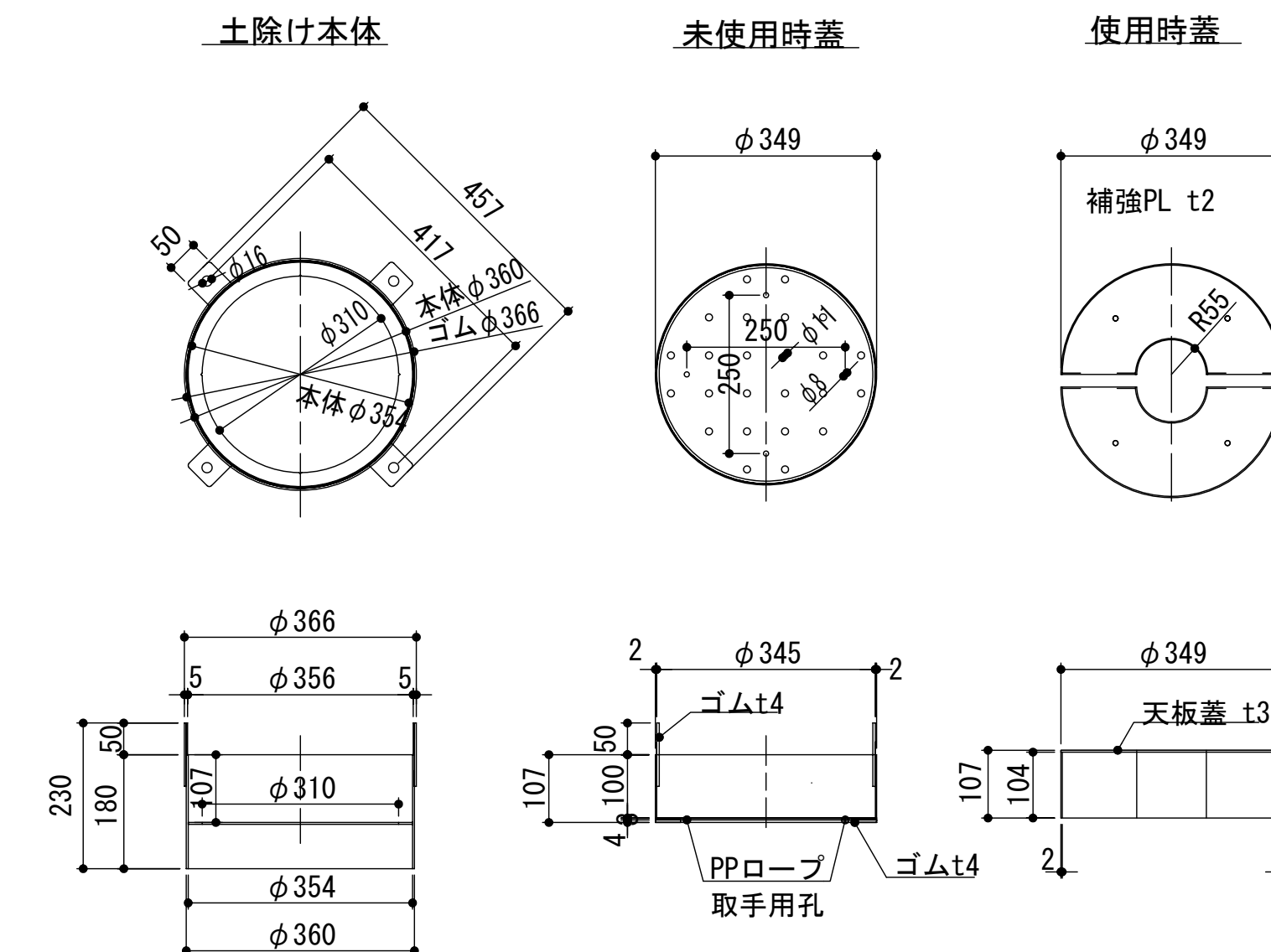
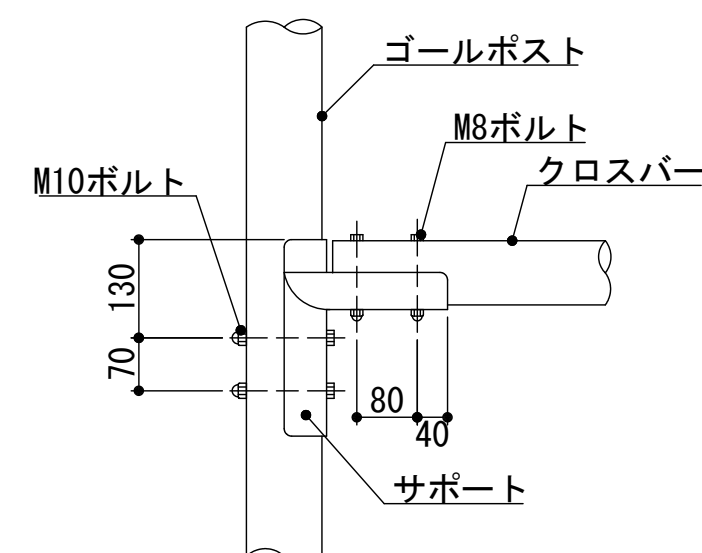
ターフトレイ詳細図 S=1 : 10

ラグビーゴール詳細図 S=1:30

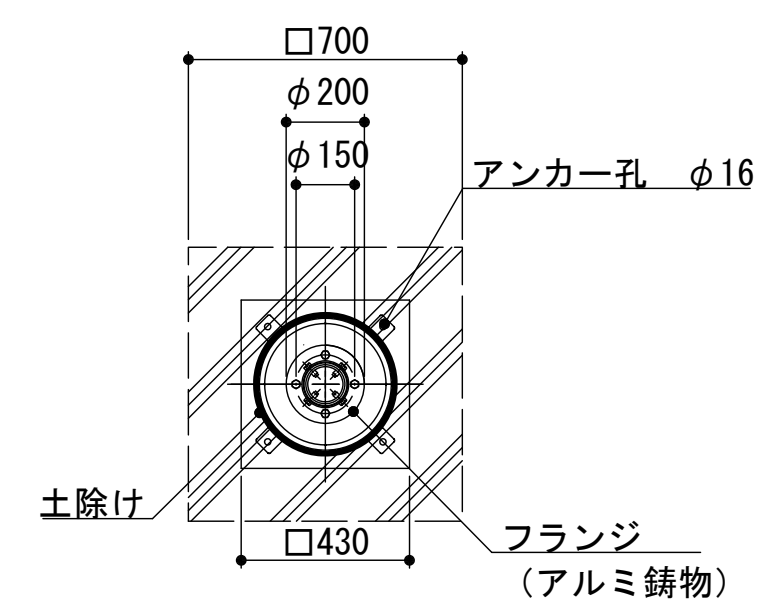
重量：87kg／半対



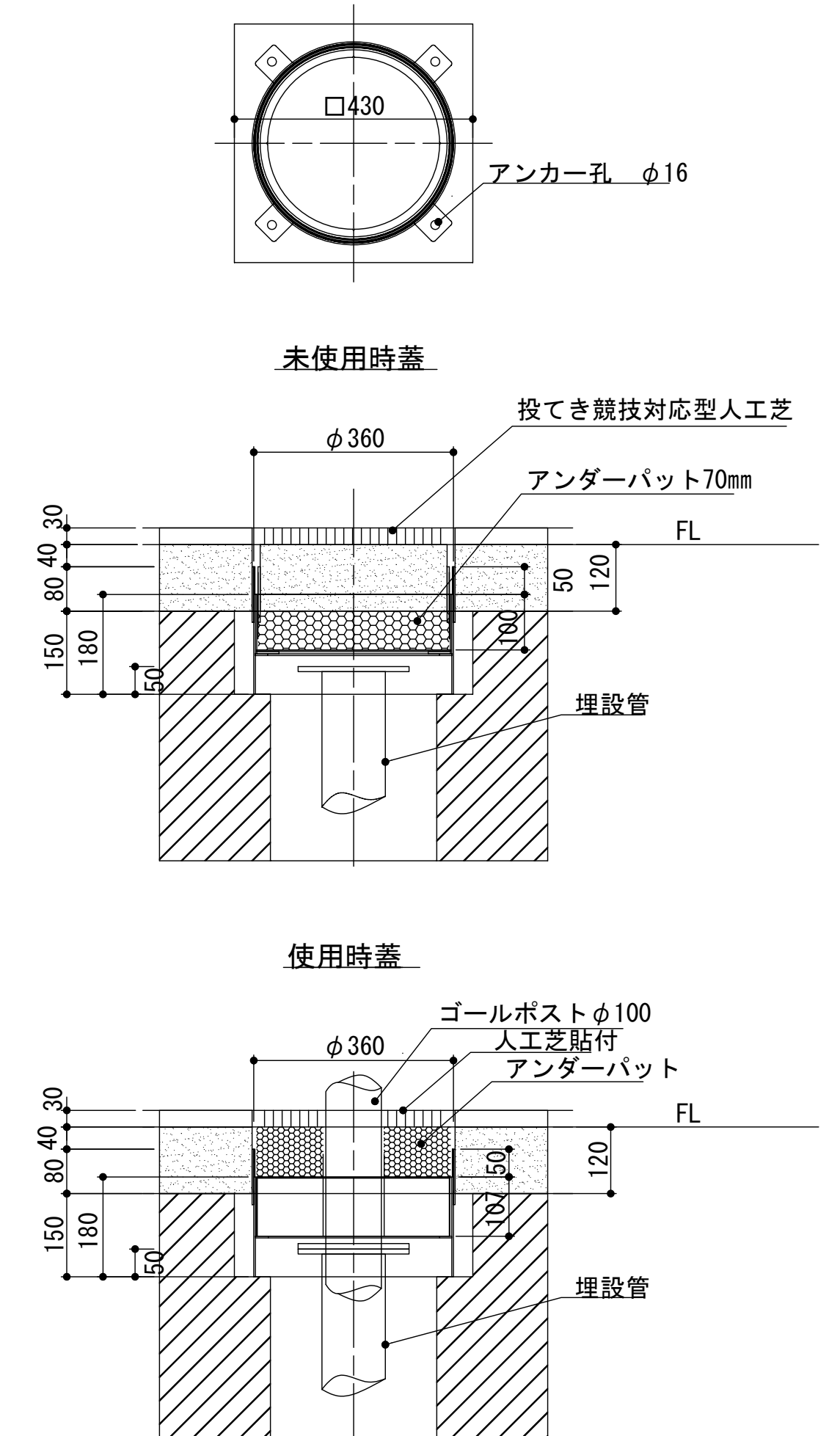
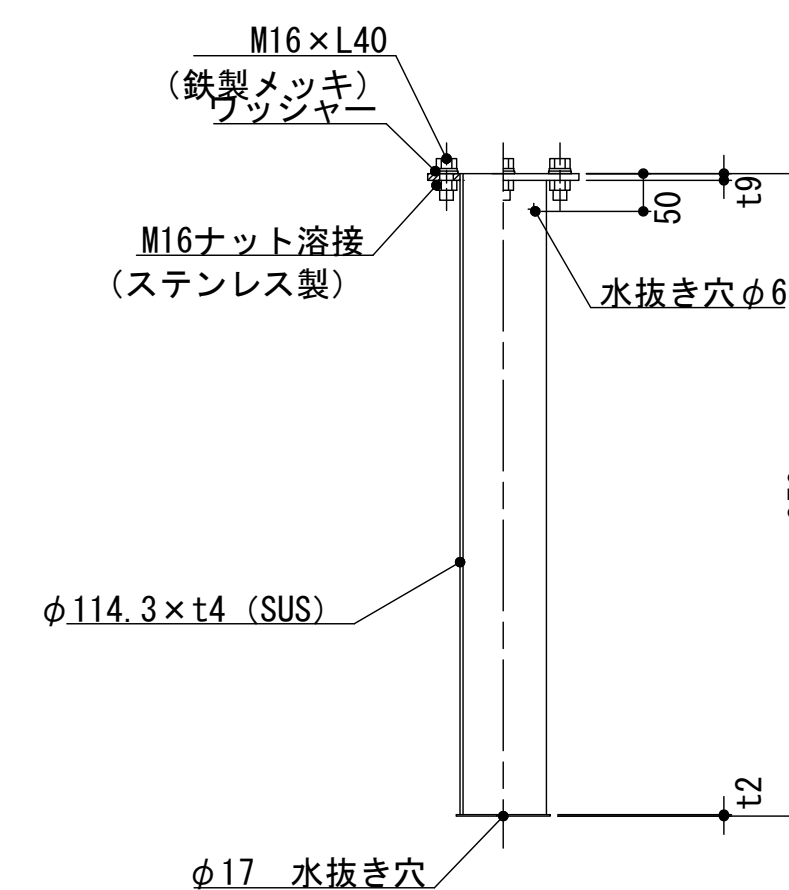
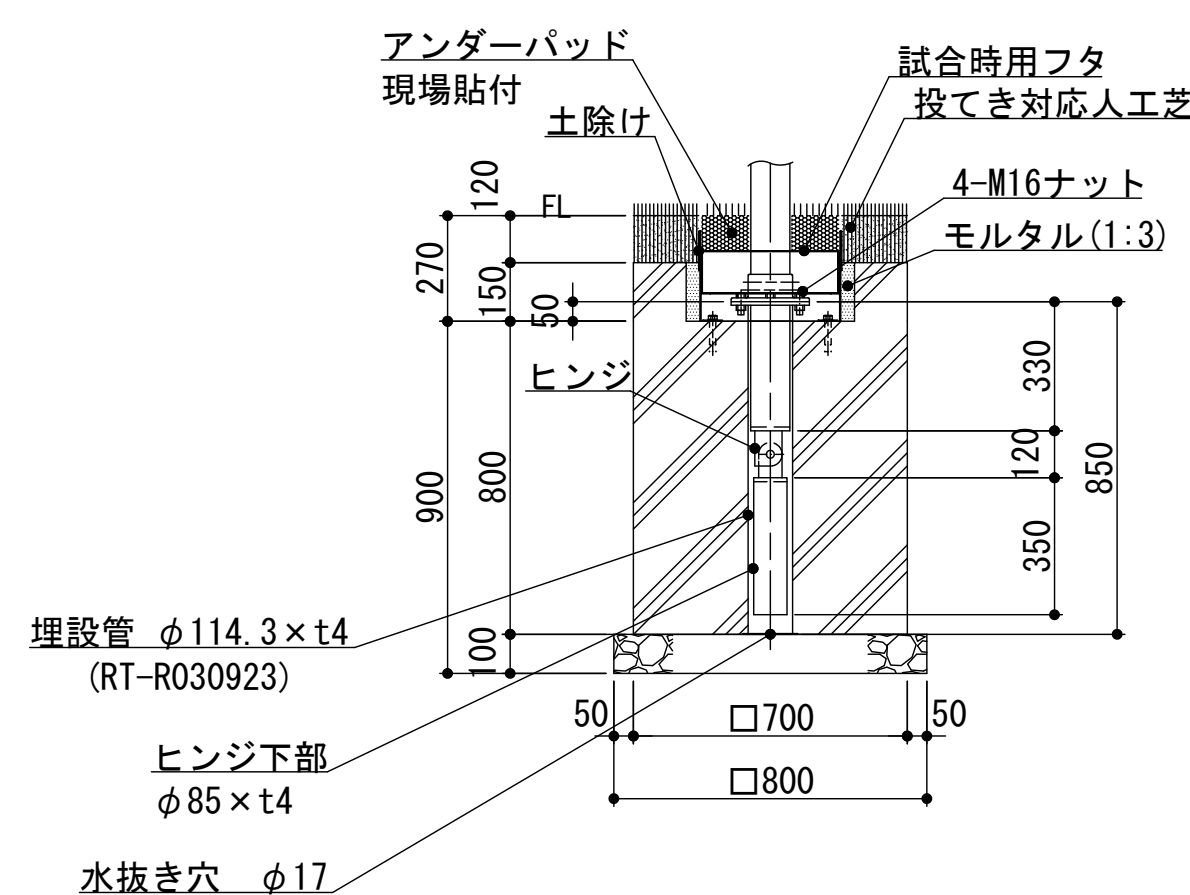
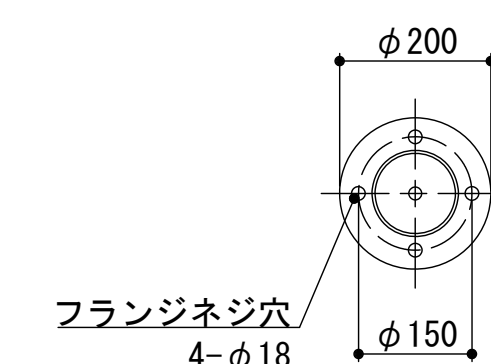
A部詳細図 S=1:10



埋設管基礎詳細図 S=1:20



埋設管SUS詳細図 S=1:10



※この図面はA 1サイズを原寸とする。

工 事 名	令和7年度建整整備補継第1号 海浜公園内陸上競技場改修工事		
施工箇所名	津市末広町 地内		
図面の種類	グラウンド・コート整備構造図(12)		
縮 尺	図 示	図面番号	107 133
事業所名	津市 建設部 建設整備課		